

令和7年度
「仙台市市民意識調査」
報 告 書

令和7年8月
仙 台 市

【目 次】

I. 調査概要

1. 調査目的	1
2. 調査項目	1
3. 調査仕様	1
4. 調査期間	1
5. 回収率	1
6. 報告書の見方	2
7. 回答者の属性	3
(1) 居住区	3
(2) 性別	3
(3) 年齢	3
(4) 住居形態	4
(5) 職業	4
(6) 世帯構成	4
(7) 同居者の状況	5
(8) 居住年数	5
(9) 母集団（仙台市の18歳以上の人口）との比較	6

II. 調査結果

1. 仙台市の現状と施策の評価（一覧）	9
(1) 現状の評価一覧	9
(2) 取り組んでいる施策の評価一覧	11
2. 仙台市の現状と施策の評価（属性別）	14
(1) 杜と水の都プロジェクト	14
(2) 防災環境都市プロジェクト	18
(3) 心の伴走プロジェクト	22
(4) 地域協働プロジェクト	26
(5) 笑顔咲く子どもプロジェクト	30
(6) ライフデザインプロジェクト	34
(7) TOHOKU 未来プロジェクト	38
(8) 都心創生プロジェクト	42
(9) 市政運営	46
3. 仙台市の現状と施策の評価（今後力を入れていくべき施策）	48
(1) 今後特に力を入れていくべきと思う施策	48
(2) 施策に対する期待×現状評価マップ	50

4. 仙台市の住みやすさなど	51
(1) 仙台市の住みやすさ	51
(2) 仙台市が住みやすい理由	52
(3) 仙台市が住みにくい理由	53
(4) 仙台市への居住意向	54
(5) 仙台市への愛着	55
5. 外国人住民との関わりなど	56
(1) 外国人住民との関わりの有無	56
(2) 外国人住民が増えることでどのような良いことがあると思うか	57
(3) 外国人住民が増えることで課題と感じていること	58
(4) 外国人住民とどのような関わりをもっていきたいか	59
(5) 今後どのような取り組みが必要だと思うか	60
6. 市政全般に関する意見	61

Ⅲ. 資料

調査票.....	67
仙台市基本計画〈概要版〉（3～10 ページ抜粋）	77

I . 調查概要

1. 調査目的

本調査は、本市が重点的に取り組む施策の推進状況に関する市民の評価やニーズの変化を継続的に把握し、年齢層別等の視点も含めた総合的な分析を行い、その結果を施策の進捗管理に活かすことにより、本市の重点施策の推進を図ることを目的とする。

2. 調査項目

(1) 基本計画に基づく現状と施策の評価

現状の評価（8分野）、施策の評価（9分野 26項目）、力を入れていくべき施策

(2) 仙台市の住みやすさなど

仙台市の住みやすさ、今後の仙台市への居住意向、仙台市への愛着

(3) 外国人住民との関わりなど

外国人住民との関わりの有無、外国人住民が増えることでどのような良いことがあると思うか、外国人住民が増えることで課題と感じていること、外国人住民とどのような関わりをもっていきたいか、今後どのような取り組みが必要だと思うか

(4) 自由意見

3. 調査仕様

(1) 調査地域 仙台市全域

(2) 調査対象 仙台市に居住する満18歳以上の男女6,000人

(3) 抽出方法 令和7年4月1日現在の住民基本台帳から無作為抽出

(4) 調査方法 無記名式の質問調査（郵送による配布・WEBまたは郵送による回収）

4. 調査期間

調査票発送	回収締切	集計対象
令和7年4月30日	令和7年5月23日	令和7年5月29日

5. 回収率

配布数	無効数（不達等）	有効回収数	有効回収率
6,000件	30件	2,794票	46.8%

※有効回収率：有効回収数／配布数－無効数（不達等）

6. 報告書の見方

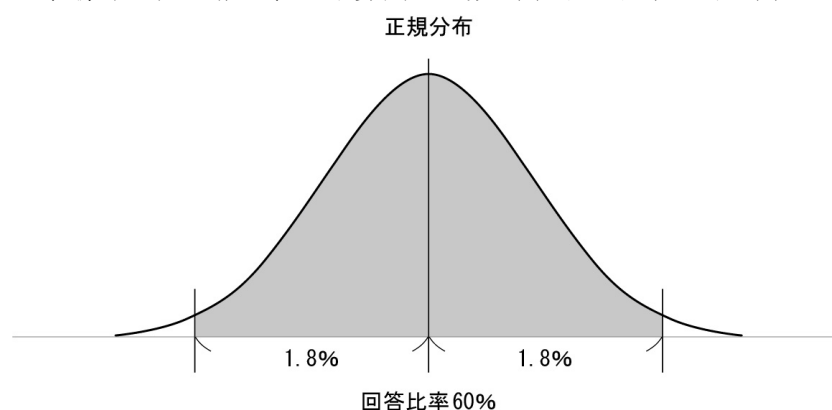
- ・調査数（n=Number of cases）とは、回答者総数あるいは分類別の回答者数のことである。
- ・回答等の構成比は百分率で表し、小数点第2位を四捨五入して算出している。そのため、構成比の合計が100%にならない場合がある。
- ・回答者が2つ以上の回答をすることができる多肢選択式の質問においては、すべての選択肢の比率を合計すると100%を超える場合がある。
- ・「 」は1つの選択肢を、『 』は複数の選択肢を合わせた表現を示している。
- ・95%信頼区間での標本誤差は、次の式で統計学的に得られる。

$$\text{標本誤差} = 1.96 \sqrt{\{(N - n)/(N - 1)\} \times \{p \times (1 - p)/n\}}$$

※N=母集団 n=比率算出の基数（サンプル数） P=回答比率

$\begin{matrix} p \\ n \end{matrix}$	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
2,794	±1.1%	±1.5%	±1.7%	±1.8%	±1.9%
1,000	±1.9%	±2.5%	±2.8%	±3.0%	±3.1%
500	±2.6%	±3.5%	±4.0%	±4.3%	±4.4%
200	±4.2%	±5.5%	±6.4%	±6.8%	±6.9%
100	±5.9%	±7.8%	±9.0%	±9.6%	±9.8%
50	±8.3%	±11.1%	±12.7%	±13.6%	±13.9%

表の見方:ある設問の回答者数が2,794で、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも1.8%以内(58.2~61.8%)と見ることができる。また、標本誤差の幅は、比率算出の基数(n)及び回答比率(P)によって異なる。

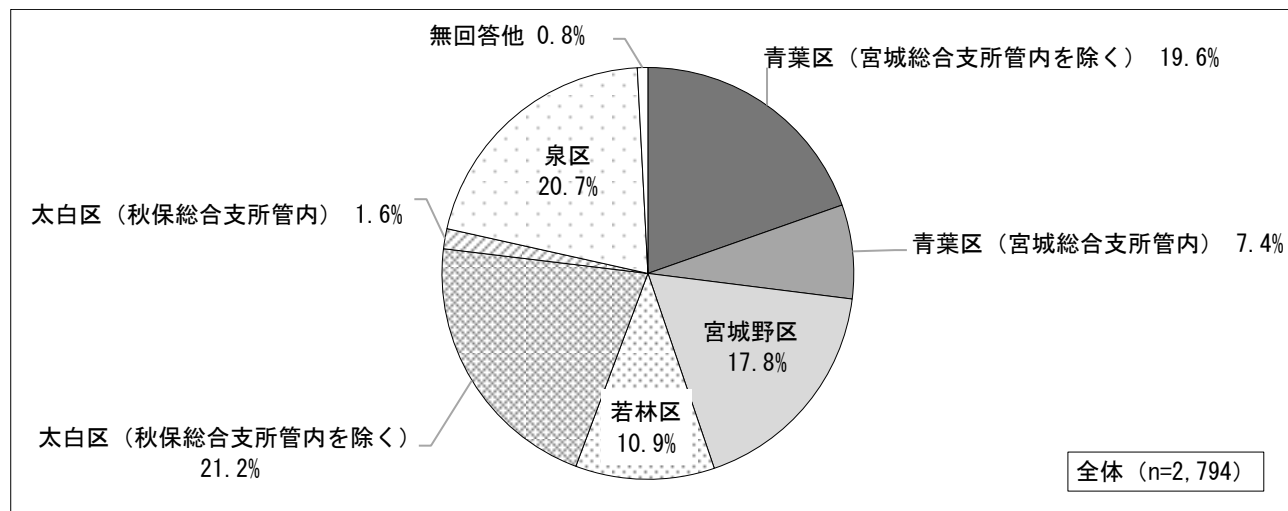


※95%信頼区間：無作為抽出を繰り返し行えば100回に95回の割合で、区間内に母集団平均が含まれる。

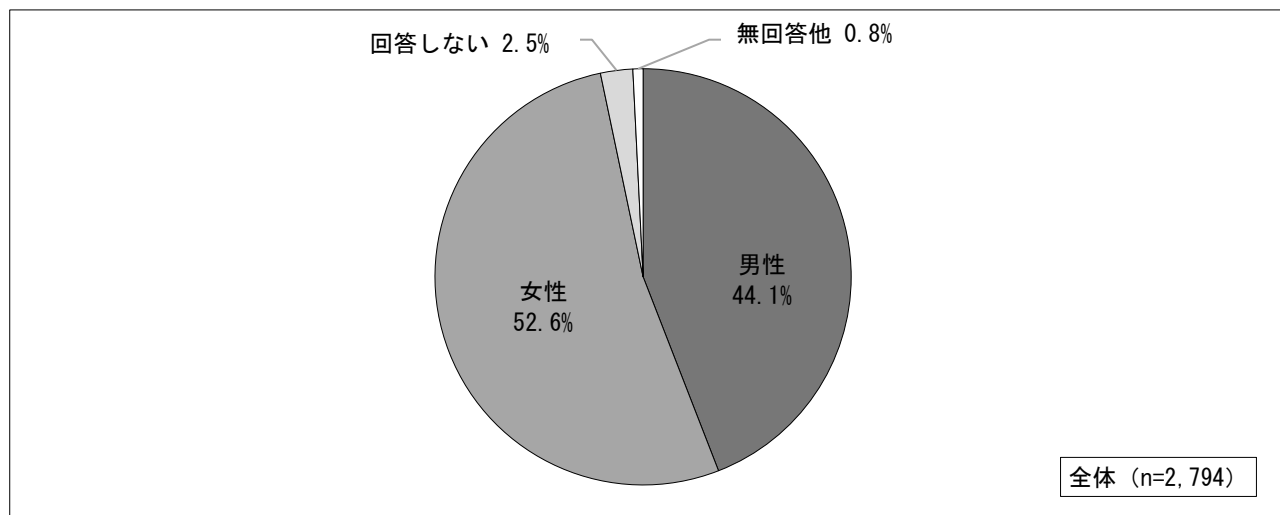
※標本誤差：標本調査の結果として得られた推計値の正確さを表す数値。この場合の標本調査は調査の客体
を無作為に選んだものでなければならない。

7. 回答者の属性

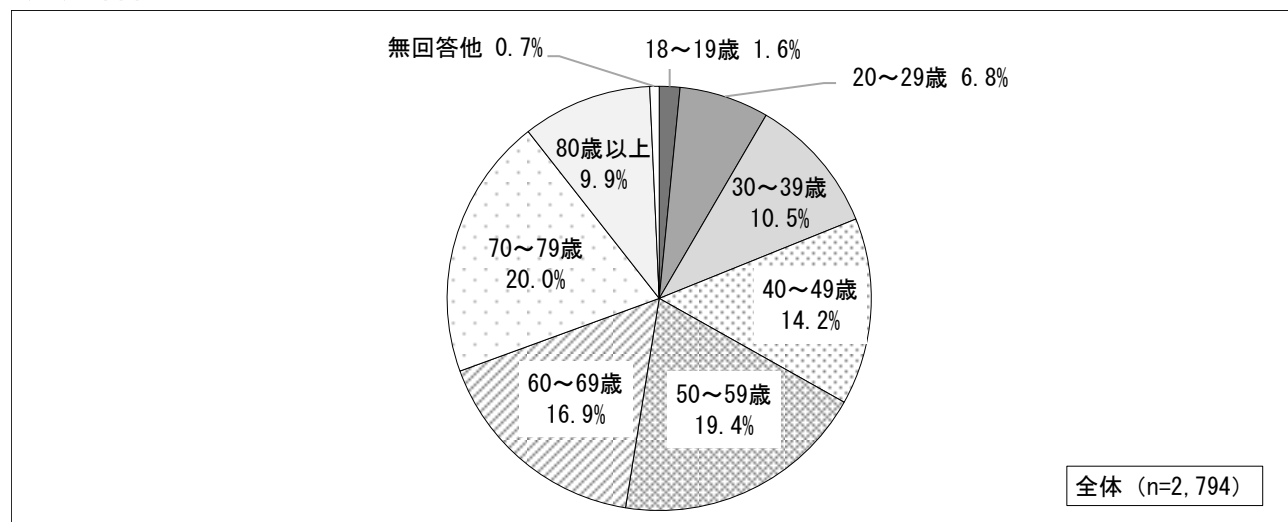
(1) 居住区



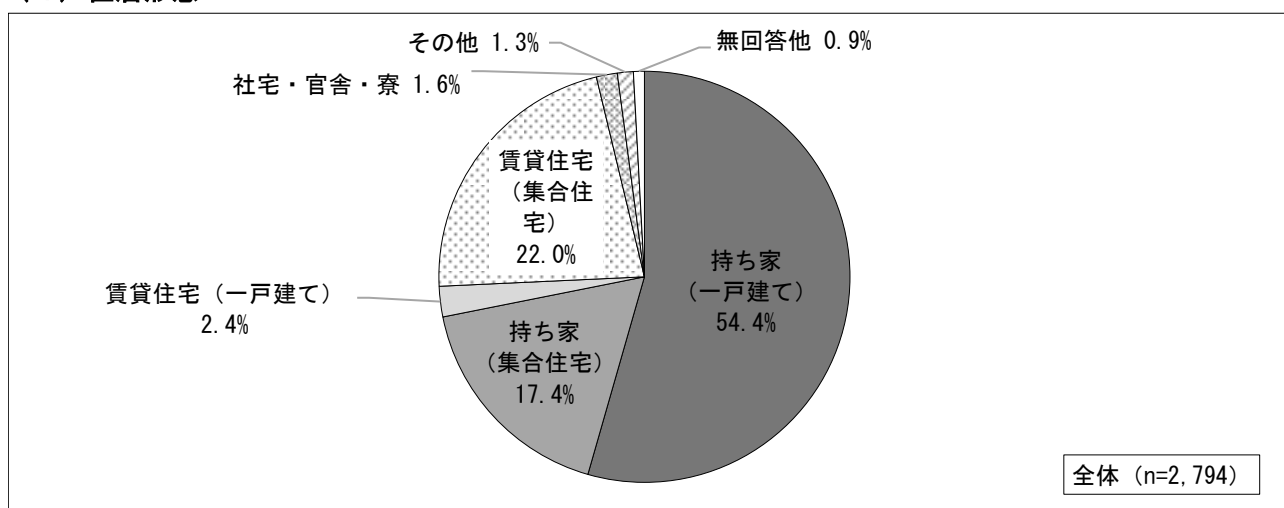
(2) 性別



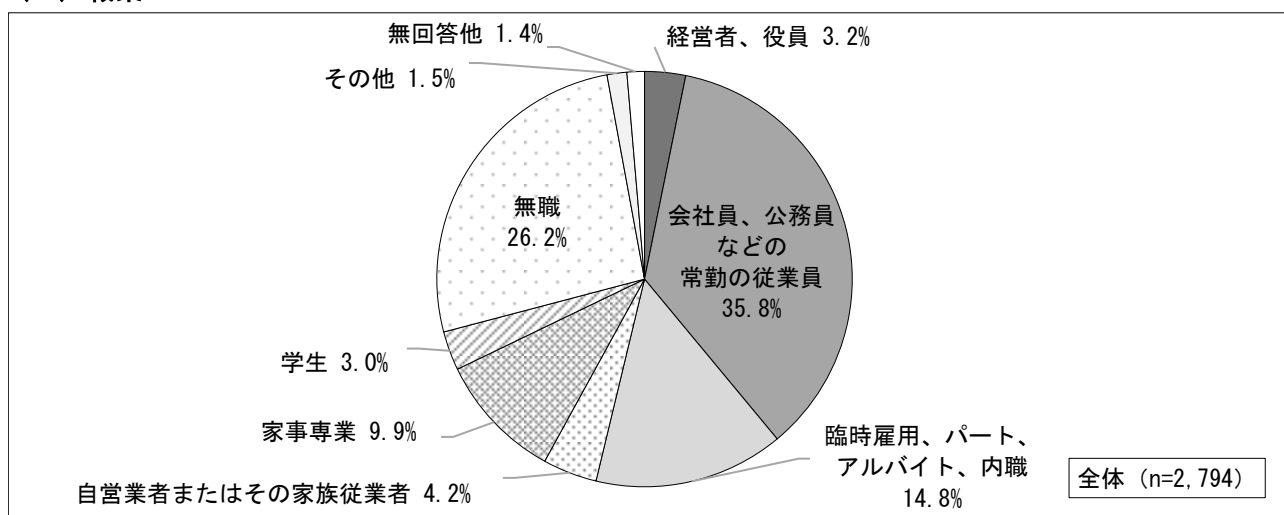
(3) 年齢



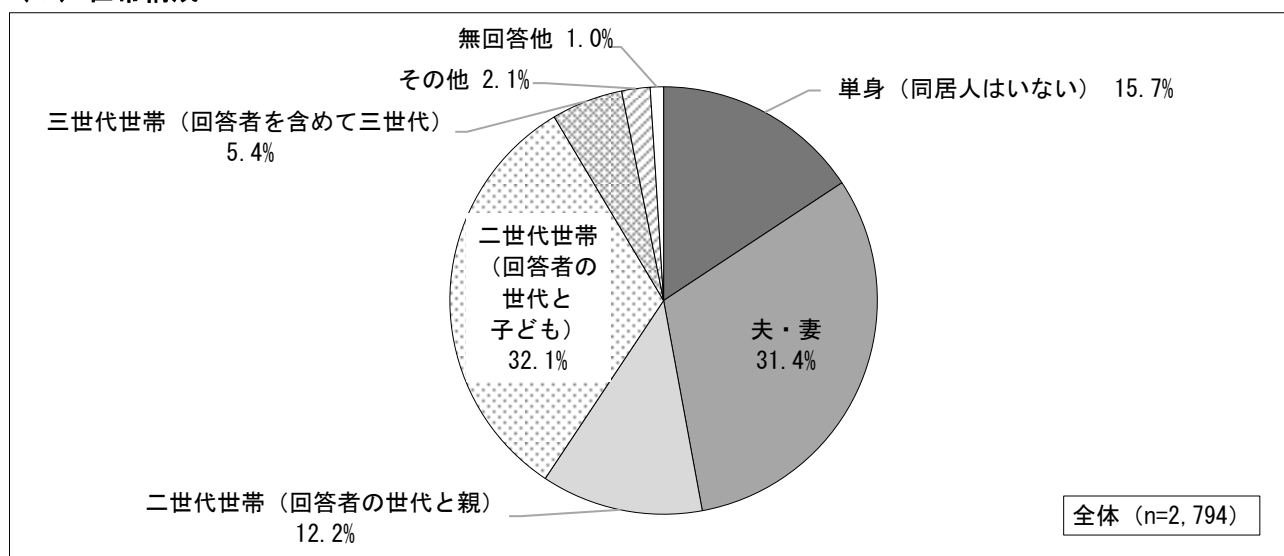
(4) 住居形態



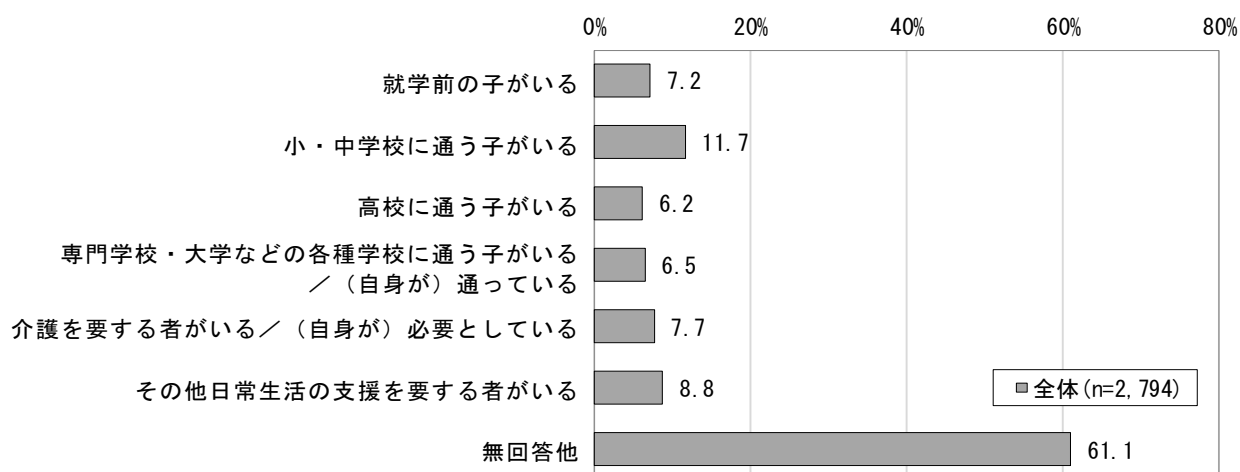
(5) 職業



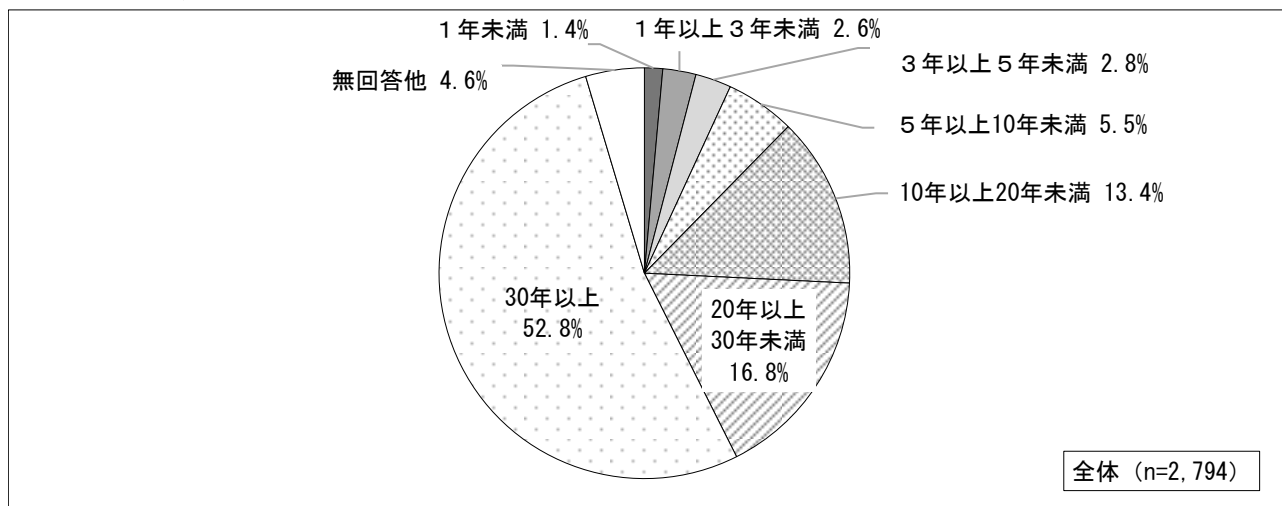
(6) 世帯構成



(7) 同居者の状況（複数回答）



(8) 居住年数



(9) 母集団（仙台市の18歳以上の人口）との比較

	母集団数 (人)	割合 (%)	有効回収数 (票)	割合 (%)
年齢層別				
18～19 歳	19,846	2.2	44	1.6
20～29 歳	123,036	13.5	191	6.8
30～39 歳	127,275	13.9	293	10.5
40～49 歳	152,125	16.7	398	14.2
50～59 歳	157,816	17.3	542	19.4
60～69 歳	121,490	13.3	472	16.9
70～79 歳	121,414	13.3	558	20.0
80 歳以上	89,550	9.8	276	9.9
無回答他			20	0.7
計	912,552	100.0	2,794	100.0
性別				
男 性	436,207	47.8	1,232	44.1
女 性	476,345	52.2	1,470	52.6
無回答他（回答しない含む）			92	3.3
計	912,552	100.0	2,794	100.0

※母集団数は、令和7年4月1日現在 住民基本台帳による。

Ⅱ. 調査結果

1. 仙台市の現状と施策の評価（一覧）

（１）現状の評価一覧

仙台市では「仙台市基本計画 2021-2030」において掲げた、8つのチャレンジプロジェクト〔※〕を軸に、様々な施策に取り組んでいます。

問１～問８の各プロジェクトに関連することとして、「あなたが思う仙台市の現状」に対するあなたの評価をお答えください。

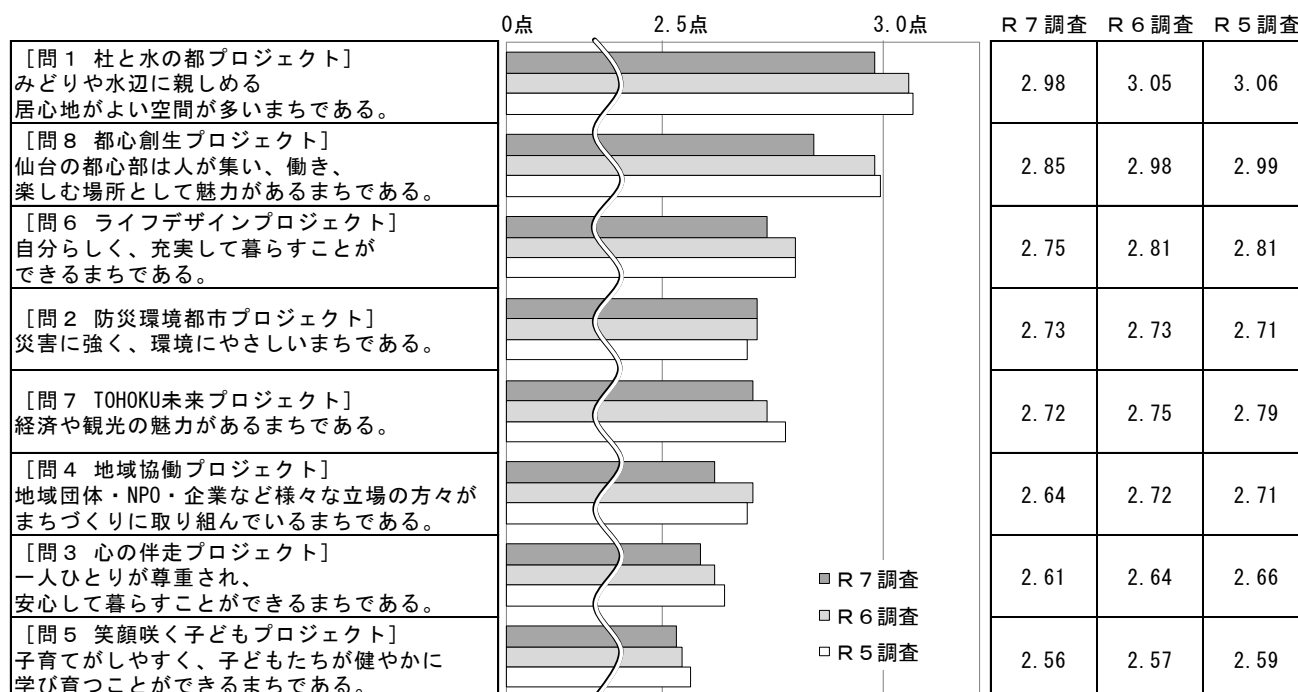
※プロジェクトの詳細は、「Ⅲ. 資料：仙台市基本計画〈概要版〉（３～１０ページ抜粋）」参照

①評価度による比較

「そう思う」を４点、「どちらかといえばそう思う」を３点、「どちらかといえばそう思わない」を２点、「そう思わない」を１点とし、その平均点を評価度としている（「わからない」「無回答他」は母数から除いている）。

〔問１ 杜と水の都プロジェクト〕の「みどりや水辺に親しめる居心地がよい空間が多いまちである。」が２.98点と最も高く、〔問８ 都心創生プロジェクト〕の「仙台の都心部は人が集い、働き、楽しむ場所として魅力があるまちである。」が２.85点と、２番目に高い評価度となっている。

一方、〔問３ 心の伴走プロジェクト〕の「一人ひとりが尊重され、安心して暮らすことができるまちである。」は２.61点、〔問５ 笑顔咲く子どもプロジェクト〕の「子育てがしやすく、子どもたちが健やかに学び育つことができるまちである。」は２.56点と、相対的に低い評価度となっている。



②プロジェクトごとの評価

〔問1 杜と水の都プロジェクト〕の「みどりや水辺に親しめる居心地がよい空間が多いまちである。」は、2.98点と最も高い評価度となっており、約4人に1人が「そう思う」と回答している。また、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせると74.1%と、7割を超えている。

〔問2 防災環境都市プロジェクト〕の「災害に強く、環境にやさしいまちである。」は2.73点と、8つのプロジェクトの加重平均値 2.74点とほぼ一致しており、全体の中で平均的な評価度となっている。

〔問3 心の伴走プロジェクト〕の「一人ひとりが尊重され、安心して暮らすことができるまちである。」は2.61点と、相対的に低い評価度となっている。

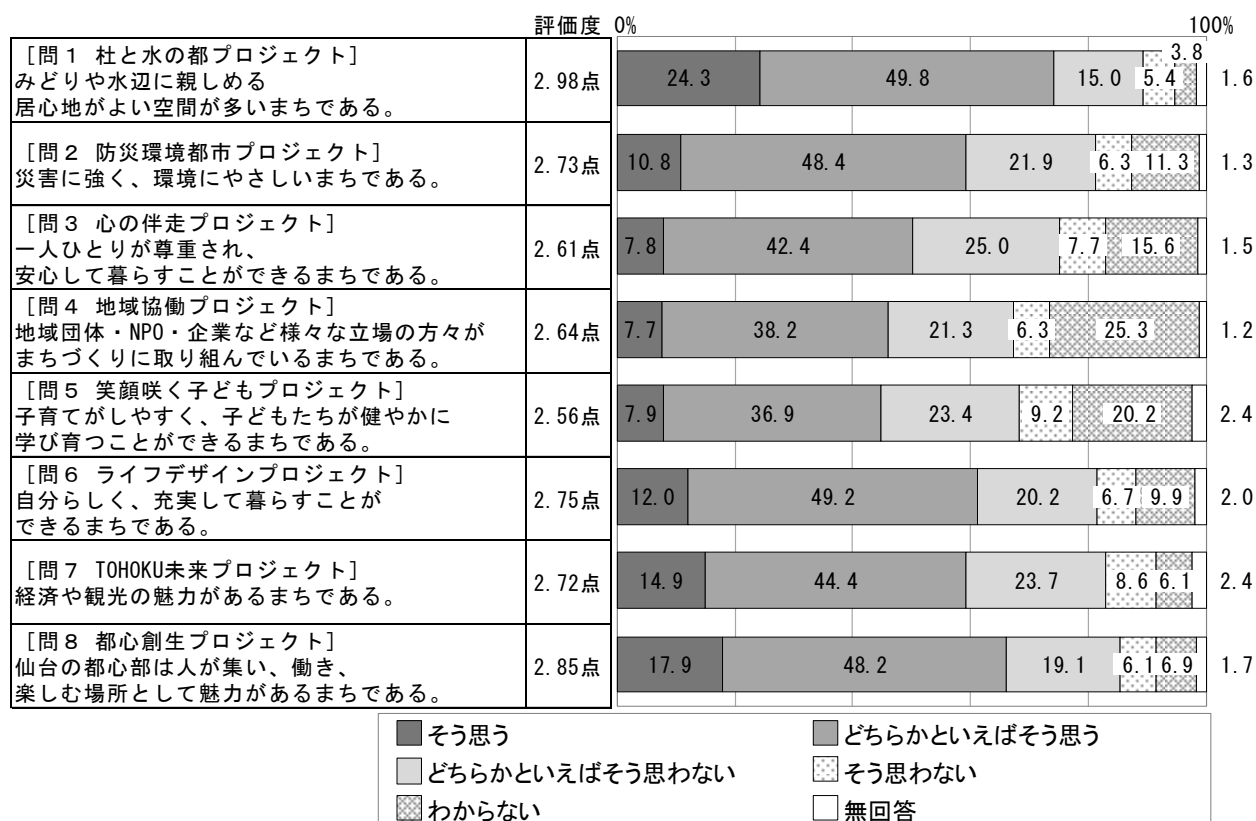
〔問4 地域協働プロジェクト〕の「地域団体・NPO・企業など様々な立場の方々がまちづくりに取り組んでいるまちである。」は2.64点と、相対的に低い評価度となっている。約4人に1人が「わからない」と回答していることが特徴的である。

〔問5 笑顔咲く子どもプロジェクト〕の「子育てがしやすく、子どもたちが健やかに学び育つことができるまちである。」は2.56点と、最も低い評価度となっている。

〔問6 ライフデザインプロジェクト〕の「自分らしく、充実して暮らすことができるまちである。」は2.75点と、全体の中で平均的な評価度となっている。

〔問7 TOHOKU未来プロジェクト〕の「経済や観光の魅力があるまちである。」は2.72点と、全体の中で平均的な評価度となっている。

〔問8 都心創生プロジェクト〕の「仙台の都心部は人が集い、働き、楽しむ場所として魅力があるまちである。」は2.85点と、全体で2番目に高い評価度となっている。



(2) 取り組んでいる施策の評価一覧

問1～問8の各プロジェクトに関連することとして、「仙台市が取り組んでいる施策」に対するあなたの評価をお答えください。

また、問9の仙台市が取り組んでいる市政運営の施策に対するあなたの評価をお答えください。

①評価度による比較

「評価する」を4点、「どちらかといえば評価する」を3点、「どちらかといえば評価しない」を2点、「評価しない」を1点とし、その平均点を評価度としている（「わからない」「無回答他」は母数から除いている）。また、グラフにおける施策名は、問10の略称を使用している。

「1-① 勾当台・定禅寺通エリアの活性化」が3.19点と最も高くなっている。一方、「9-② 安定した行政経営基盤の維持」が2.57点と最も低くなっている。



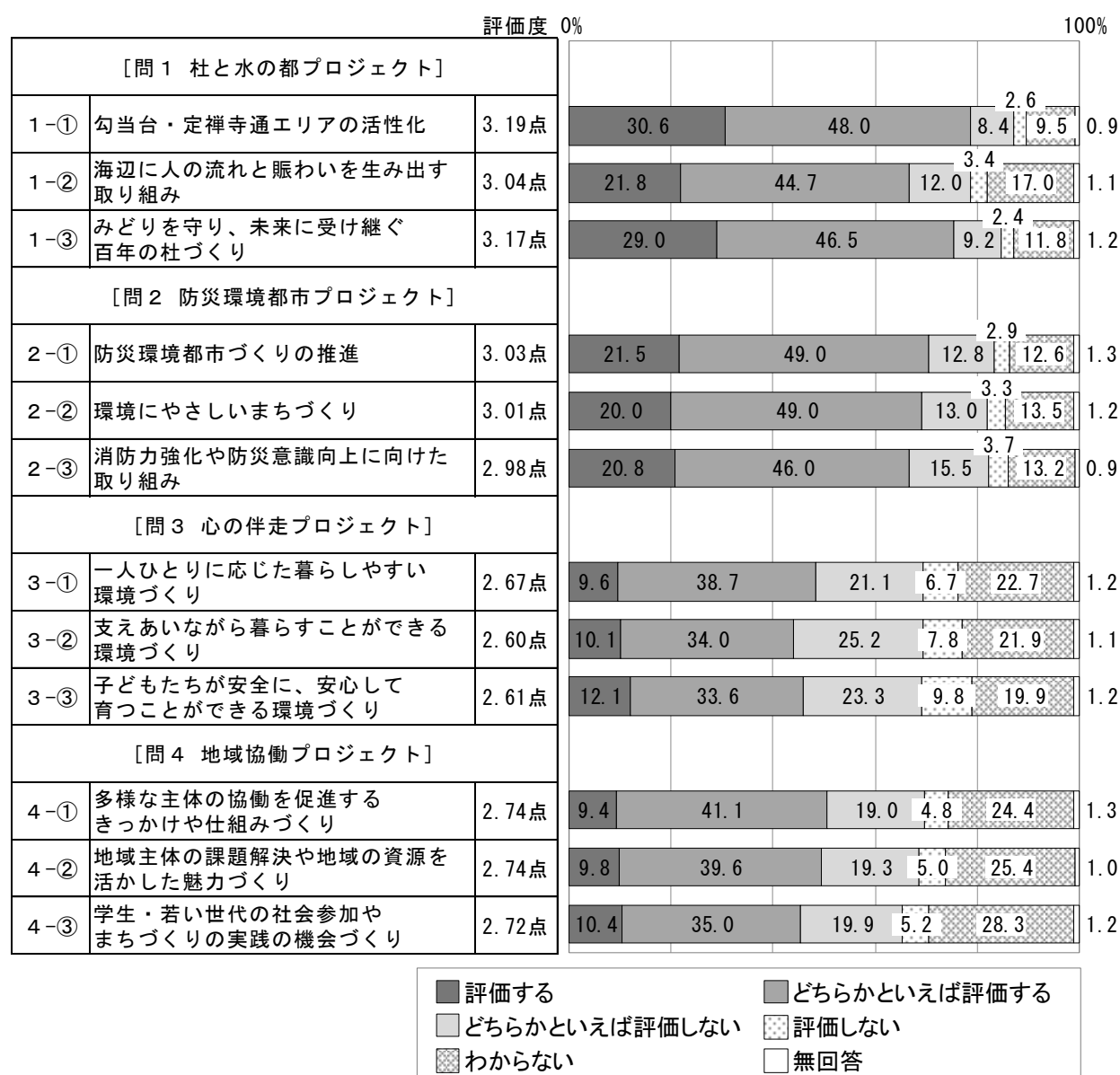
②各プロジェクトにおける施策ごとの評価

〔問1 杜と水の都プロジェクト〕では、「1-① 勾当台・定禅寺通エリアの活性化」が3.19点と最も高く、約3割が「評価する」と回答しており、施策全体で最も高い評価度となっている。次いで、「1-③ みどりを守り、未来に受け継ぐ百年の杜づくり」が3.17点、「1-② 海辺に人の流れと賑わいを生み出す取り組み」が3.04点となっており、これら3施策が特に高い評価を受けている。

〔問2 防災環境都市プロジェクト〕では、「2-① 防災環境都市づくりの推進」が3.03点と最も高くなっている。

〔問3 心の伴走プロジェクト〕では、「3-① 一人ひとりに応じた暮らしやすい環境づくり」が2.67点と最も高くなっている。

〔問4 地域協働プロジェクト〕では、「4-① 多様な主体の協働を促進するきっかけや仕組みづくり」と「4-② 地域主体の課題解決や地域の資源を活かした魅力づくり」が2.74点と最も高くなっている。



Ⅱ. 調査結果

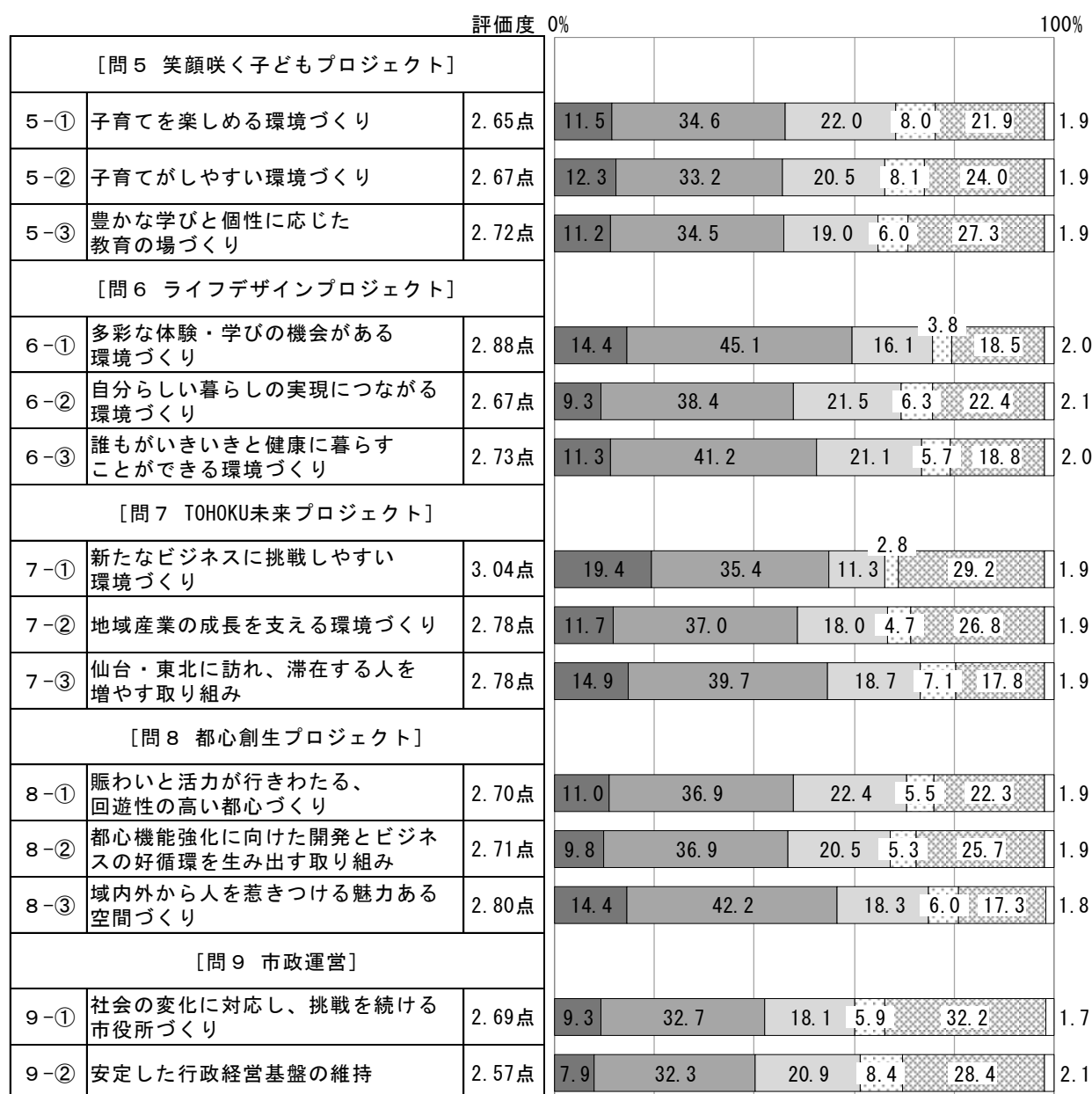
〔問5 笑顔咲く子どもプロジェクト〕では、「5-③ 豊かな学びと個性に応じた教育の場づくり」が2.72点と最も高くなっている。

〔問6 ライフデザインプロジェクト〕では、「6-① 多彩な体験・学びの機会がある環境づくり」が、2.88点と最も高くなっている。

〔問7 TOHOKU 未来プロジェクト〕では、「7-① 新たなビジネスに挑戦しやすい環境づくり」が、3.04点と最も高くなっている。

〔問8 都心創生プロジェクト〕では、「8-③ 域内外から人を惹きつける魅力ある空間づくり」が2.80点と、最も高くなっている。

〔問9 市政運営〕では、「9-① 社会の変化に対応し、挑戦を続ける市役所づくり」が2.69点と高いが、他のプロジェクトと比べ、全体的に評価度が低くなっている。



■ 評価する ■ どちらかといえば評価する
 ■ どちらかといえば評価しない ■ 評価しない
 ■ わからない □ 無回答

2. 仙台市の現状と施策の評価（属性別）

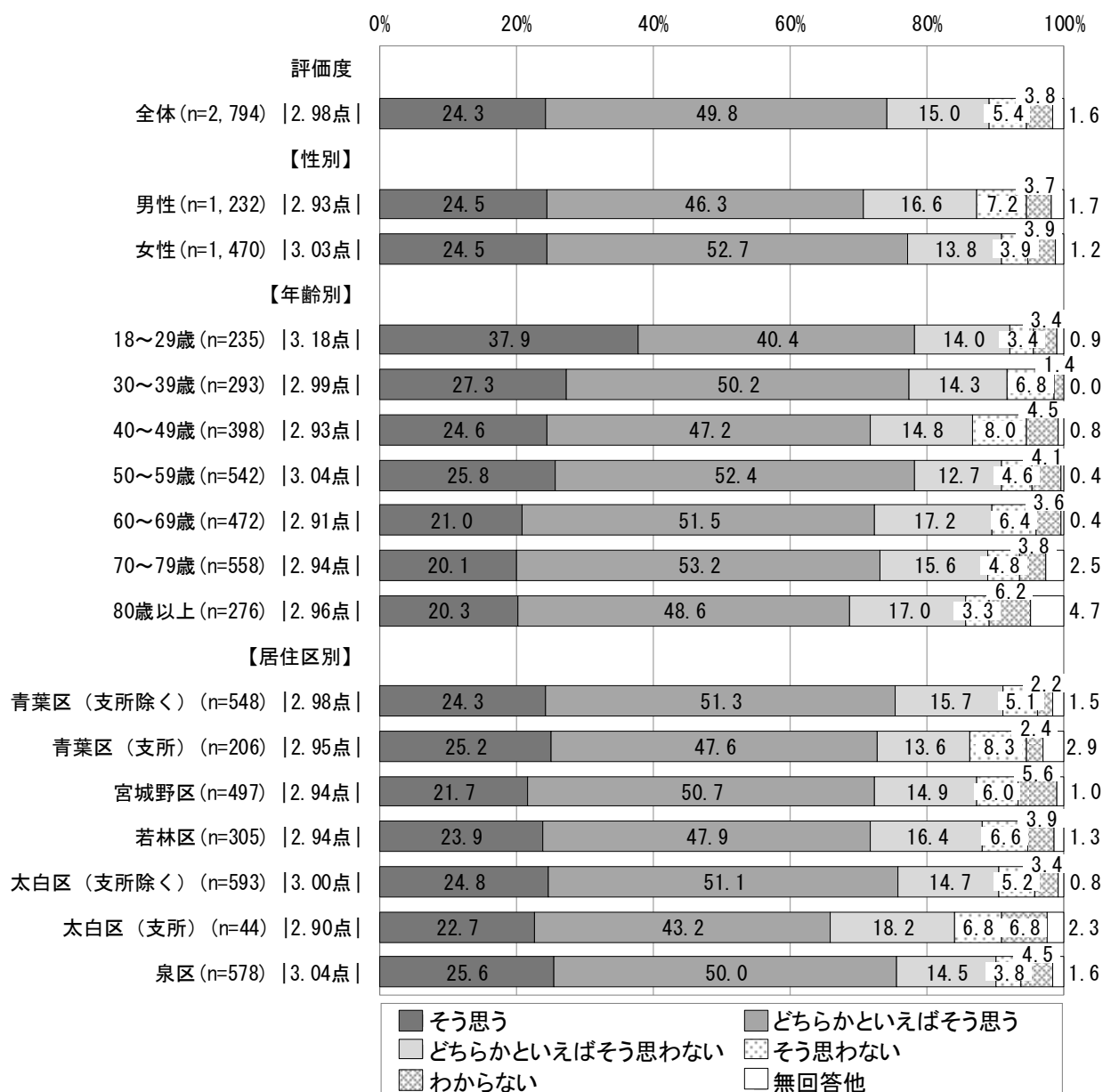
（1）杜と水の都プロジェクト

<仙台市の現状>

みどりや水辺に親しめる居心地がよい空間が多いまちである。

全体では、評価度が 2.98 点となっている。

属性別では、女性の回答者、18～29 歳の回答者、泉区に居住する回答者の評価が高くなっている。



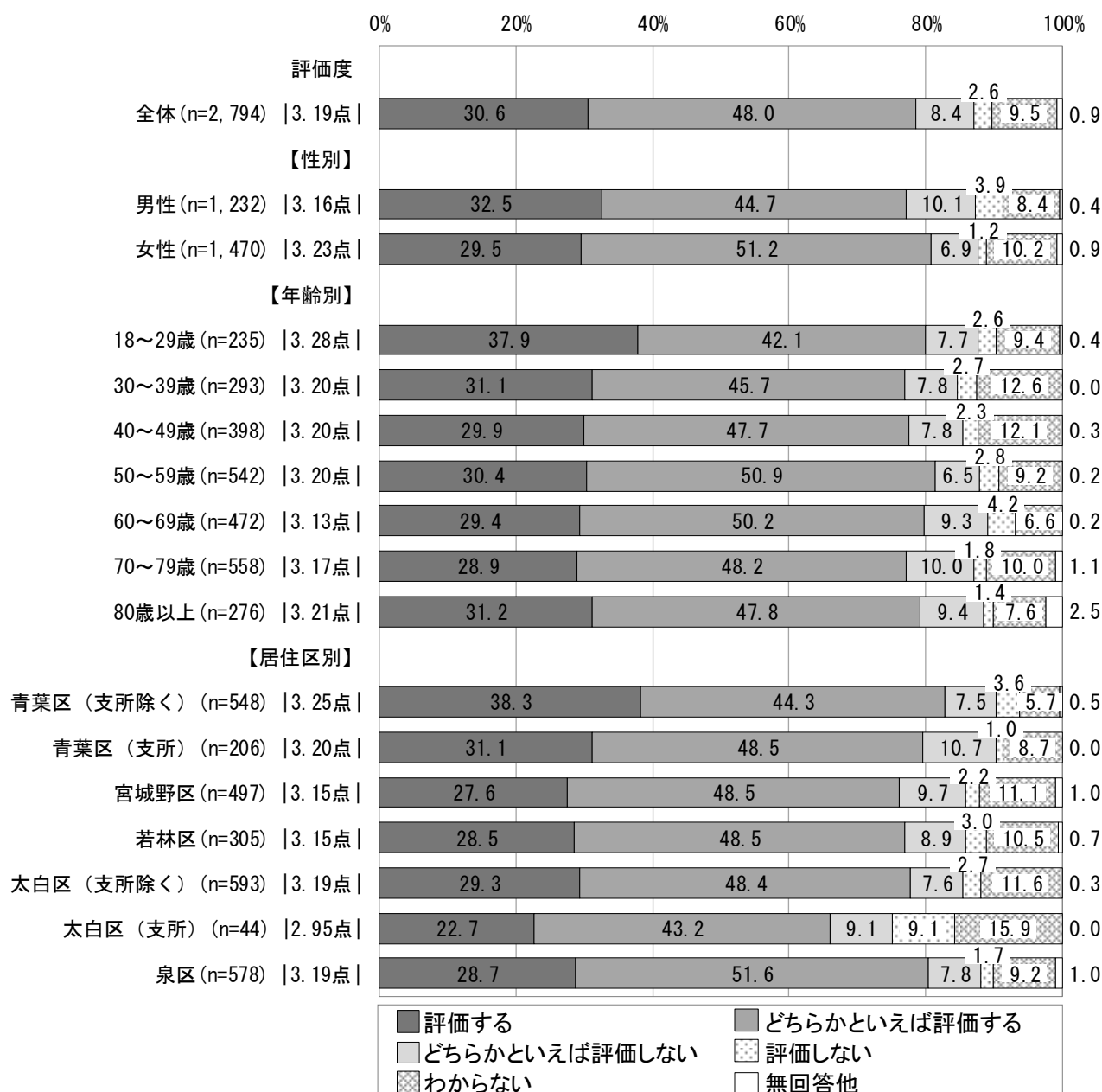
※居住区別の「青葉区(支所)」は「青葉区(宮城総合支所管内)」、「太白区(支所)」は「太白区(秋保総合支所管内)」を指す。以下同じ。

<取り組んでいる施策>

1-① 自然と都市機能が調和した空間を整備し、人々の賑わいや交流を生み出す勾当台・定禅寺通エリアの活性化

全体では、評価度が3.19点となっている。

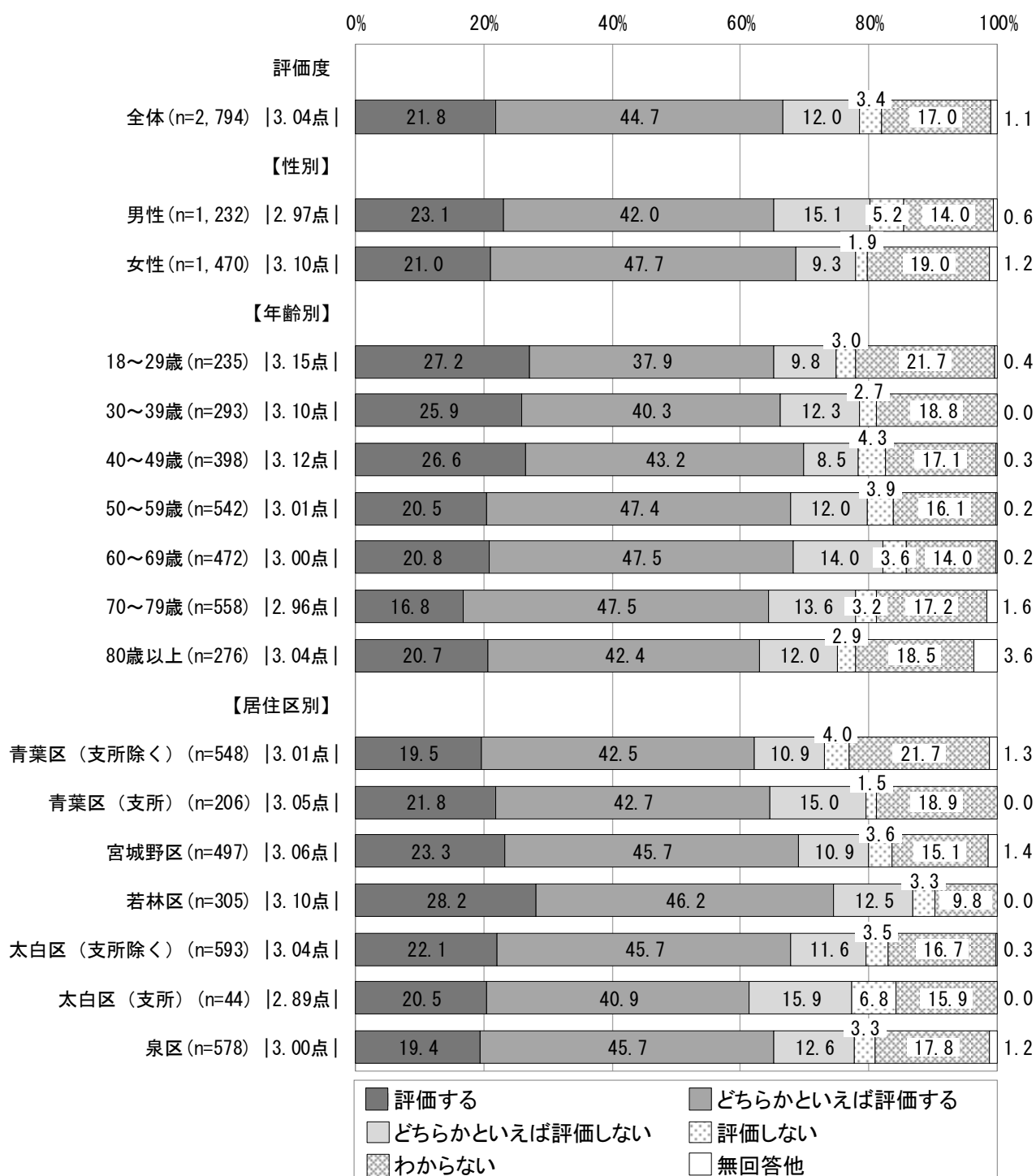
属性別では、女性の回答者、18～29歳の回答者、青葉区（支所除く）に居住する回答者の評価が高くなっている。



1-② 東部沿岸地域における、多くの人との協働によるエリアの魅力向上を通じた、海辺に人の流れと賑わいを生み出す取り組み

全体では、評価度が 3.04 点となっている。

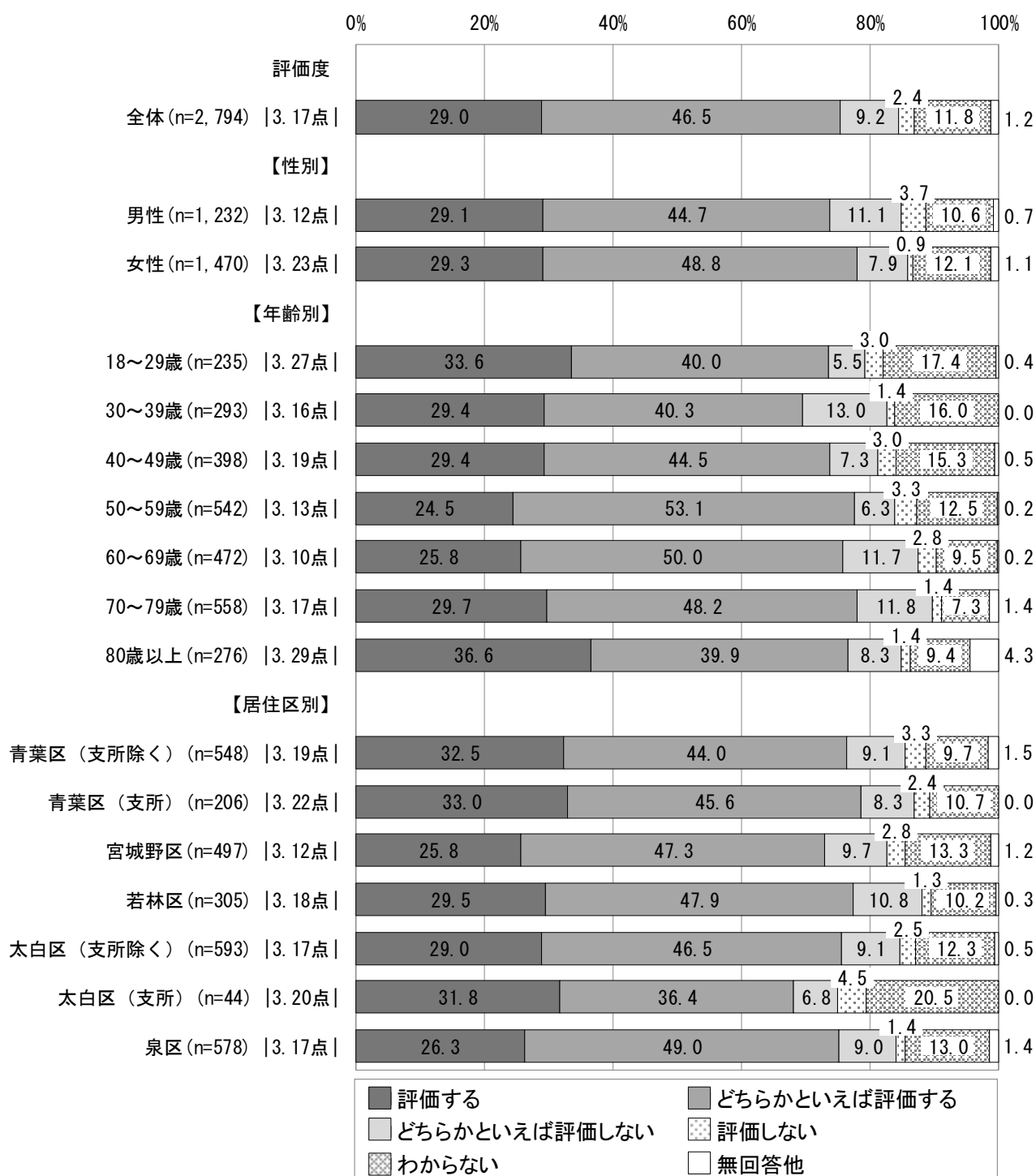
属性別では、女性の回答者、18～29 歳の回答者、若林区に居住する回答者の評価が高くなっている。



1-③ 多様な主体のつながりを生みながら、みどりを守り、未来に受け継ぐ百年の杜づくり

全体では、評価度が 3.17 点となっている。

属性別では、女性の回答者、80 歳以上の回答者、青葉区（支所）に居住する回答者の評価が高くなっている。



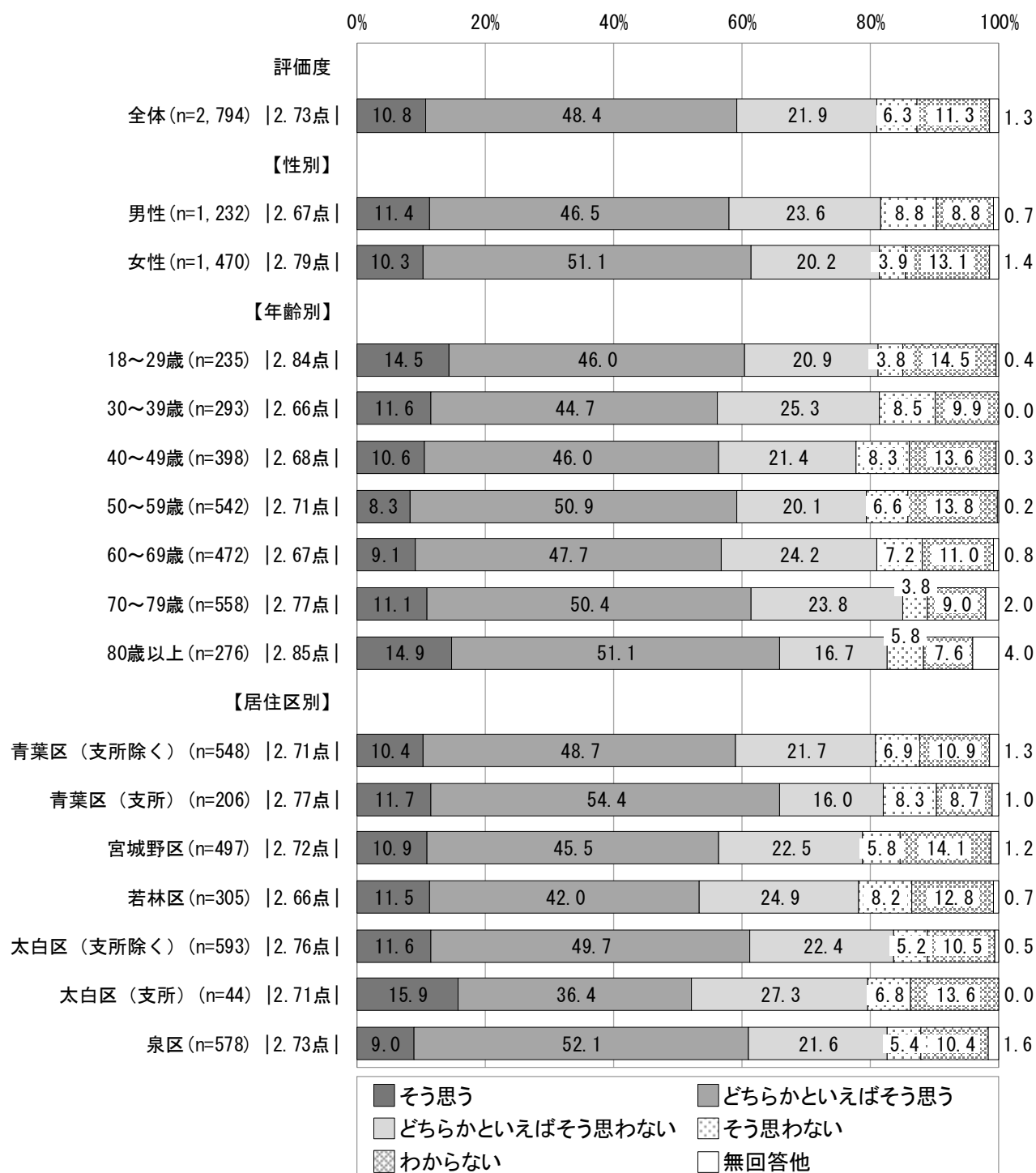
(2) 防災環境都市プロジェクト

<仙台市の現状>

災害に強く、環境にやさしいまちである。

全体では、評価度が 2.73 点となっている。

属性別では、女性の回答者、80 歳以上の回答者、青葉区（支所）に居住する回答者の評価が高くなっている。

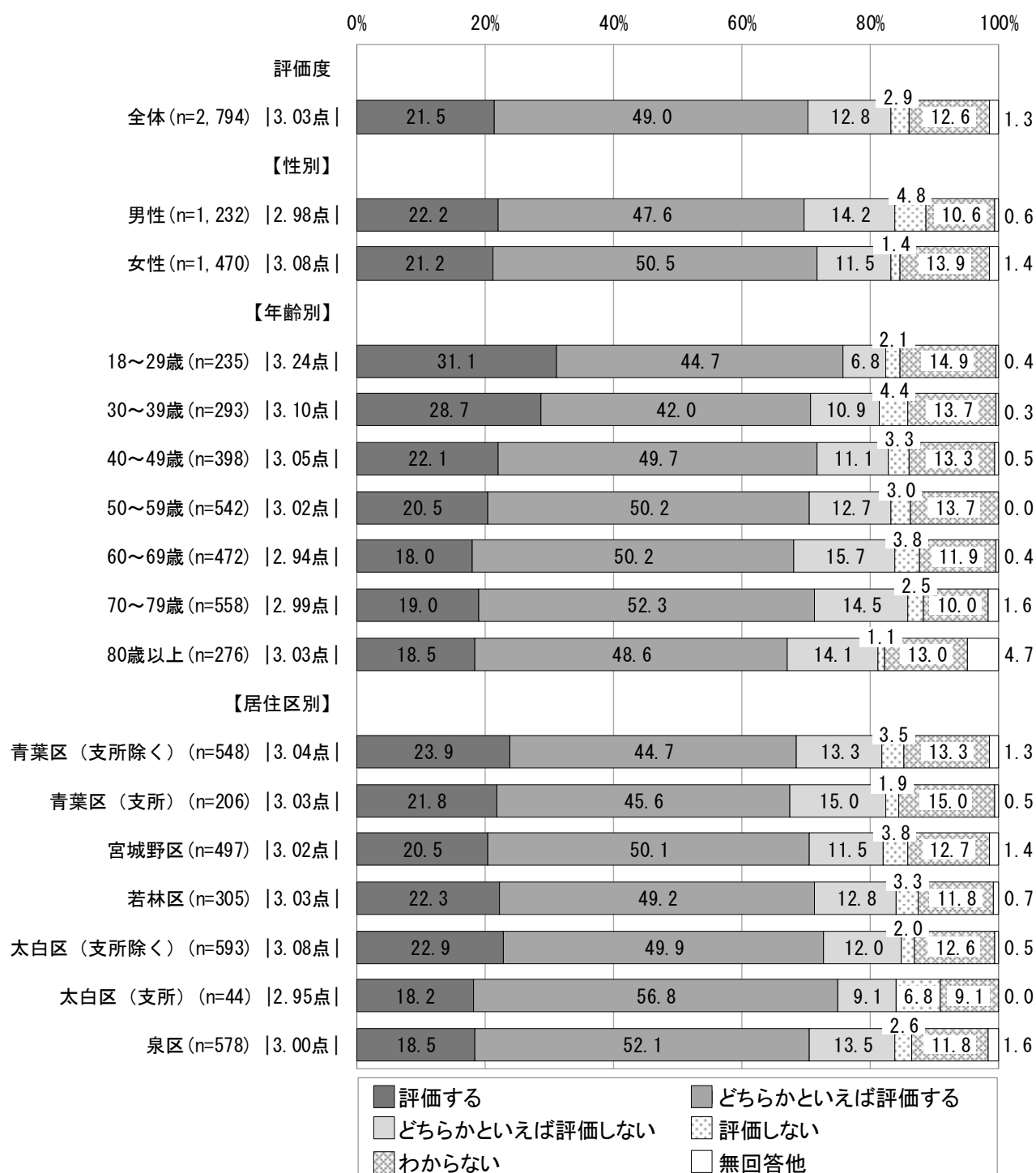


＜取り組んでいる施策＞

2-① 防災や減災に関する発信とともに、日常生活に防災と環境配慮の視点を織り込んだ防災環境都市づくりの推進

全体では、評価度が3.03点となっている。

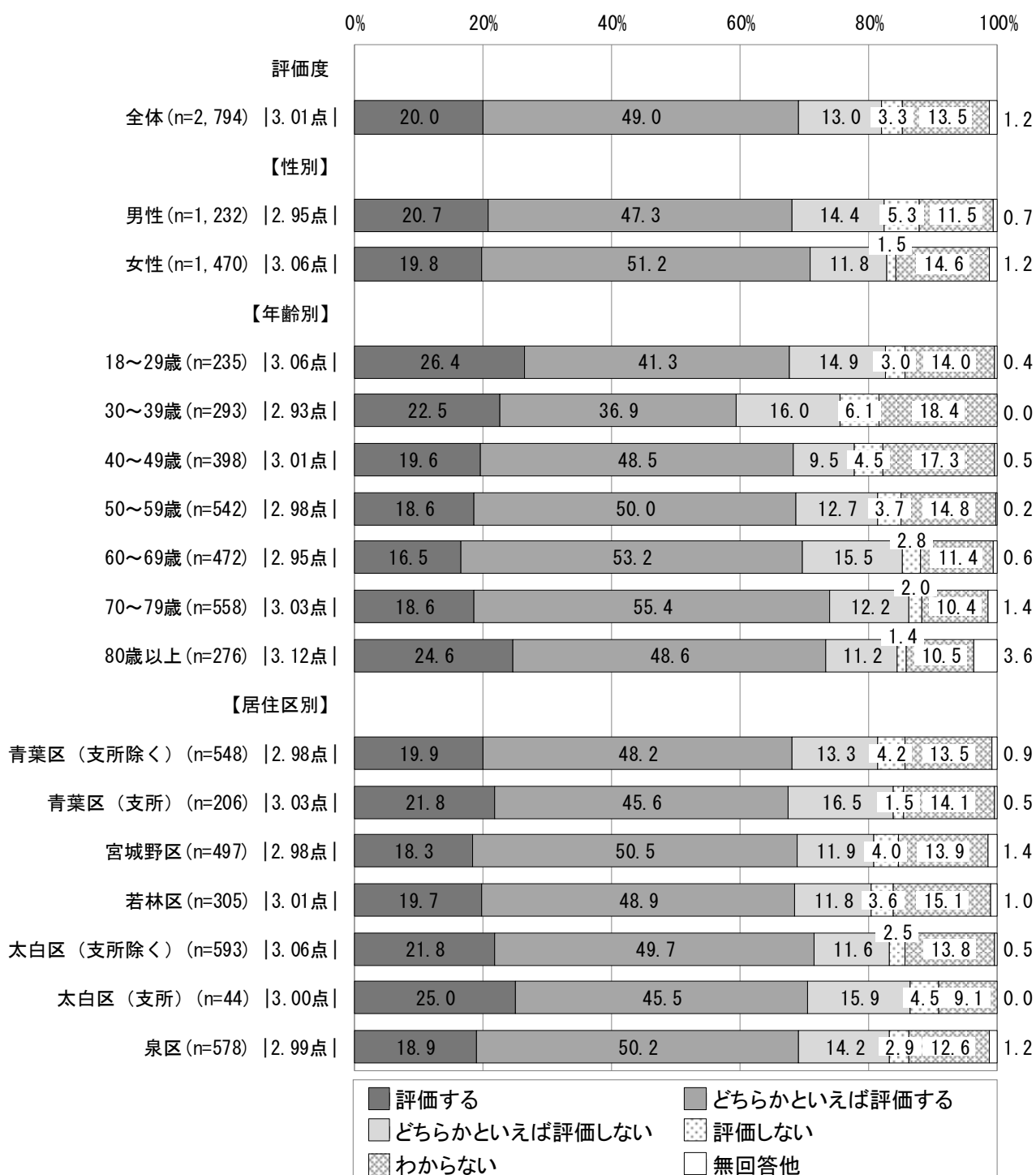
属性別では、女性の回答者、18～29歳の回答者、太白区（支所除く）に居住する回答者の評価が高くなっている。



2-② 持続可能性を高め、杜の都の良好な環境を次世代へ継承する、環境にやさしいまちづくり

全体では、評価度が 3.01 点となっている。

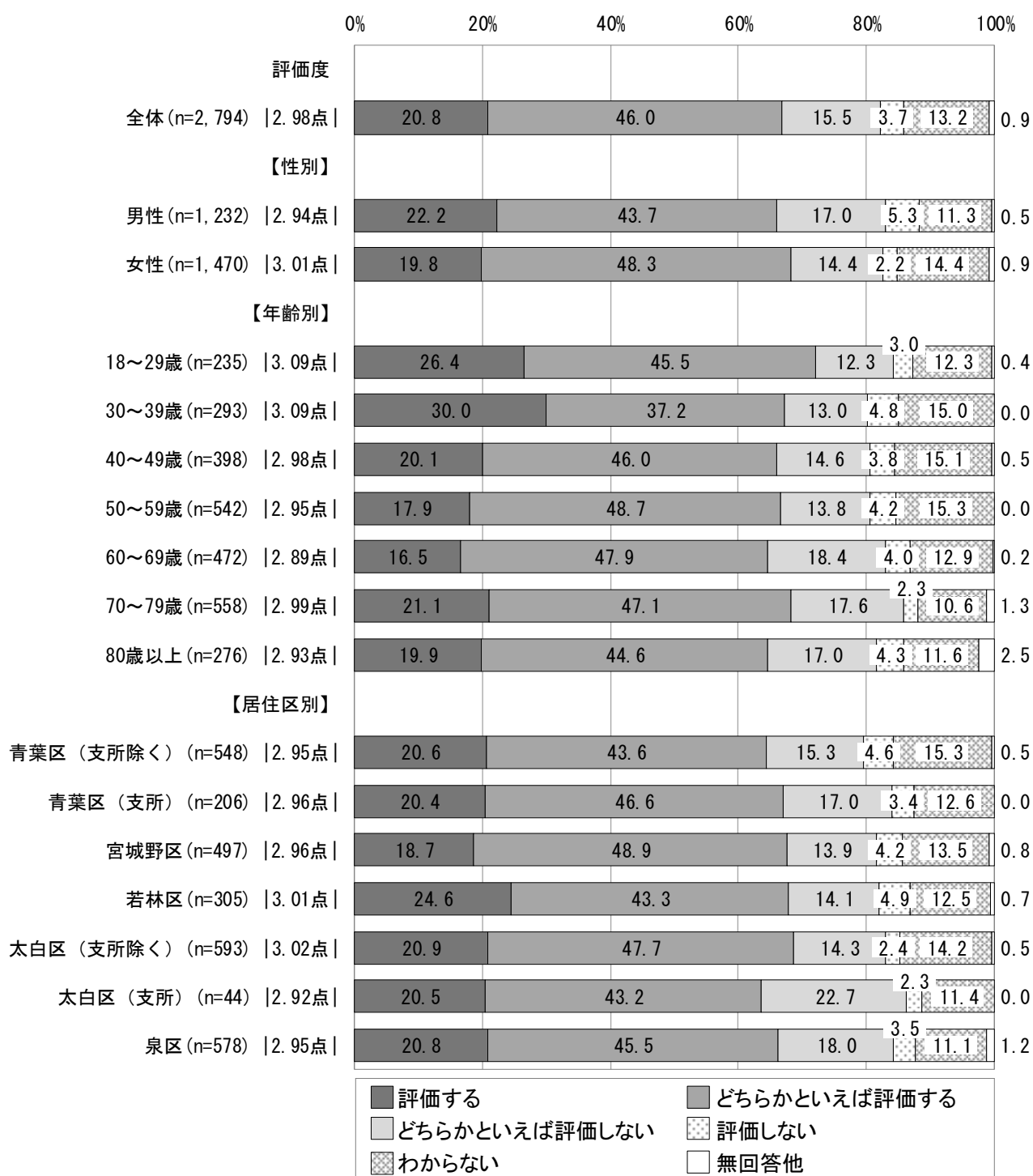
属性別では、女性の回答者、80 歳以上の回答者、太白区（支所除く）に居住する回答者の評価が高くなっている。



2-③ 地震や大雨、火災などの非常時に備えた消防力の強化や、市民一人ひとりの防災意識向上に向けた取り組み

全体では、評価度が2.98点となっている。

属性別では、女性の回答者、18～29歳と30～39歳の回答者、太白区（支所除く）に居住する回答者の評価が高くなっている。



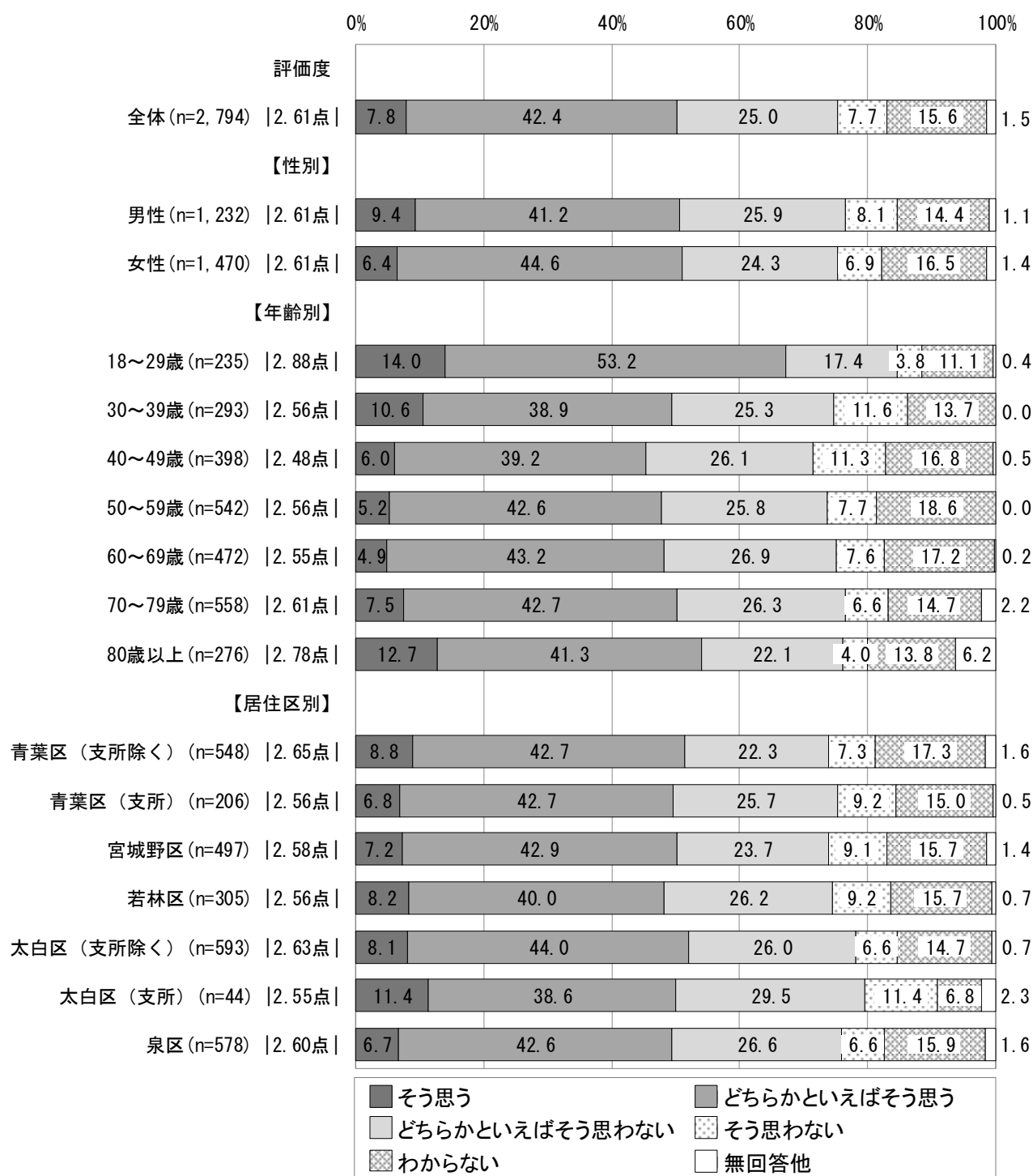
(3) 心の伴走プロジェクト

<仙台市の現状>

一人ひとりが尊重され、安心して暮らすことができるまちである。

全体では、評価度が 2.61 点となっている。

属性別では、18～29 歳の回答者、青葉区（支所除く）に居住する回答者の評価が高くなっている。

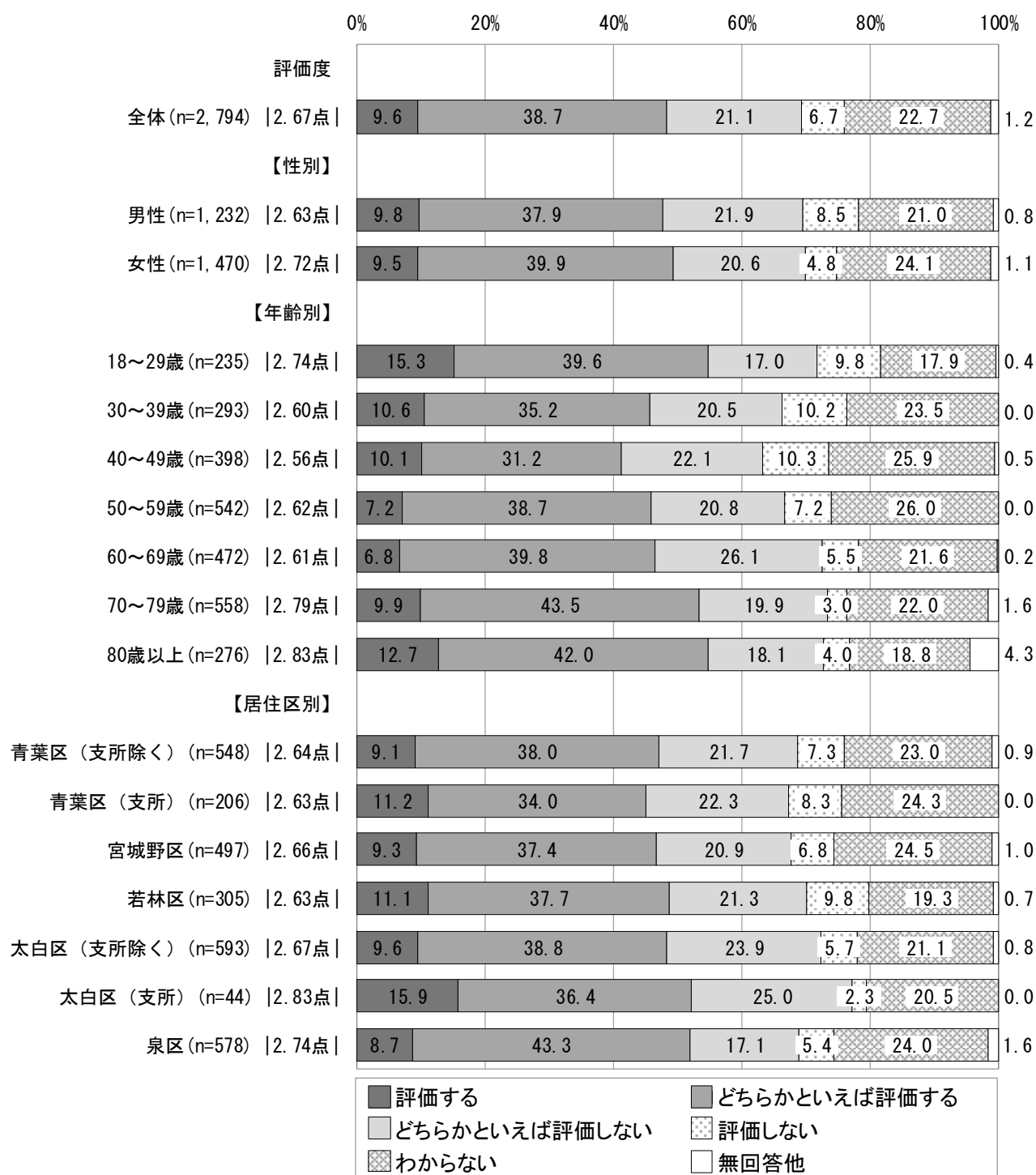


＜取り組んでいる施策＞

3-① 性別、国籍、障害の有無などに関わらない暮らしやすい環境づくり

全体では、評価度が 2.67 点となっている。

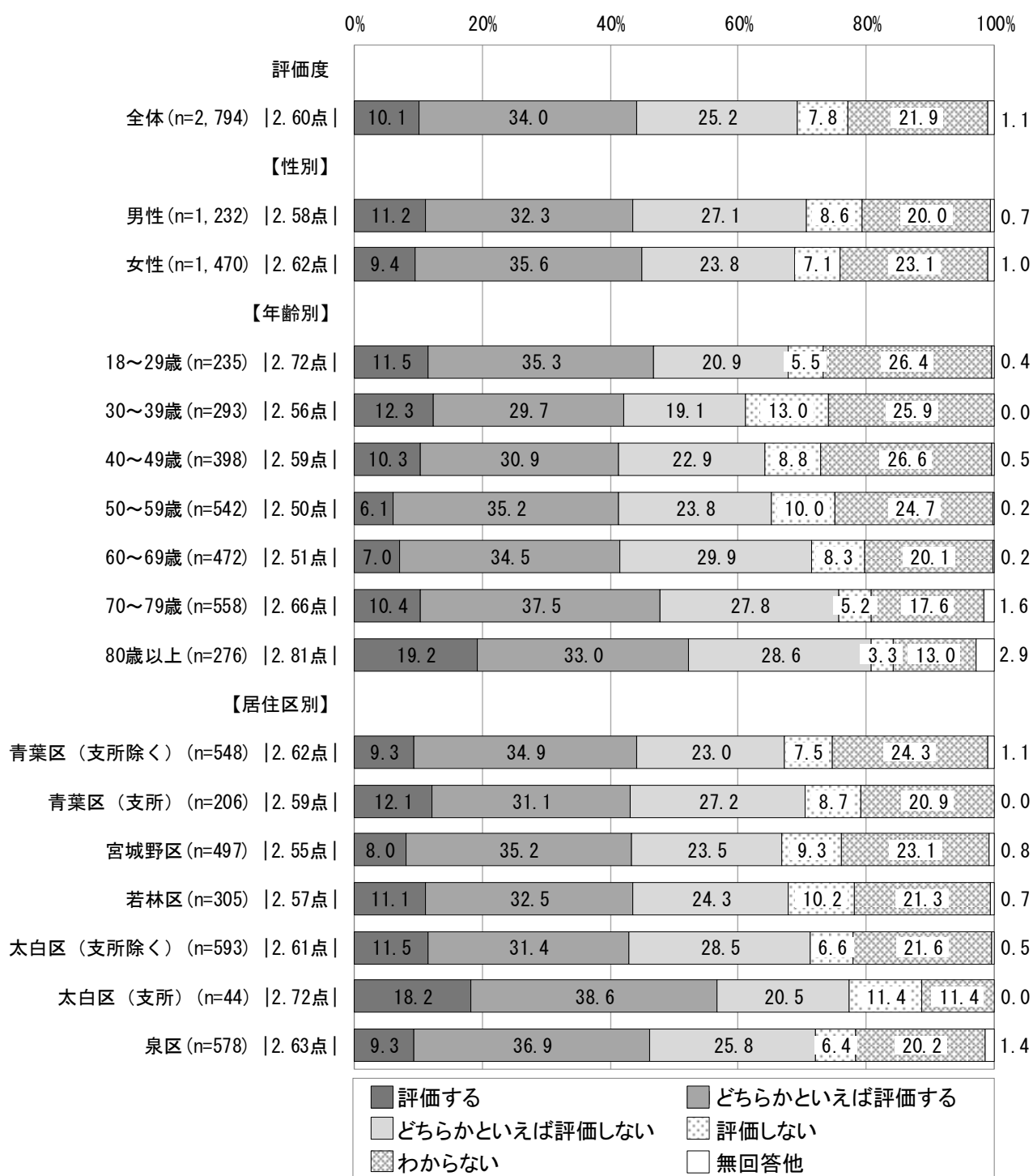
属性別では、女性の回答者、80 歳以上の回答者、太白区（支所）に居住する回答者の評価が高くなっている。



3-② 困ったときに相談しやすく、地域で孤立せずに支えあいながら暮らすことができる環境づくり

全体では、評価度が 2.60 点となっている。

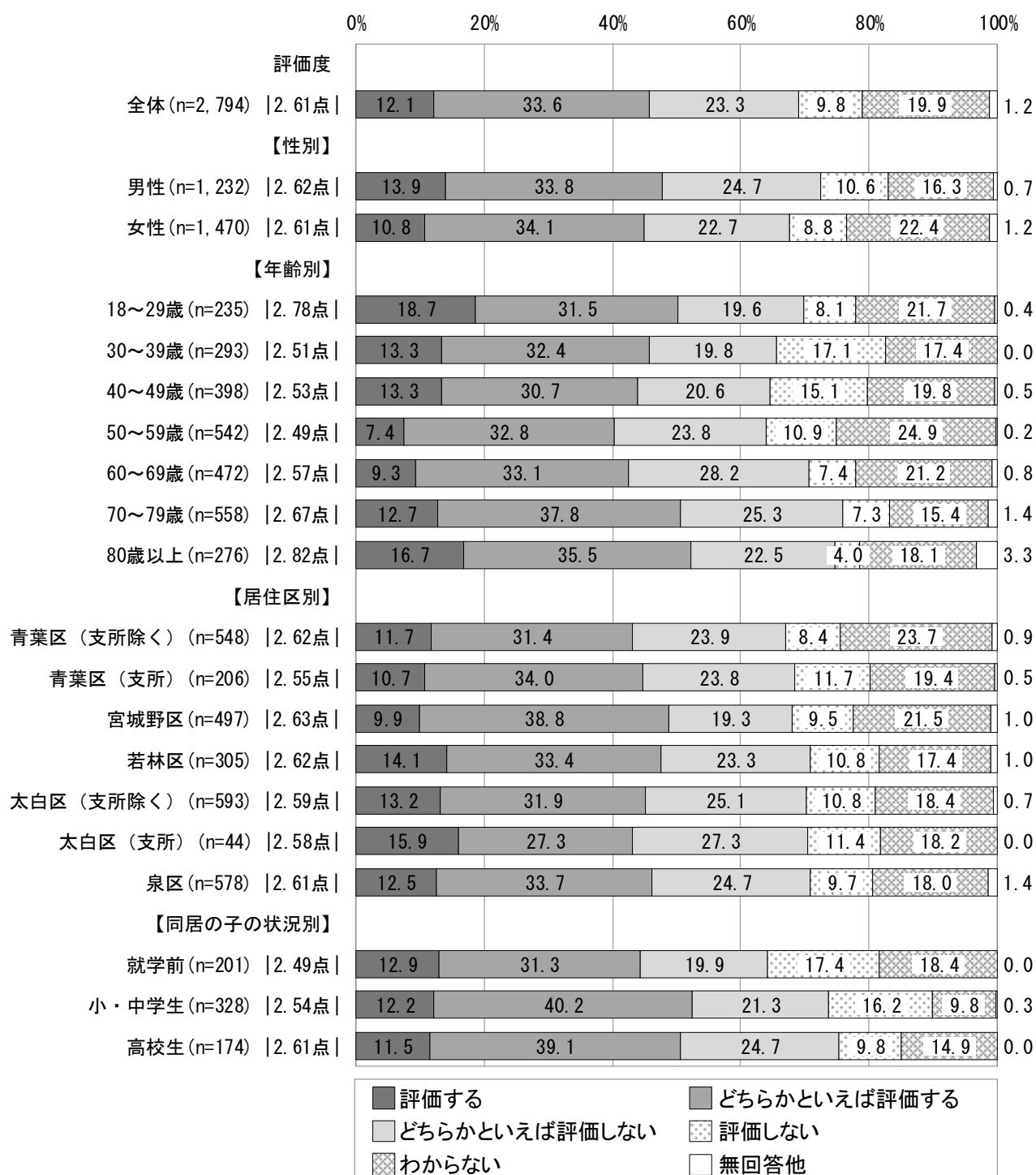
属性別では、女性の回答者、80 歳以上の回答者、太白区（支所）に居住する回答者の評価が高くなっている。



3-③ 子どもたちが安全に、安心して育つことができる環境づくり

全体では、評価度が 2.61 点となっている。

属性別では、男性の回答者、80 歳以上の回答者、宮城野区に居住する回答者、高校生と同居している回答者の評価が高くなっている。



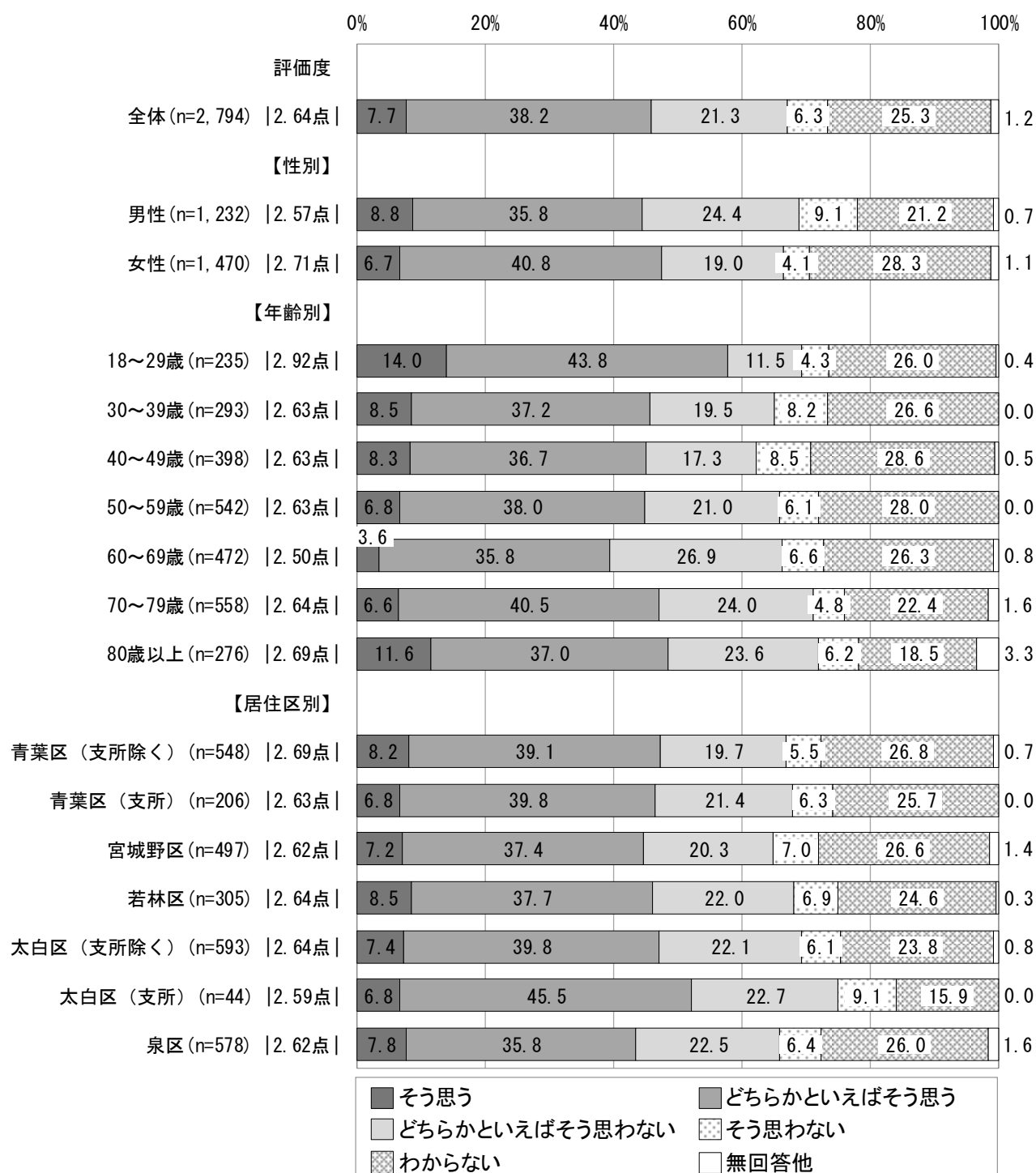
(4) 地域協働プロジェクト

<仙台市の現状>

地域団体・NPO・企業など様々な立場の方々がまちづくりに取り組んでいるまちである。

全体では、評価度が 2.64 点となっている。

属性別では、女性の回答者、18～29 歳の回答者、青葉区（支所除く）に居住する回答者の評価が高くなっている。

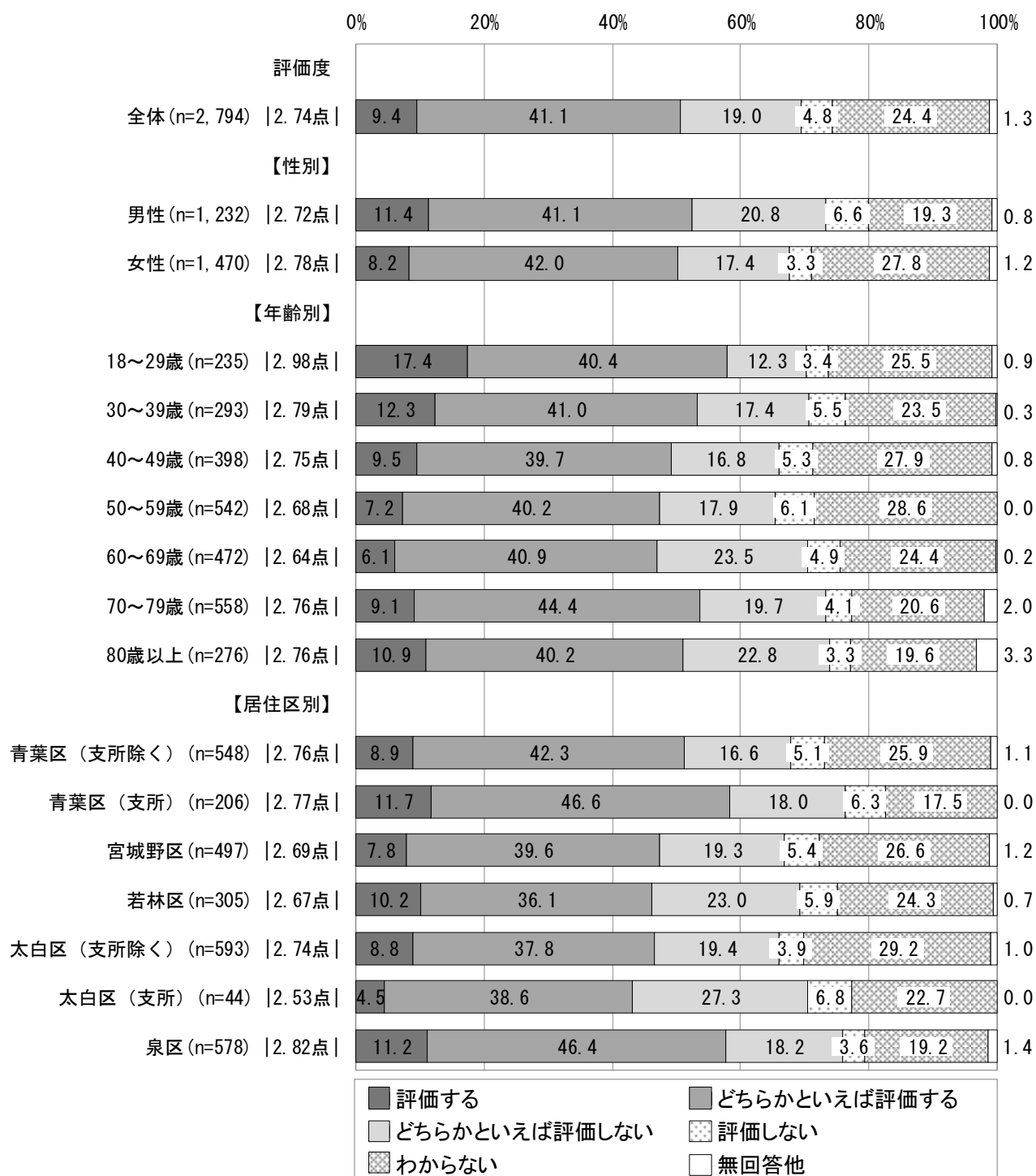


<取り組んでいる施策>

4-① 地域課題の解消や地域の活力創出に向けた、多様な地域の主体による協働を促進するきっかけや仕組みづくり

全体では、評価度が2.74点となっている。

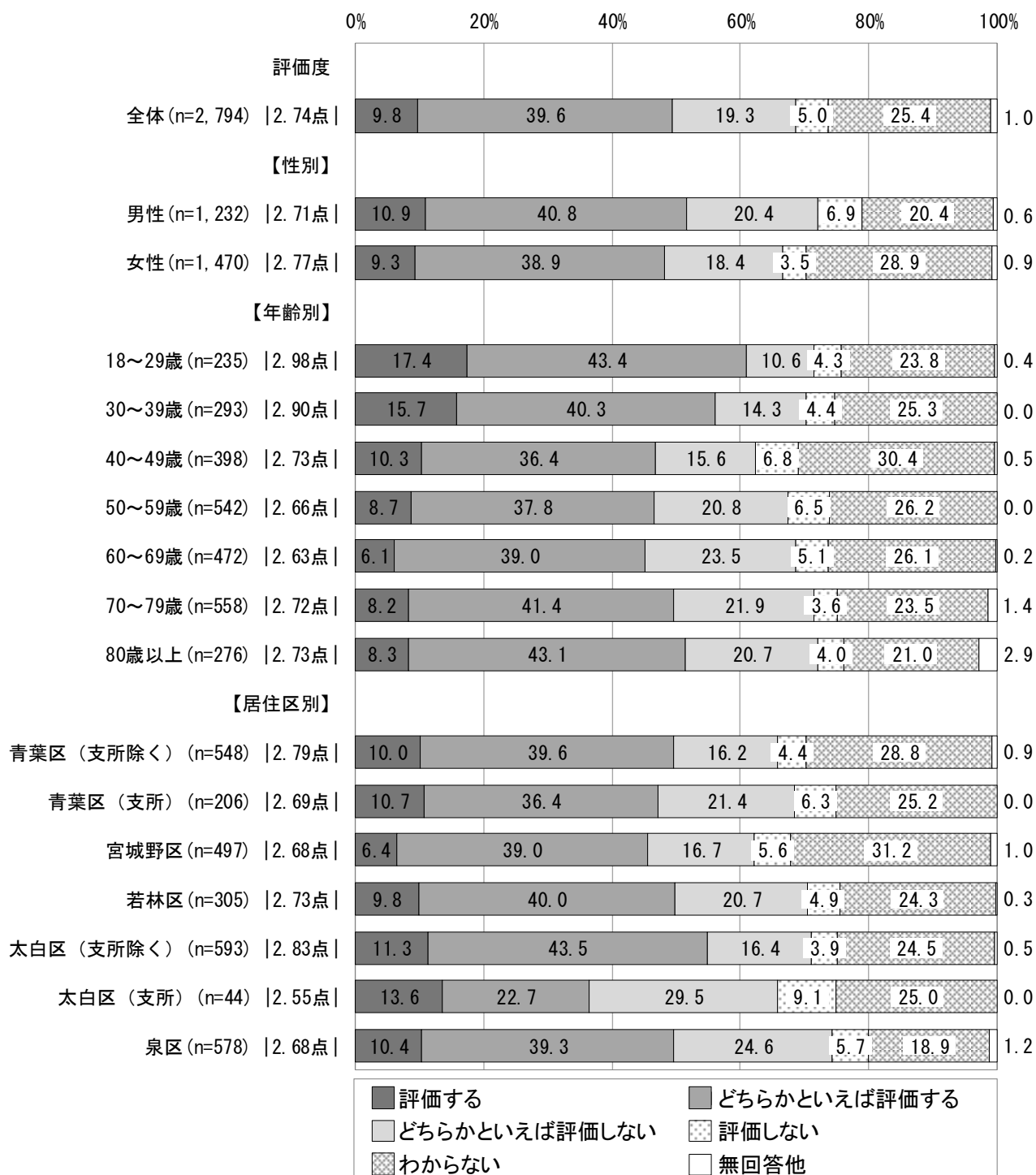
属性別では、女性の回答者、18～29歳の回答者、泉区に居住する回答者の評価が高くなっている。



4-② 各地域の実情に応じた、地域主体の課題解決や地域の資源を活かした魅力づくりの支援

全体では、評価度が 2.74 点となっている。

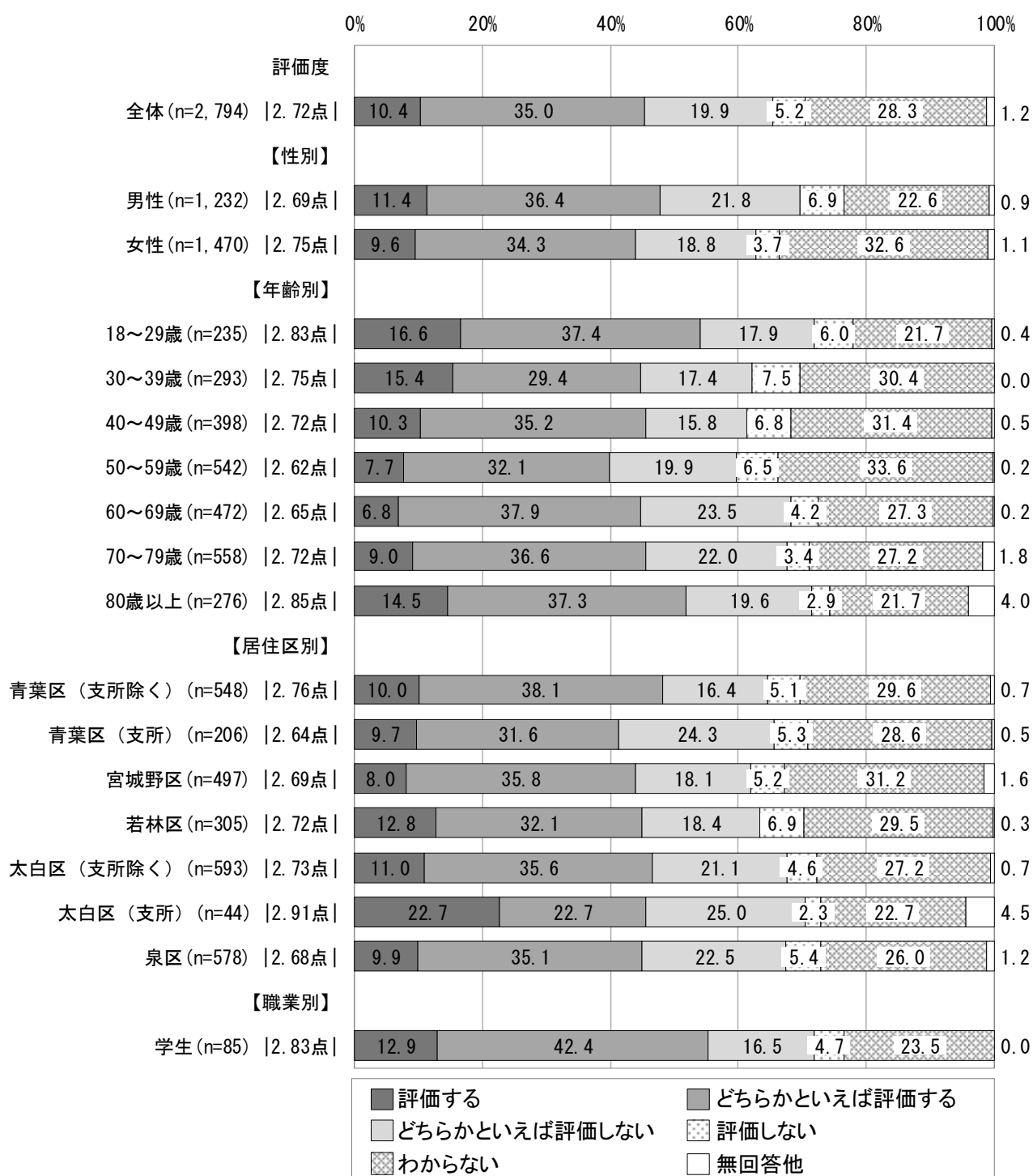
属性別では、女性の回答者、18～29 歳の回答者、太白区（支所除く）に居住する回答者の評価が高くなっている。



4-③ 地域の中で将来にわたり活躍できる人材の育成に向けた、学生・若い世代の社会参加やまちづくりの実践などの機会づくり

全体では、評価度が 2.72 点となっている。

属性別では、女性の回答者、80 歳以上の回答者、太白区（支所）に居住する回答者の評価が高くなっている。



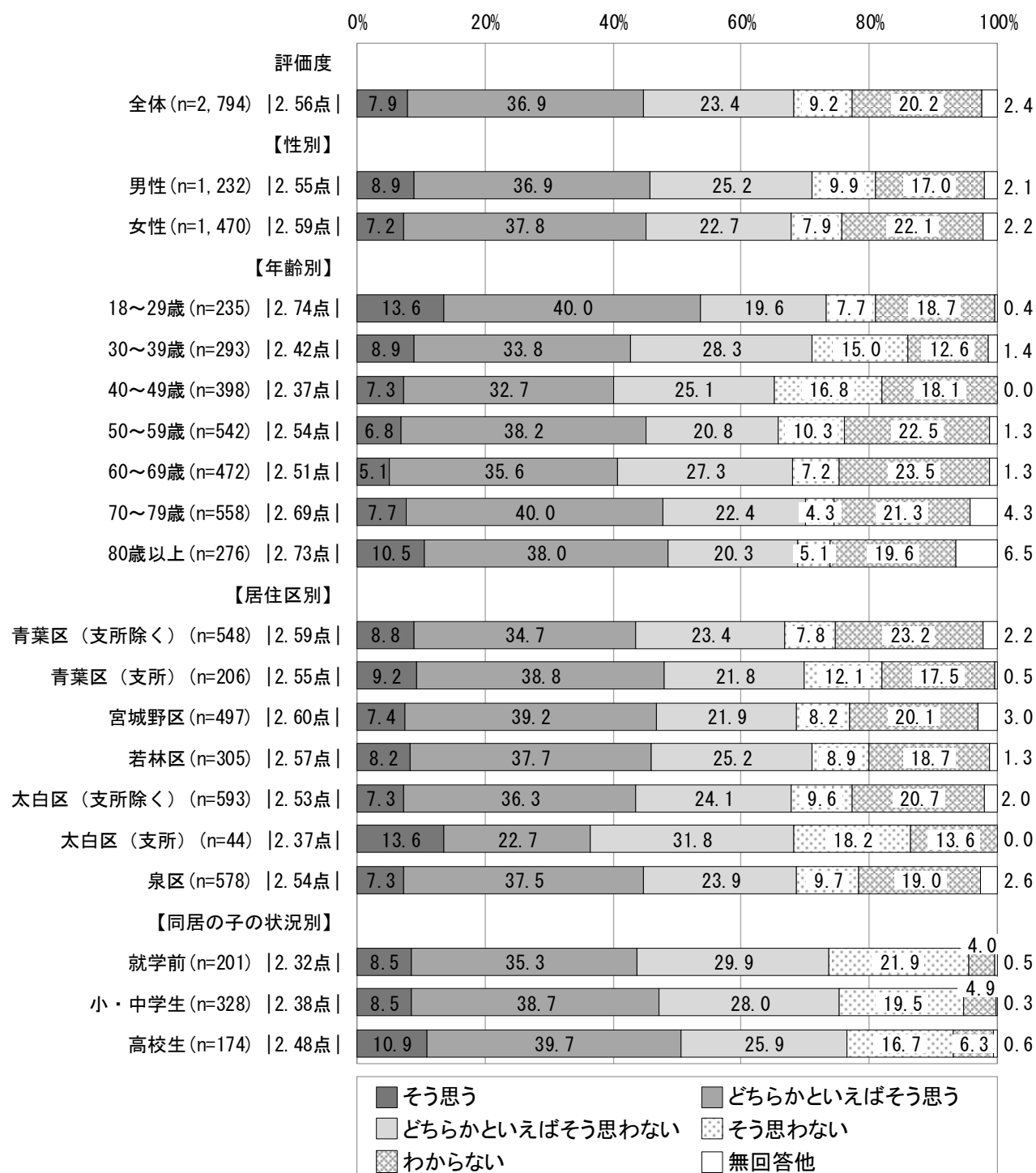
(5) 笑顔咲く子どもプロジェクト

<仙台市の現状>

子育てがしやすく、子どもたちが健やかに学び育つことができるまちである。

全体では、評価度が 2.56 点となっている。

属性別では、女性の回答者、18～29 歳の回答者、宮城野区に居住する回答者、高校生と同居している回答者の評価が高くなっている。

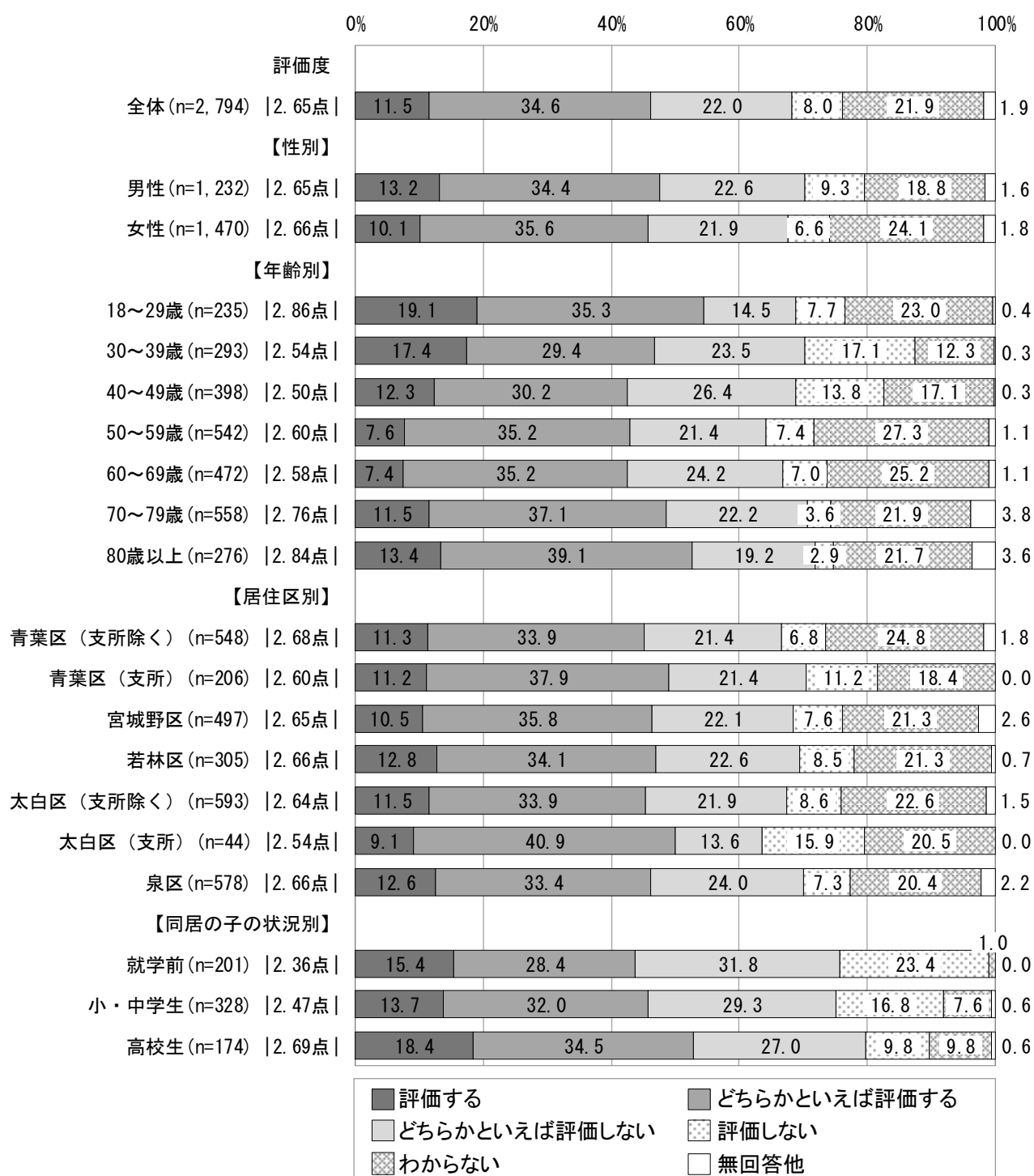


＜取り組んでいる施策＞

5-① まち全体で子ども・子育てを応援する、子育てを楽しめる環境づくり

全体では、評価度が2.65点となっている。

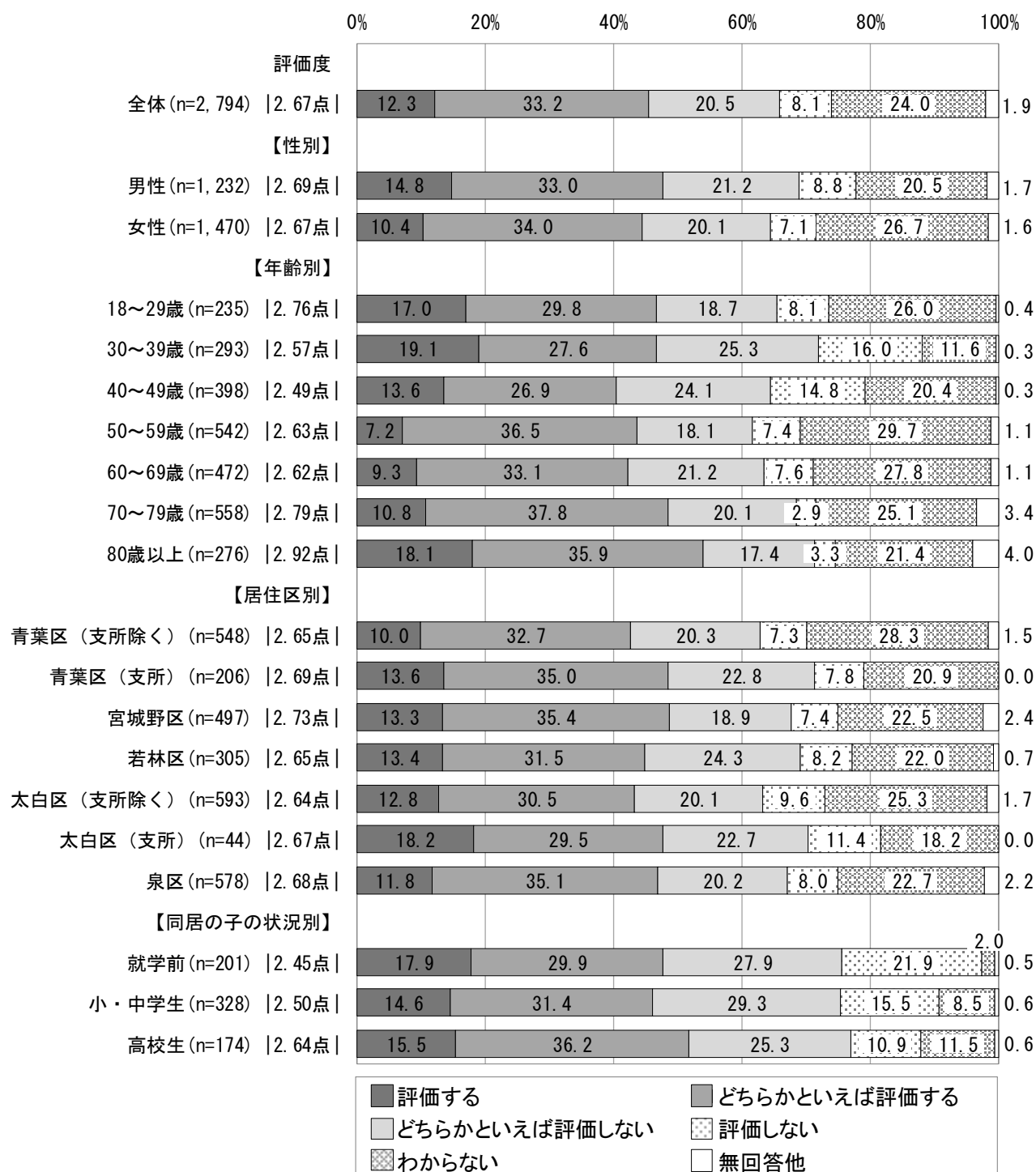
属性別では、女性の回答者、18～29歳の回答者、青葉区（支所除く）に居住する回答者、高校生の子と同居している回答者の評価が高くなっている。



5-② 希望する方が安心して妊娠・出産・子育てができる、子育てがしやすい環境づくり

全体では、評価度が 2.67 点となっている。

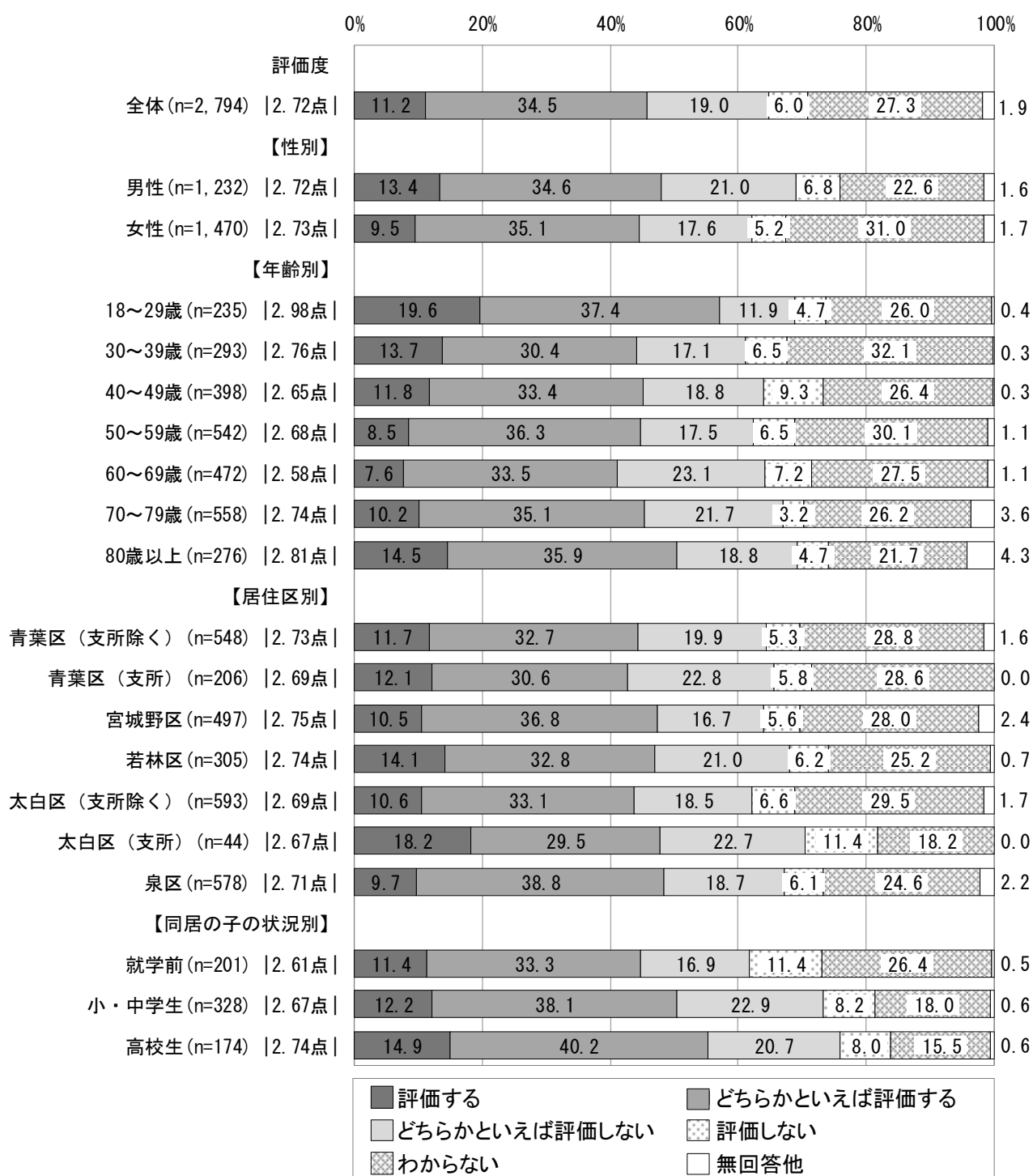
属性別では、男性の回答者、80 歳以上の回答者、宮城野区に居住する回答者、高校生と同居している回答者の評価が高くなっている。



5-③ 多様な学びの支援や、地域との連携強化などによる、豊かな学びと個性に応じた教育の場づくり

全体では、評価度が 2.72 点となっている。

属性別では、女性の回答者、18～29 歳の回答者、宮城野区に居住する回答者、高校生と同居している回答者の評価が高くなっている。



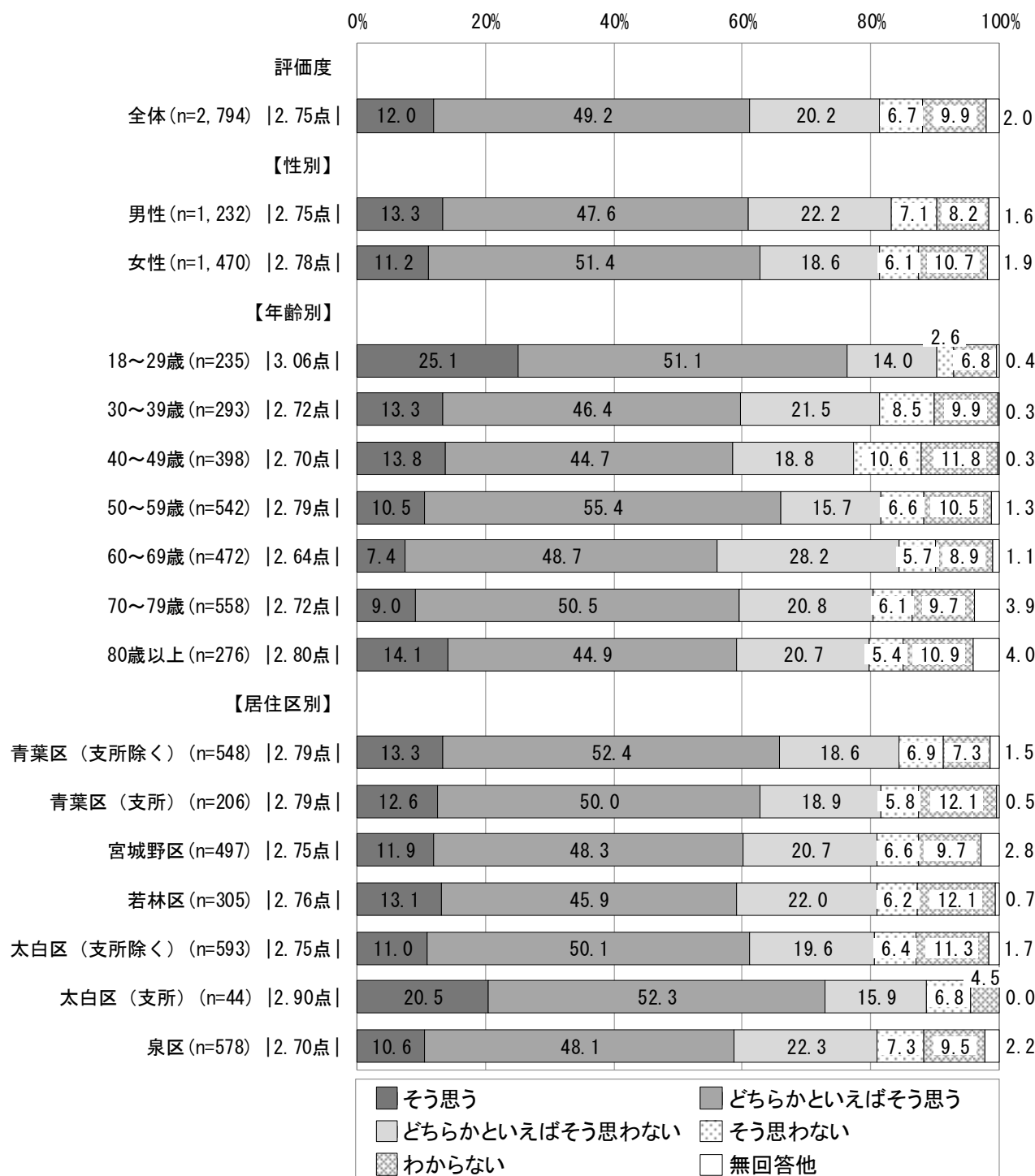
(6) ライフデザインプロジェクト

<仙台市の現状>

自分らしく、充実して暮らすことができるまちである。

全体では、評価度が 2.75 点となっている。

属性別では、女性の回答者、18～29 歳の回答者、太白区（支所）に居住する回答者の評価が高くなっている。

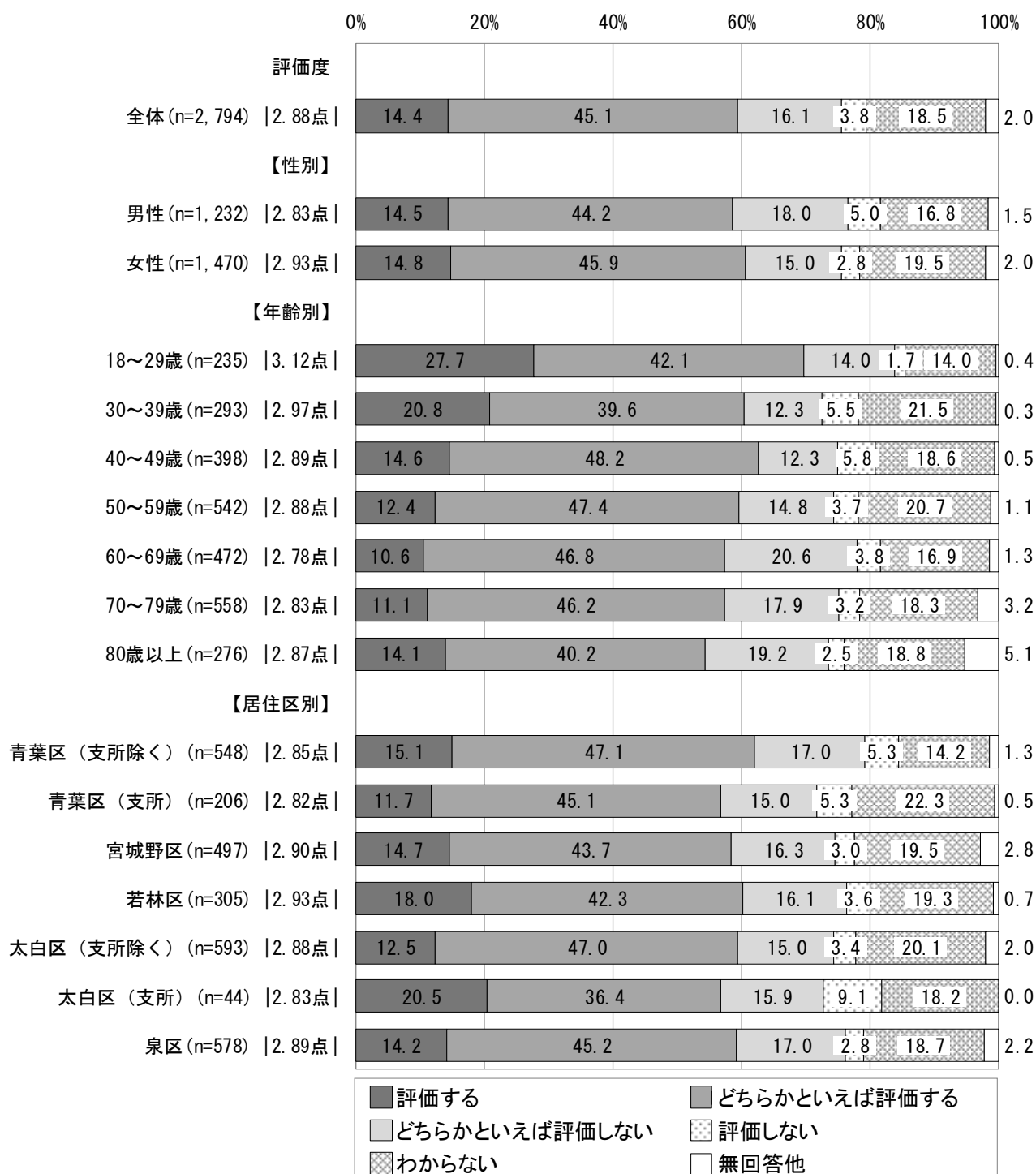


<取り組んでいる施策>

6-① 文化芸術や歴史などに親しめる、多彩な体験・学びの機会がある環境づくり

全体では、評価度が2.88点となっている。

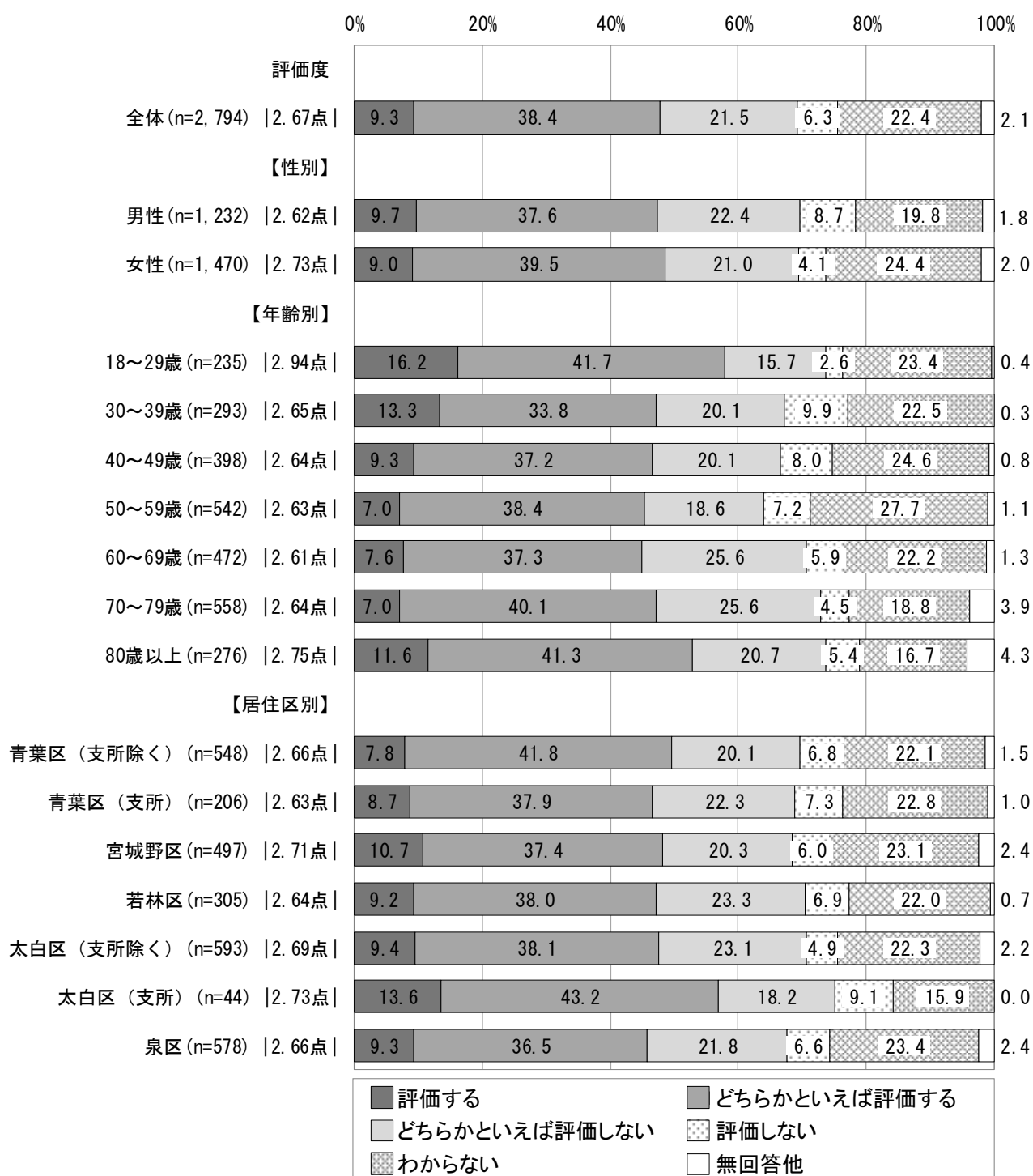
属性別では、女性の回答者、18～29歳の回答者、若林区に居住する回答者の評価が高くなっている。



6-② 多様な暮らしや生き方を選択し、能力を十分に発揮できる、自分らしい暮らしの実現につながる環境づくり

全体では、評価度が 2.67 点となっている。

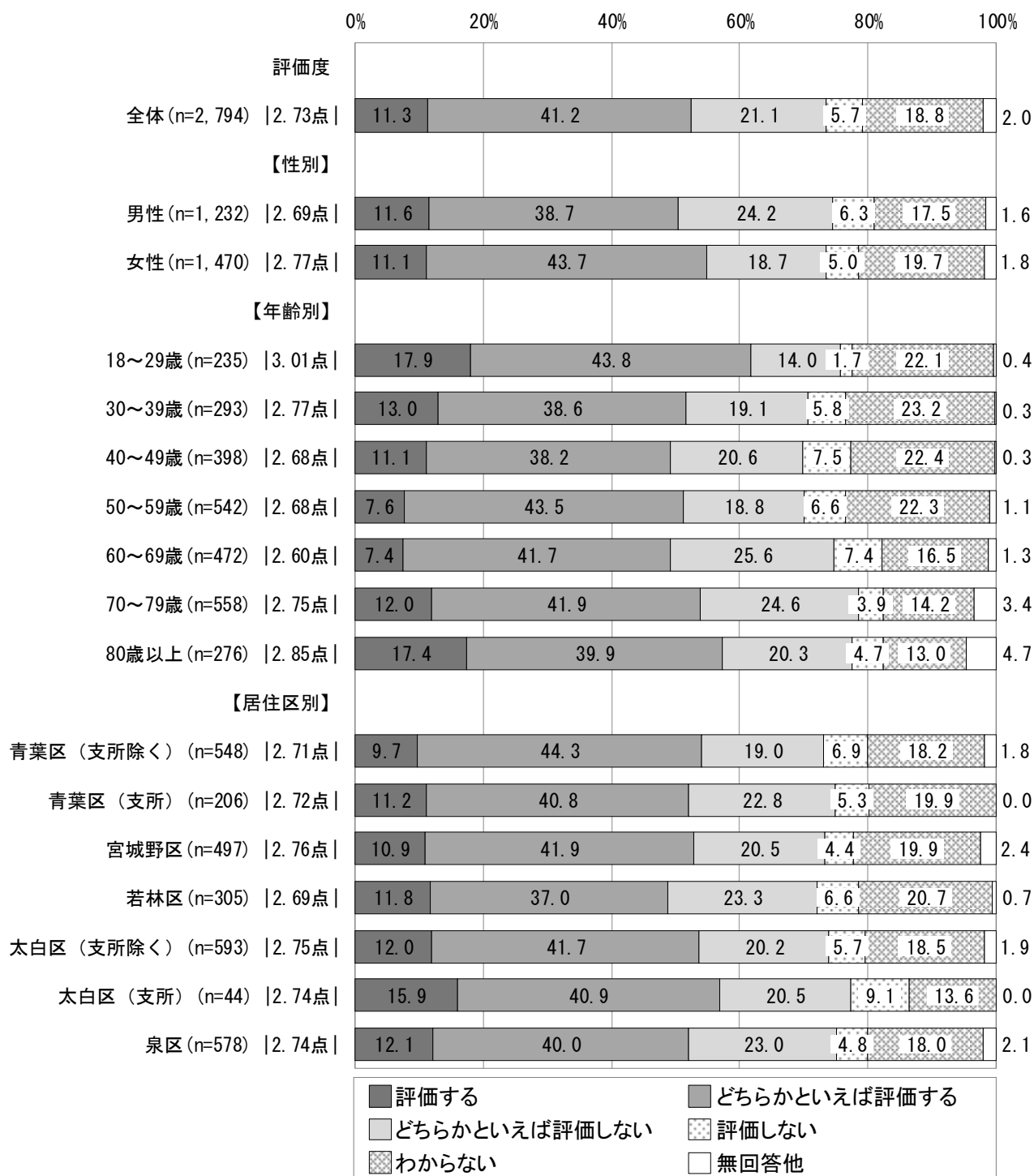
属性別では、女性の回答者、18～29 歳の回答者、太白区（支所）に居住する回答者の評価が高くなっている。



6-③ 一人ひとりの状況に応じた、誰もがいきいきと健康に暮らすことができる環境づくり

全体では、評価度が 2.73 点となっている。

属性別では、女性の回答者、18～29 歳の回答者、宮城野区に居住する回答者の評価が高くなっている。



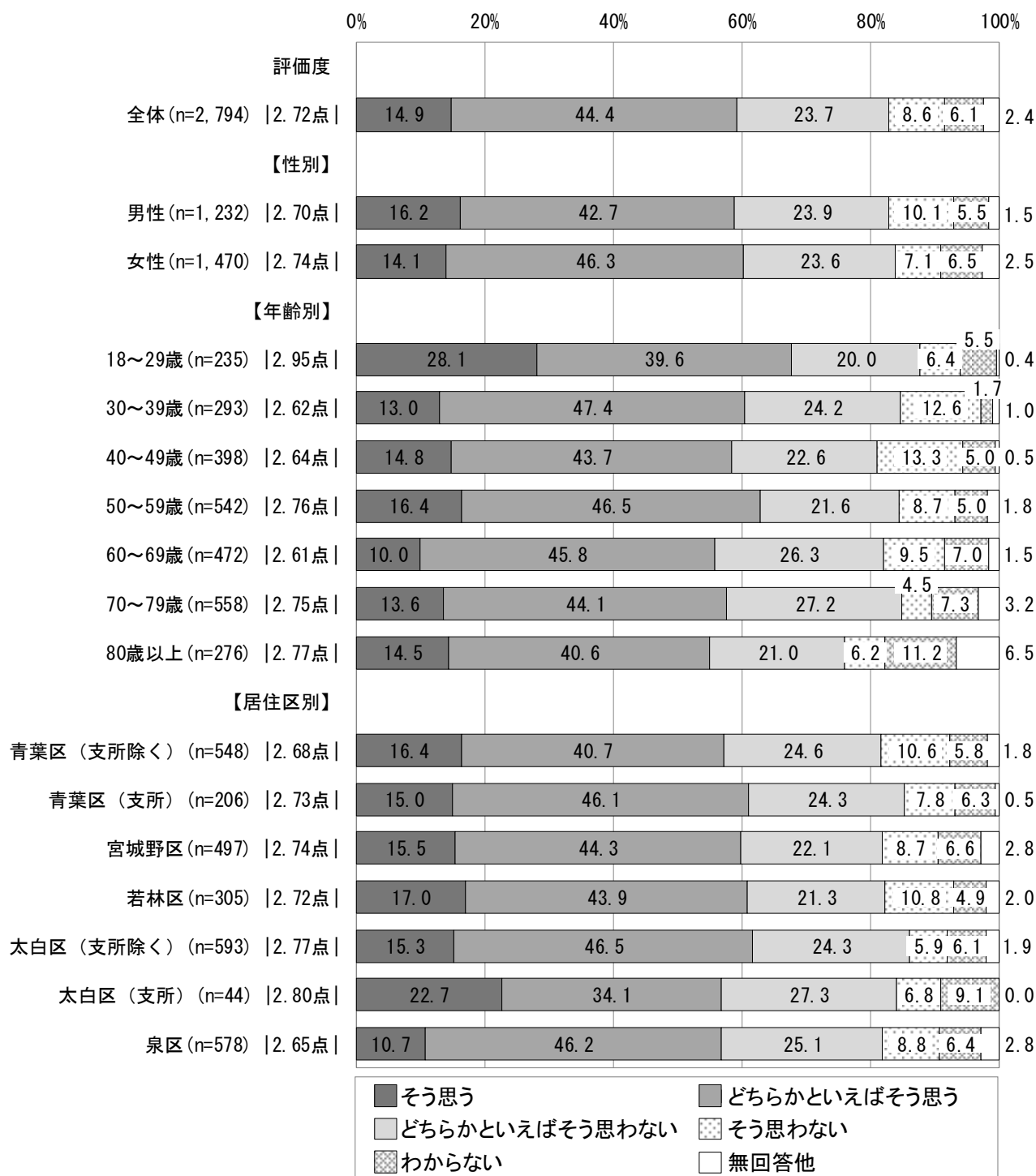
(7) TOHOKU 未来プロジェクト

<仙台市の現状>

経済や観光の魅力があるまちである。

全体では、評価度が 2.72 点となっている。

属性別では、女性の回答者、18～29 歳の回答者、太白区（支所）に居住する回答者の評価が高くなっている。

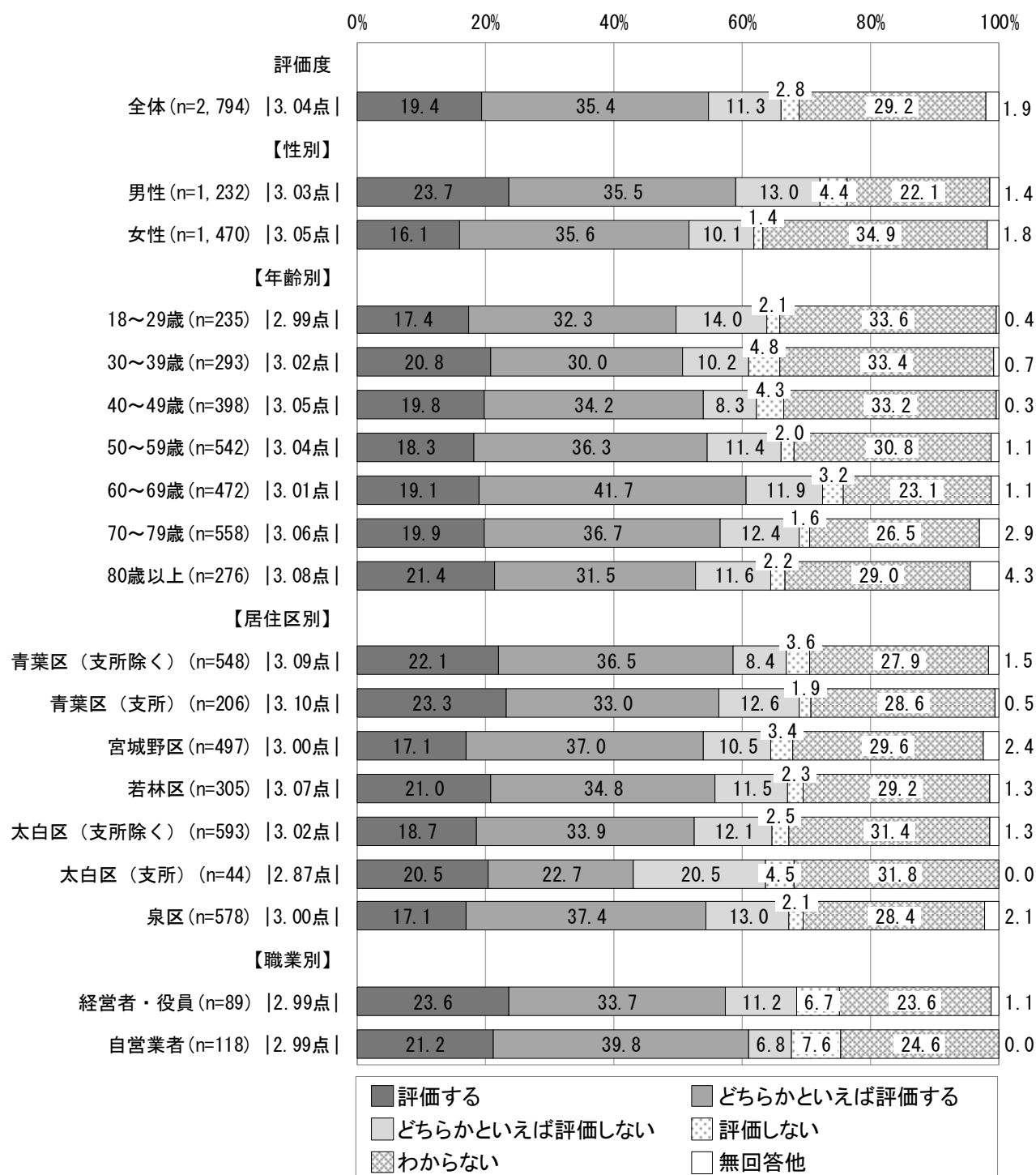


<取り組んでいる施策>

7-① 次世代放射光施設ナノテラスや産学官連携の仕組みを活用した、新産業の創出や新たなビジネスに挑戦しやすい環境づくり

全体では、評価度が3.04点となっている。

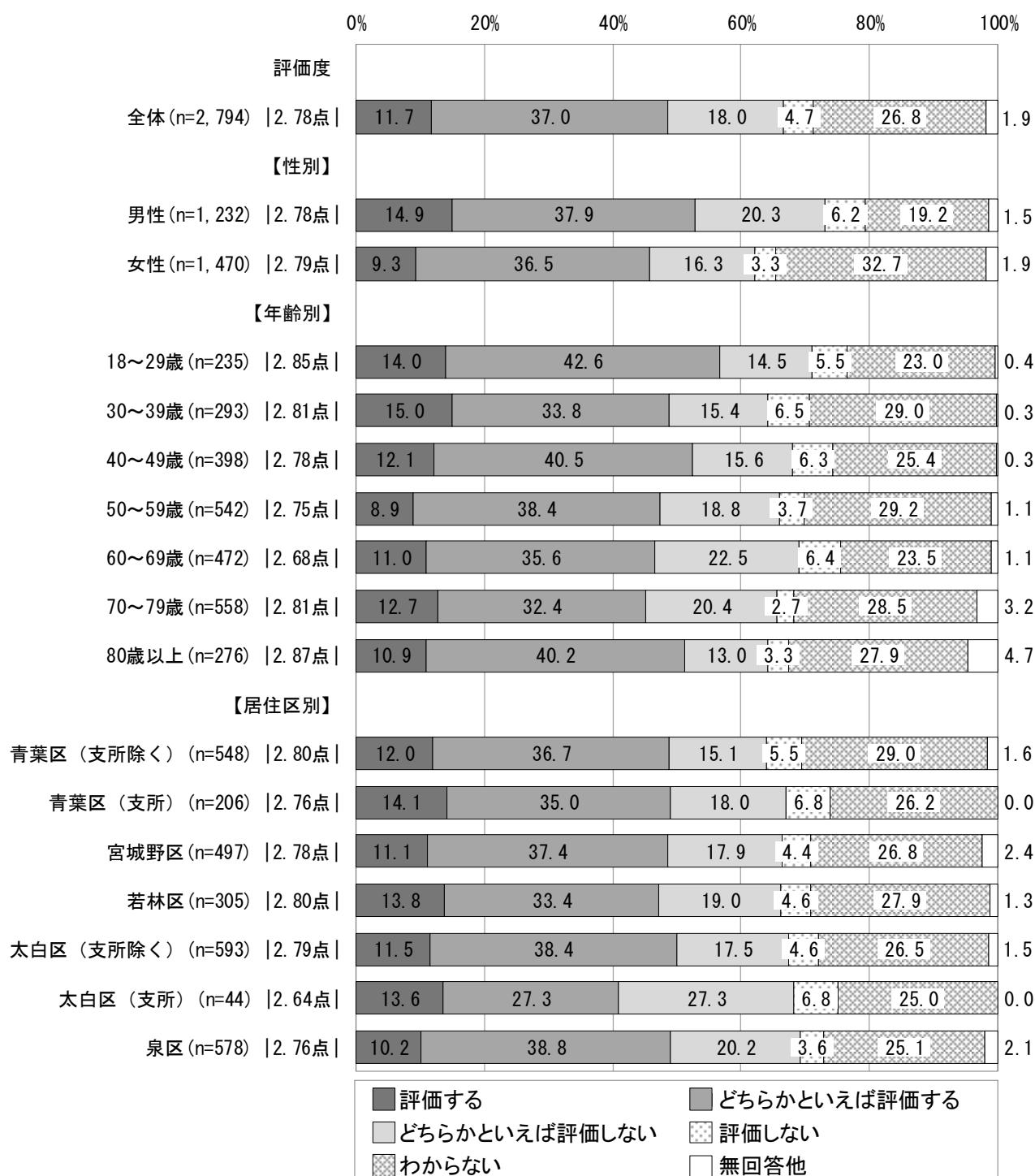
属性別では、女性の回答者、80歳以上の回答者、青葉区（支所）に居住する回答者の評価が高くなっている。



7-② 地域経済活性化や若い世代の地元定着促進に向けた、地域産業の成長を支える環境づくり

全体では、評価度が 2.78 点となっている。

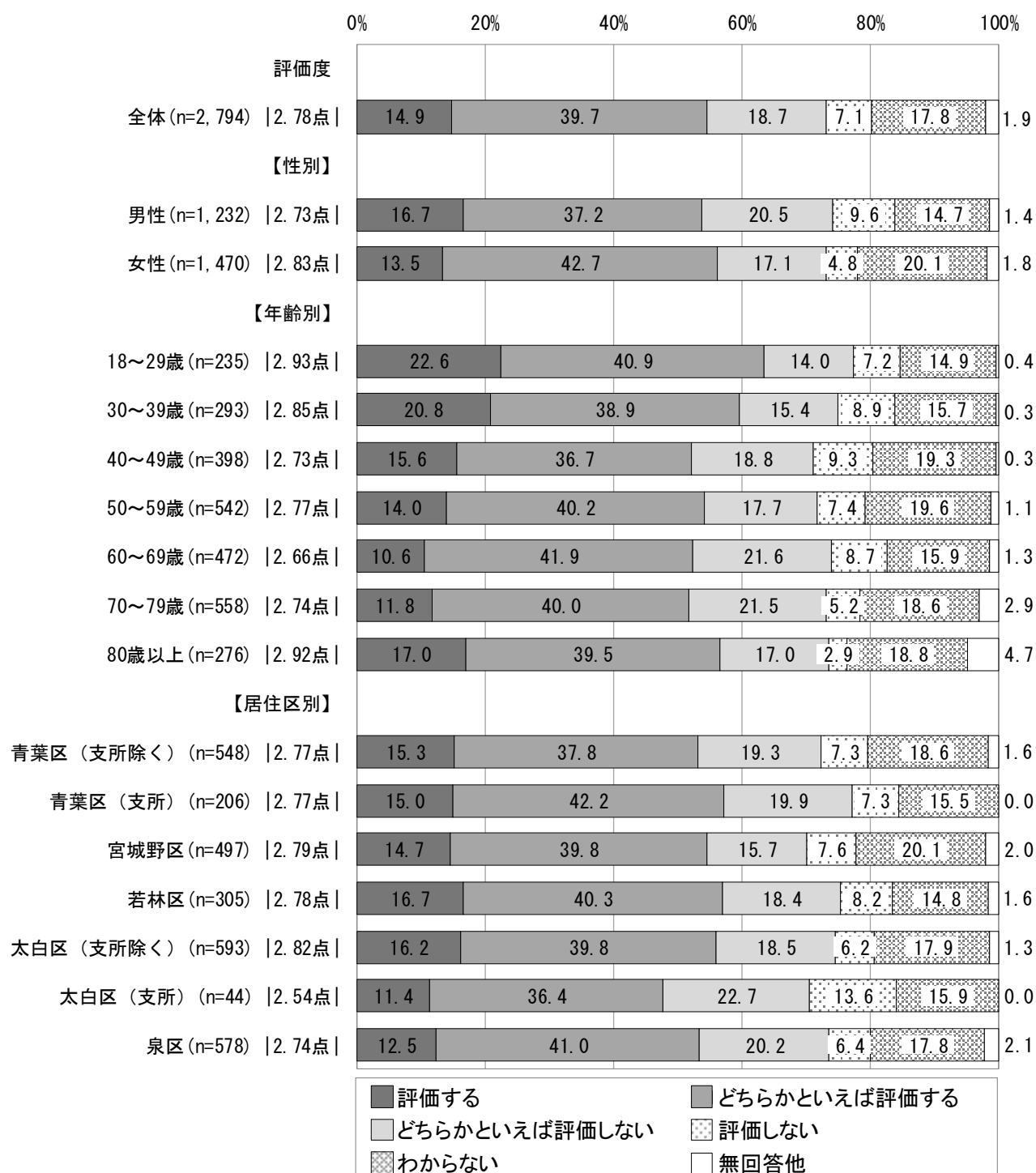
属性別では、女性の回答者、80 歳以上の回答者、青葉区（支所除く）と若林区に居住する回答者の評価が高くなっている。



7-③ 東北各地と連携し、仙台・東北に多くの人を呼び込み、滞在する人を増やす取り組み

全体では、評価度が 2.78 点となっている。

属性別では、女性の回答者、18～29 歳の回答者、太白区（支所除く）に居住する回答者の評価が高くなっている。



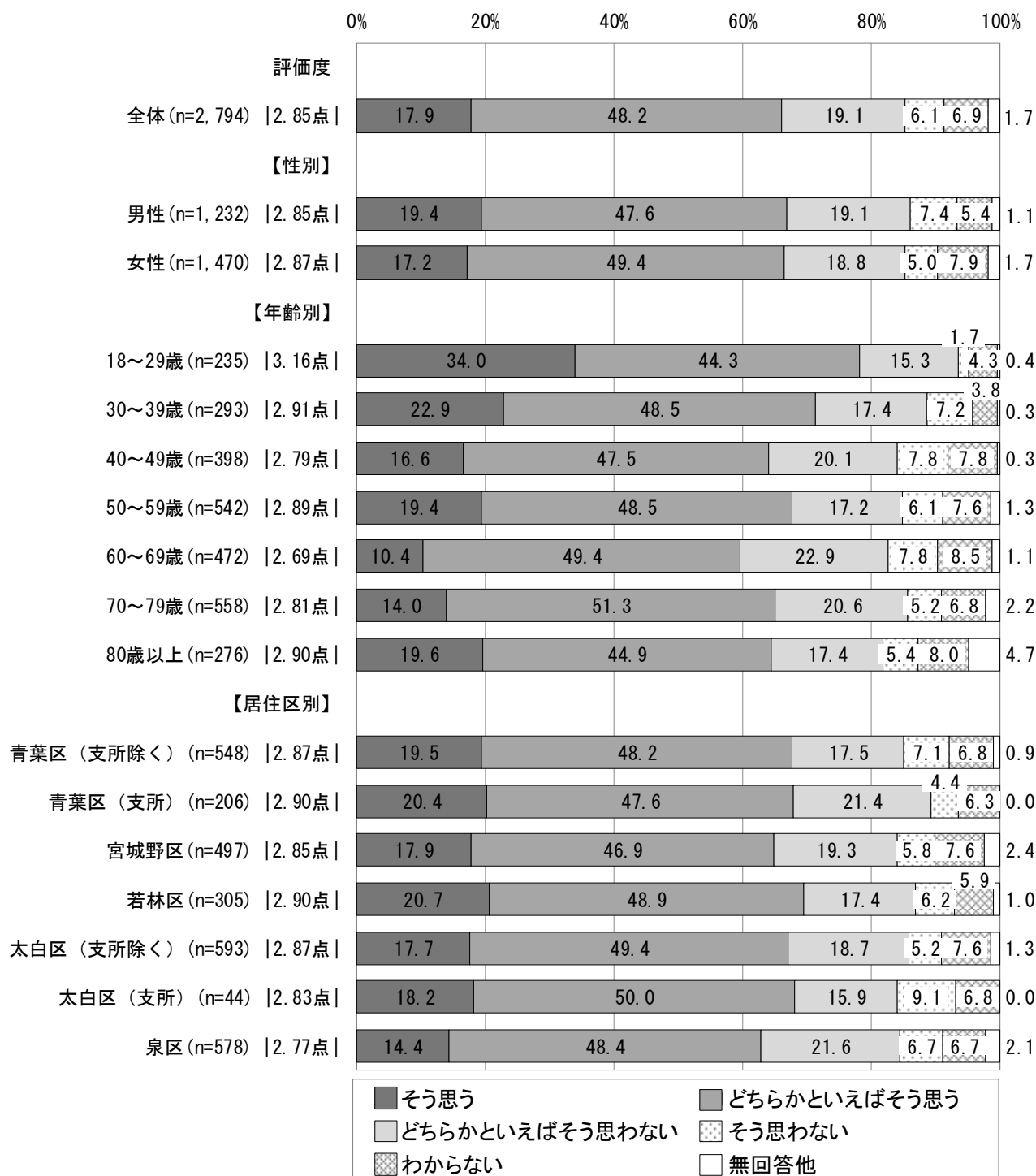
(8) 都心創生プロジェクト

<仙台市の現状>

仙台の都心部は人が集い、働き、楽しむ場所として魅力があるまちである。

全体では、評価度が 2.85 点となっている。

属性別では、女性の回答者、18～29 歳の回答者、青葉区（支所）と若林区に居住する回答者の評価が高くなっている。

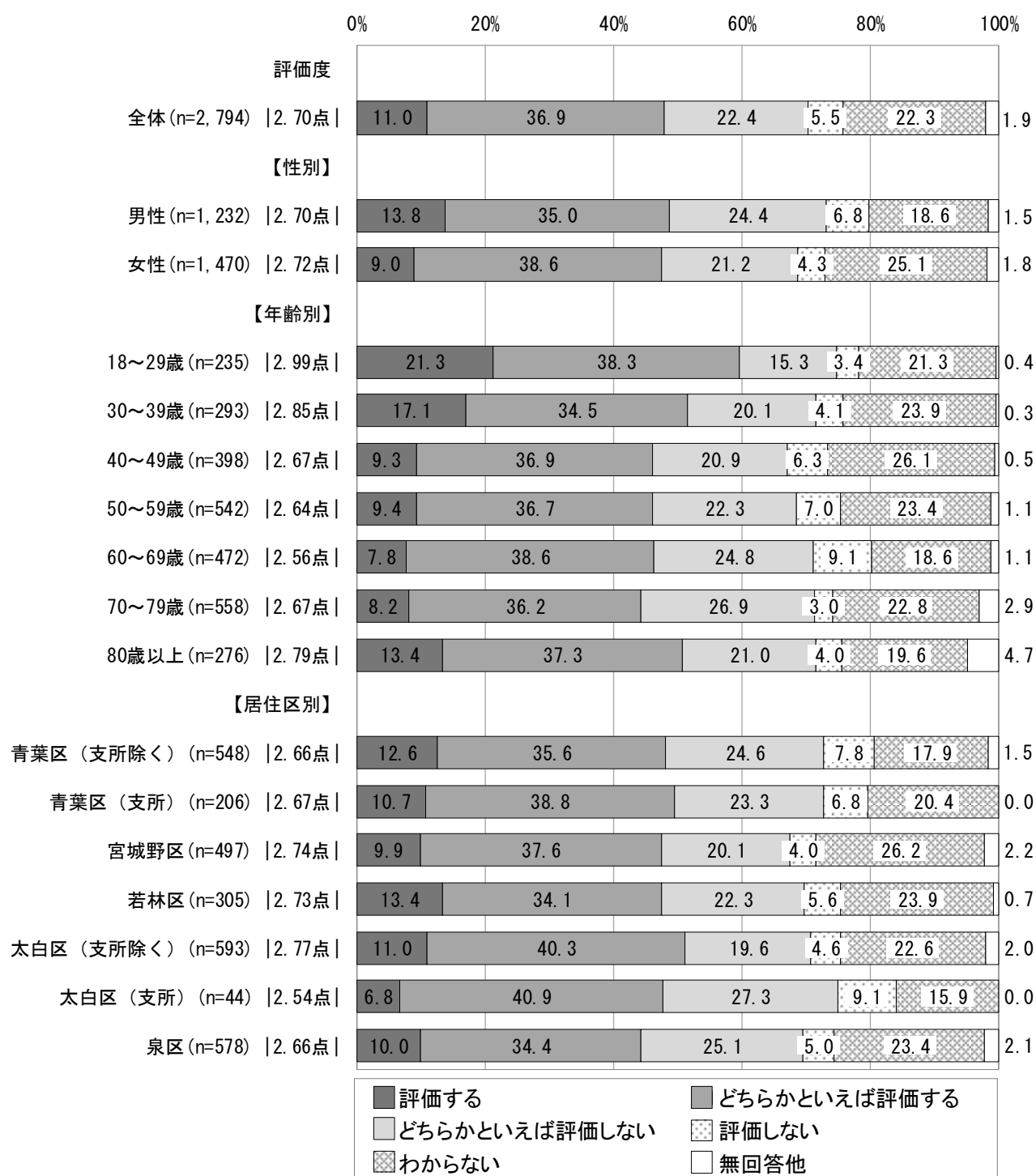


＜取り組んでいる施策＞

8-① 各エリアの個性を活かした、賑わいと活力が行きわたる、回遊性の高い都心づくり

全体では、評価度が 2.70 点となっている。

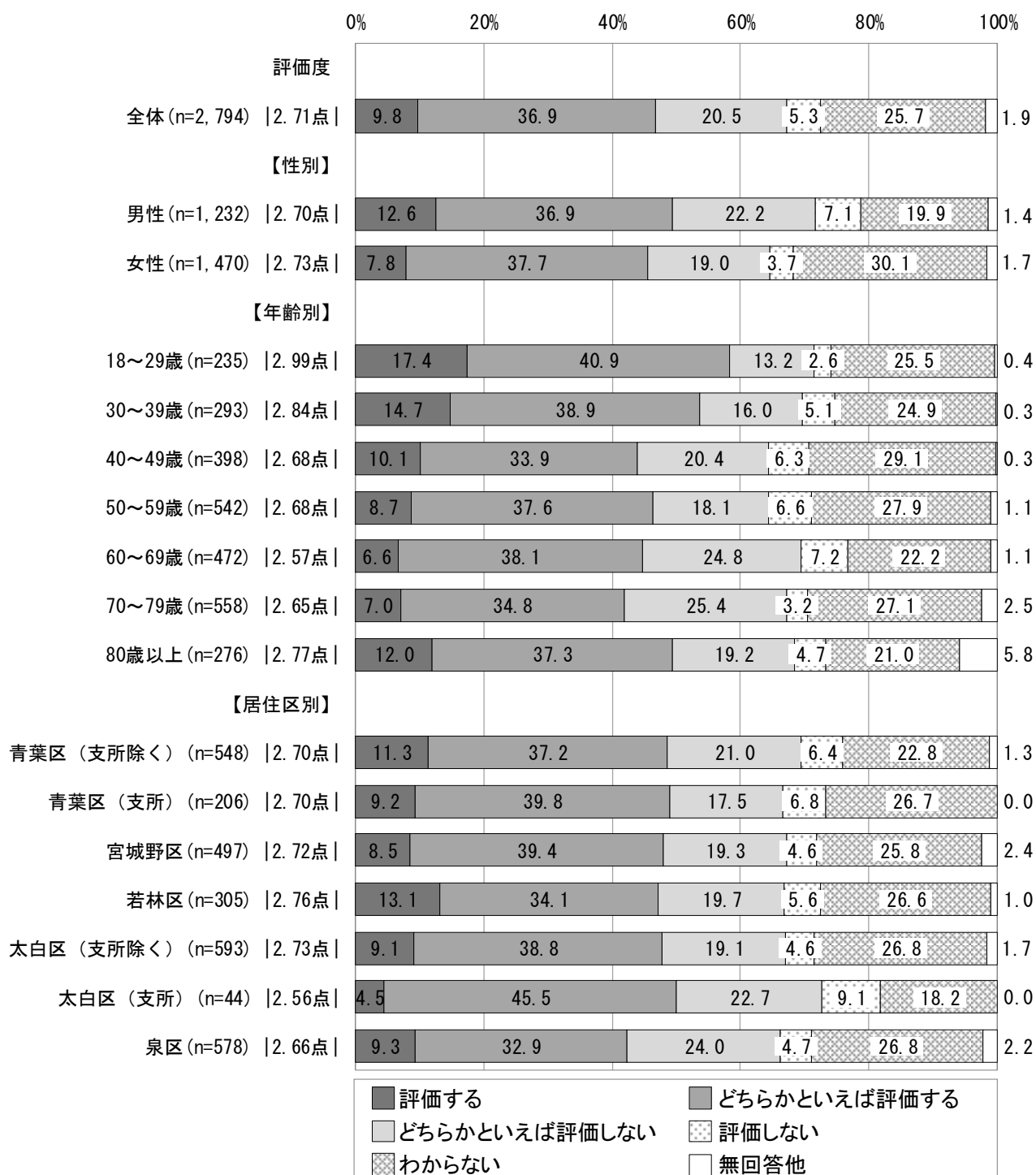
属性別では、女性の回答者、18～29 歳の回答者、太白区（支所除く）に居住する回答者の評価が高くなっている。



8-② 市街地再開発の支援や高機能オフィスの整備促進など、都心機能強化に向けた開発とビジネスの好循環を生み出す取り組み

全体では、評価度が2.71点となっている。

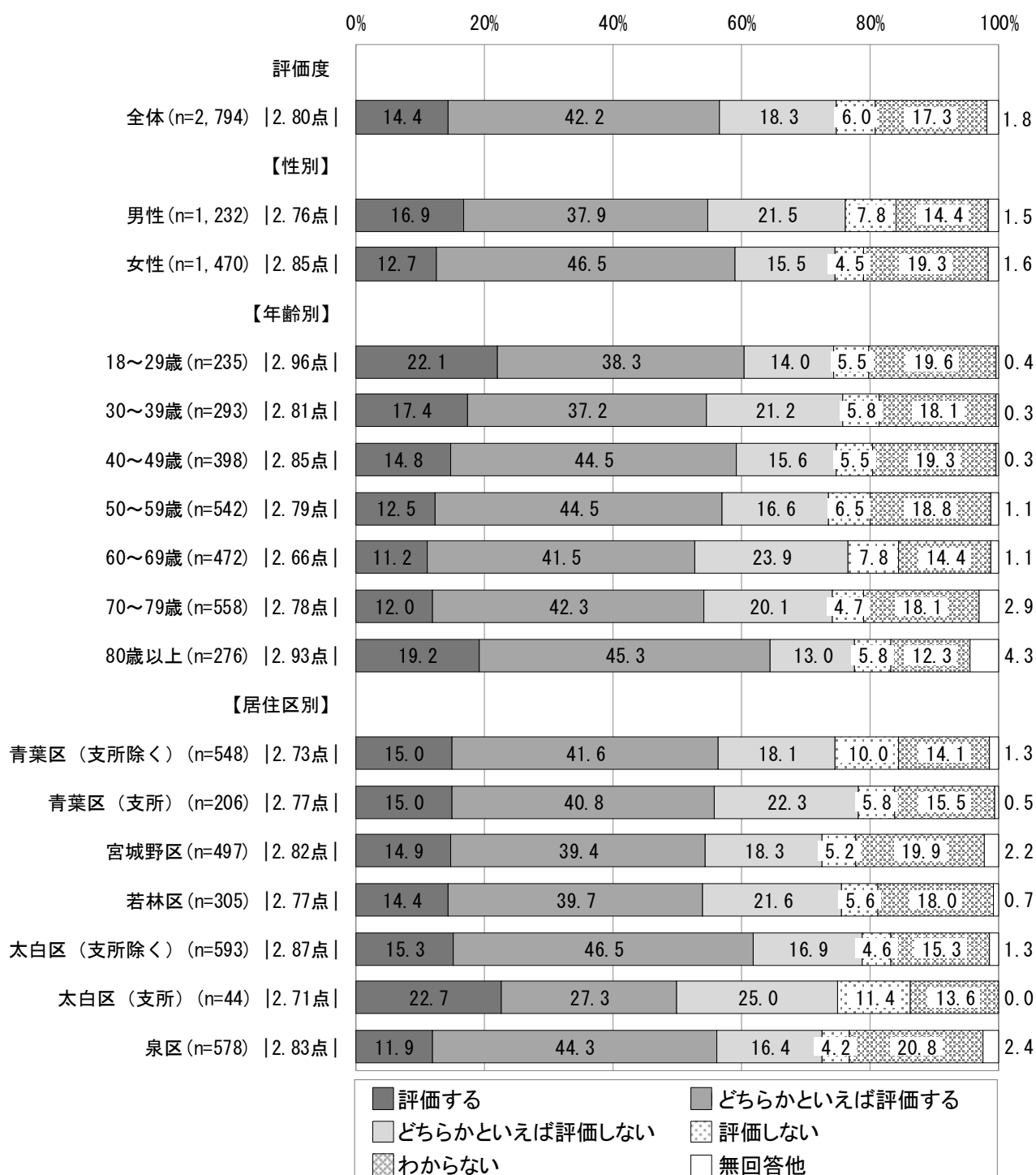
属性別では、女性の回答者、18～29歳の回答者、若林区に居住する回答者の評価が高くなっている。



8-③ 青葉山周辺における域内外から人を惹きつける魅力ある空間づくり

全体では、評価度が 2.80 点となっている。

属性別では、女性の回答者、18～29 歳の回答者、太白区（支所除く）に居住する回答者の評価が高くなっている。



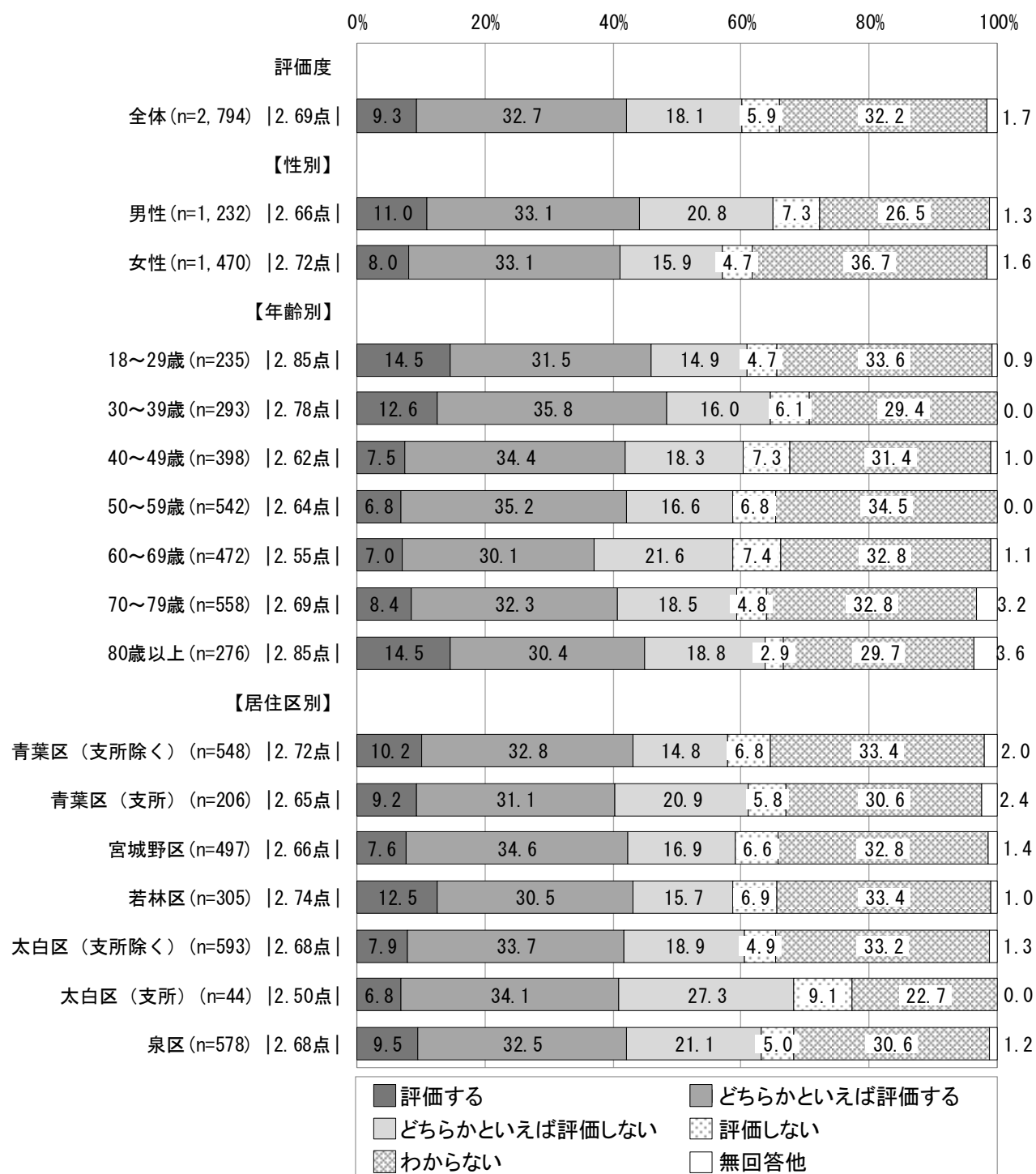
(9) 市政運営

＜取り組んでいる施策＞

9-① デジタル技術の積極的な活用による業務改革や人材育成など、社会の変化に対応し、挑戦を続ける市役所づくり

全体では、評価度が 2.69 点となっている。

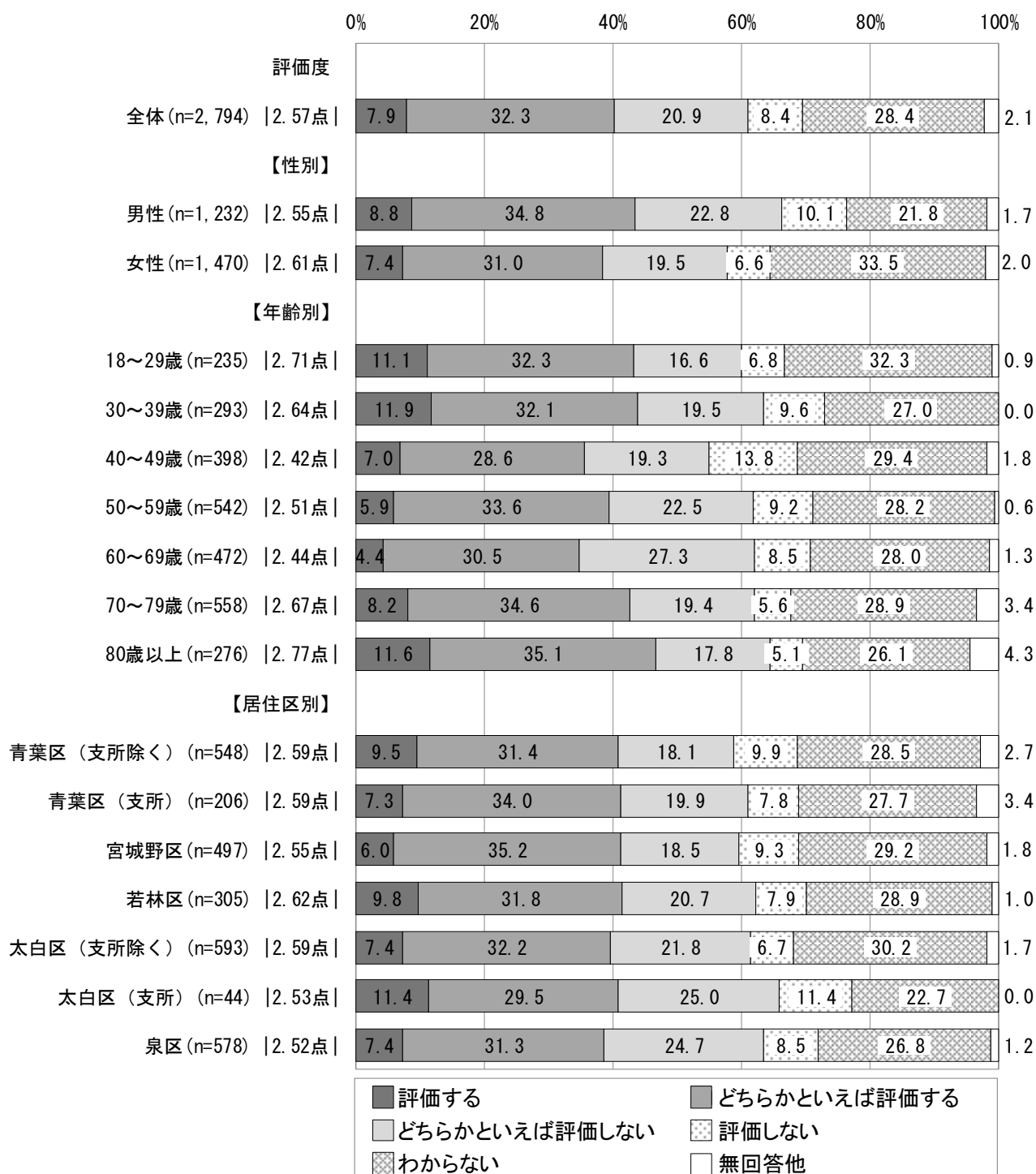
属性別では、女性の回答者、18～29 歳と 80 歳以上の回答者、若林区に居住する回答者の評価が高くなっている。



9-② 財源の確保や資産の効率的・効果的な活用、企業局における経営の適正化など、安定した行政経営基盤の維持

全体では、評価度が2.57点となっている。

属性別では、女性の回答者、80歳以上の回答者、若林区に居住する回答者の評価が高くなっている。

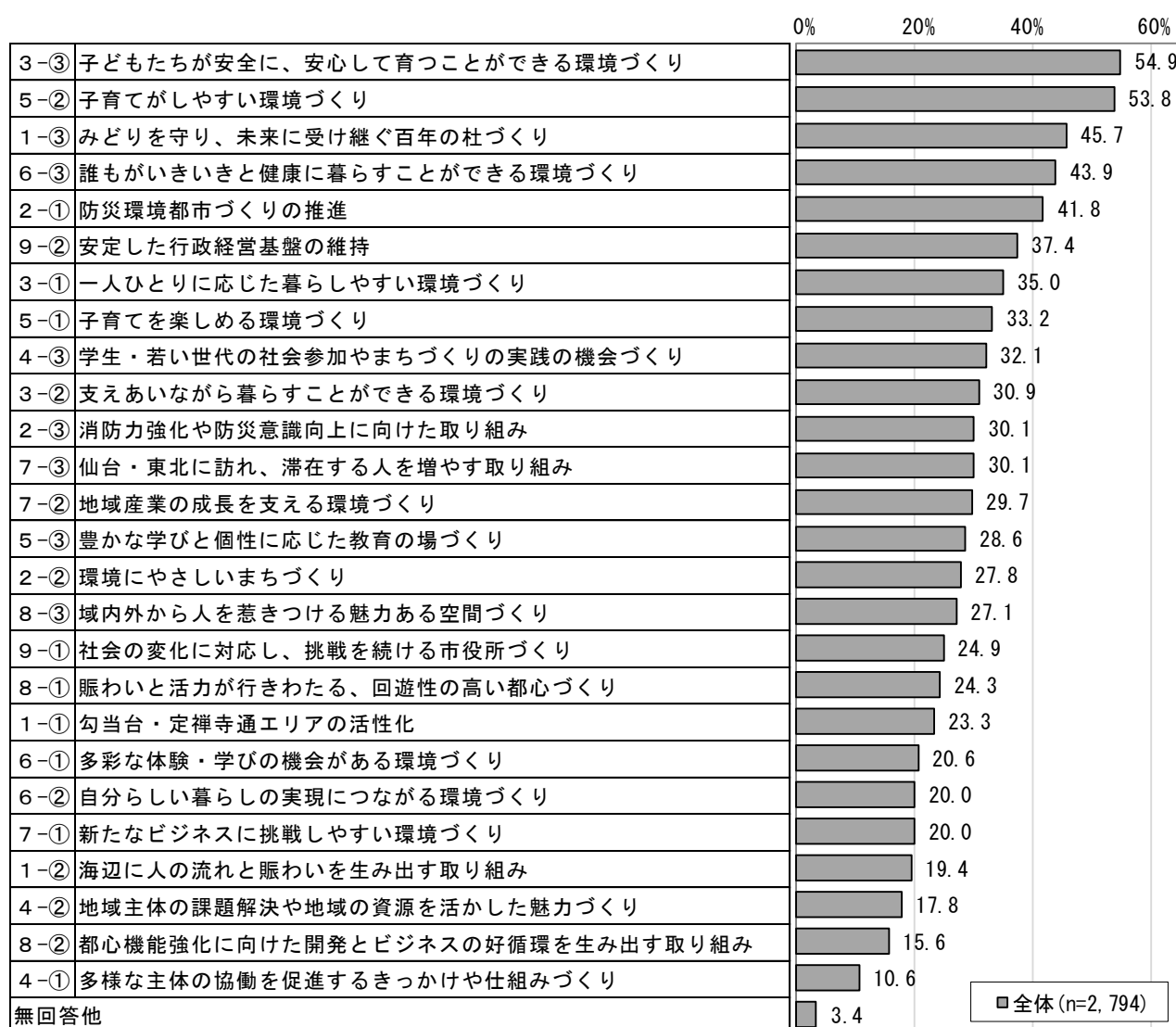


3. 仙台市の現状と施策の評価（今後力を入れていくべき施策）

（１）今後特に力を入れていくべきと思う施策

問 10 問 1～問 8 の（１）及び問 9 であげた仙台市が取り組んでいる施策のうち、仙台市が今後特に力を入れていくべきと思うものはありますか。（複数可）

全体では、「3-③ 子どもたちが安全に、安心して育つことができる環境づくり」が 54.9%と最も高く、「5-② 子育てがしやすい環境づくり」が 53.8%、「1-③ みどりを守り、未来に受け継ぐ百年の杜づくり」が 45.7%と続いている。



続いて、上位 10 位を属性別に見る。

年齢別では、年齢が上がるほど「6-③ 誰もがいきいきと健康に暮らすことができる環境づくり」の割合が高くなる傾向にある。

居住年数別では、居住年数が長くなるほど「1-③ みどりを守り、未来に受け継ぐ百年の杜づくり」「6-③ 誰もがいきいきと健康に暮らすことができる環境づくり」「2-① 防災環境都市づくりの推進」などの割合が高くなる傾向にある。

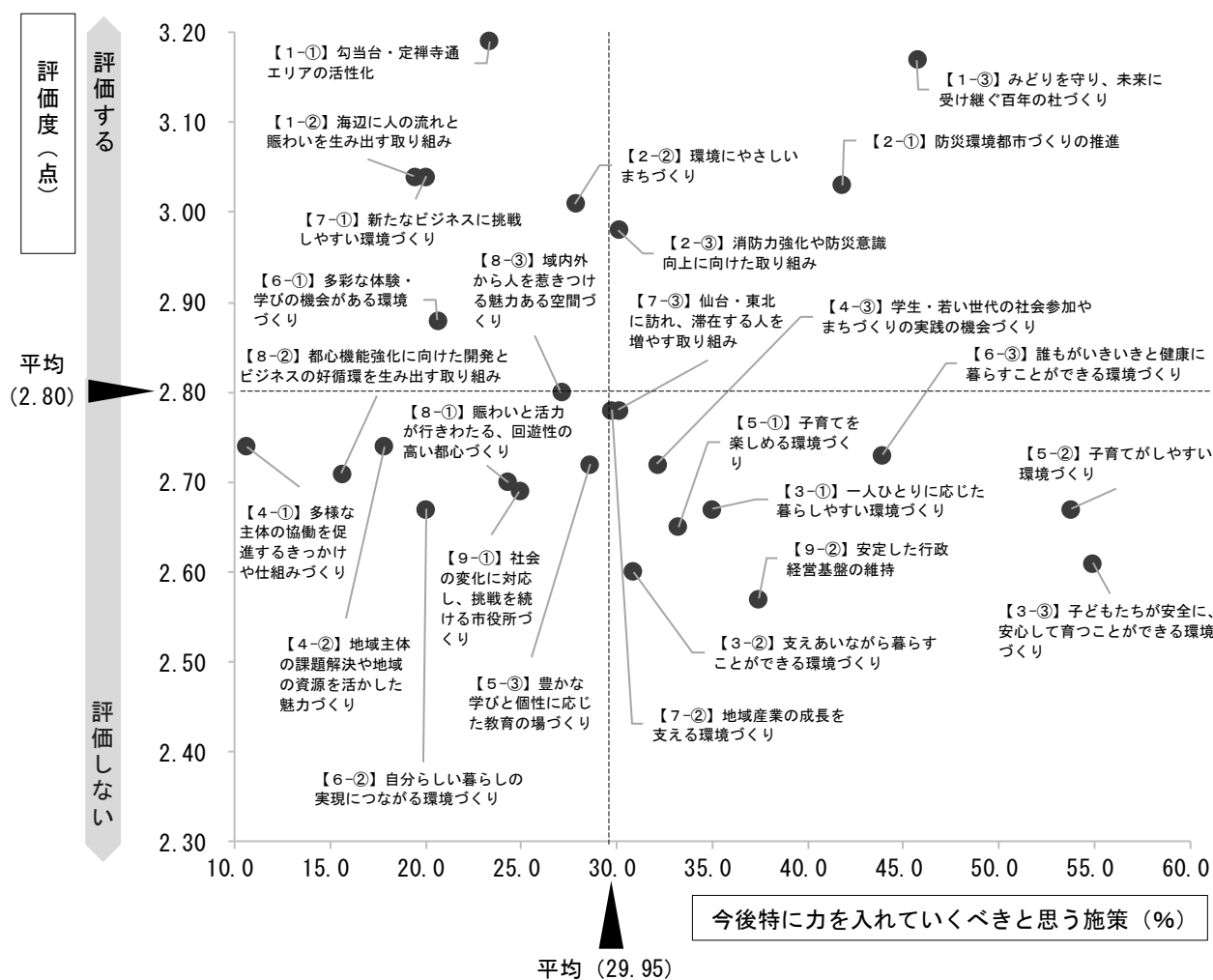
	3 ③	5 ②	1 ③	6 ③	2 ①	9 ②	3 ①	5 ①	4 ③	3 ②
(%)	子どもたちが安全に、環境づくり	子育てがしやすい環境づくり	みどりを守り、未来に受け継ぐ	誰もがいきいきと健康に暮らすことができる環境づくり	防災環境都市づくりの推進	安定した行政経営基盤の維持	一人ひとりに応じた暮らしやすい環境づくり	子育てを楽しめる環境づくり	まちづくり・若い世代の実践の機会づくり	支えあいながら暮らすことができる環境づくり
全体 (n=2,794)	54.9	53.8	45.7	43.9	41.8	37.4	35.0	33.2	32.1	30.9
【性別】										
男性 (n=1,232)	52.8	56.8	44.4	40.7	40.0	34.8	31.6	34.5	33.0	28.6
女性 (n=1,470)	56.8	51.5	47.8	46.9	43.3	39.6	37.8	32.0	31.9	33.3
【年齢別】										
18～29歳 (n=235)	46.0	54.0	31.5	17.9	28.9	24.7	29.8	37.9	35.3	18.3
30～39歳 (n=293)	59.7	72.4	26.6	20.5	31.4	30.0	21.5	57.3	25.9	16.7
40～49歳 (n=398)	53.3	56.5	34.7	31.4	33.4	29.1	33.2	40.5	27.6	25.9
50～59歳 (n=542)	46.9	43.9	41.7	43.7	46.3	37.8	39.3	26.9	26.6	33.2
60～69歳 (n=472)	58.7	53.4	49.2	51.9	47.0	42.2	36.9	29.9	32.6	33.9
70～79歳 (n=558)	64.5	55.0	62.4	60.4	47.1	44.6	35.7	27.4	39.2	35.8
80歳以上 (n=276)	51.4	48.9	62.0	62.7	47.1	44.6	44.6	23.6	38.8	45.3
【居住年数別】										
3年未満 (n=113)	43.4	56.6	29.2	24.8	32.7	24.8	23.0	38.9	17.7	15.0
3年以上10年未満 (n=232)	56.0	58.2	32.8	26.3	34.5	22.4	26.3	40.1	26.7	19.0
10年以上 (n=2,320)	55.7	53.4	47.3	46.3	43.0	39.6	36.2	32.5	33.3	32.6

(2) 施策に対する期待×現状評価マップ

下図は、横軸を「今後特に力を入れていくべきと思う施策（問 10）」、縦軸を「施策の評価度（問 1～9）」として各施策をマッピングしたものである。

今後の取り組みに対する期待が高く、かつ現状評価度が低い施策としては「3-③ 子どもたちが安全に、安心して育つことができる環境づくり」や「5-② 子育てがしやすい環境づくり」が挙げられ、これらは、特に力を入れて取り組んでいくべき施策と言える。

また、今後の取り組みに対する期待が高く、かつ現状評価度も高い施策として、「1-③ みどりを守り、未来に受け継ぐ百年の杜づくり」や「2-① 防災環境都市づくりの推進」が挙げられ、これらは、引き続き取り組みを進めていくべき施策と言える。

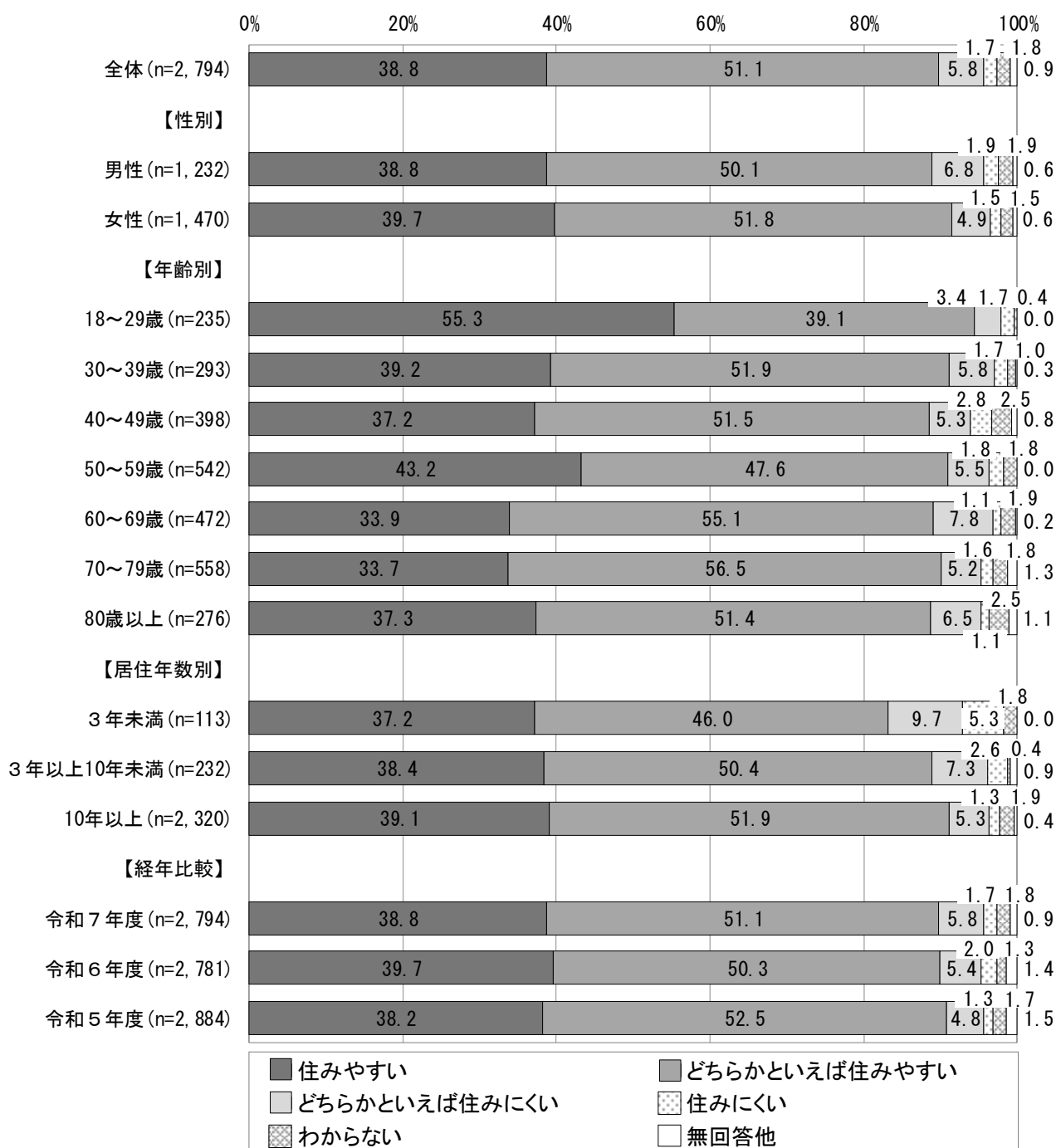


4. 仙台市の住みやすさなど

(1) 仙台市の住みやすさ

問 11 あなたは、仙台市は住みやすいと思いますか。

全体では、「どちらかといえば住みやすい」が51.1%と最も高く、「住みやすい」が38.8%、「どちらかといえば住みにくい」が5.8%と続いている。「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた『住みやすい（計）』は89.9%となっている。



(2) 仙台市が住みやすい理由

(問 11 で 4 または 3 を選択した方)

問 12 「住みやすい」または「どちらかといえば住みやすい」を選択した理由は何ですか。(複数可)

全体では、「通学・通勤・買い物など生活が便利」が 59.9%と最も高く、「家族・友人・知人がいる」が 57.5%、「自然環境に恵まれている」が 56.8%と続いている。

性別では、「家族・友人・知人がいる」は、女性 (64.6%) が男性 (48.7%) を 15.9 ポイント上回っている。

年齢別では、年齢が上がるほど「自然環境に恵まれている」、「医療・福祉サービスが充実している」の割合が高くなる傾向にある。

(%)	通学・通勤・買い物など生活が便利	家族・友人・知人がいる	自然環境に恵まれている	治安が良い(安心・安全)	生まれ故郷なのでよく知っている	医療・福祉サービスが充実している	地域の人間関係が良い	スポーツ・文化施設が充実している	楽しく遊べる場所が多い	自分に合った仕事がある	防災の面で安心である	子どもの教育環境が充実している	家賃や地代など生活にかかる費用が安い	その他	無回答
全体 (n=2,511)	59.9	57.5	56.8	36.0	30.2	23.3	14.3	13.0	10.0	9.2	7.6	6.1	4.8	2.2	0.6
【性別】															
男性 (n=1,095)	58.0	48.7	59.4	37.1	30.3	25.5	14.0	14.9	10.8	9.0	8.0	7.0	5.9	2.0	0.6
女性 (n=1,345)	61.8	64.6	55.2	35.5	30.6	21.4	14.8	11.6	9.1	9.4	7.4	5.5	3.8	2.2	0.5
【年齢別】															
18～29歳 (n=222)	64.0	64.0	41.4	27.9	40.1	10.8	5.9	9.0	23.9	8.6	3.6	1.4	6.3	1.4	2.3
30～39歳 (n=267)	70.0	59.2	47.6	35.6	31.8	11.6	10.9	10.1	16.9	12.0	5.6	6.7	6.7	1.5	0.4
40～49歳 (n=353)	68.8	57.5	52.1	33.1	29.7	13.9	10.8	11.3	14.7	12.2	4.5	6.8	5.9	3.1	0.3
50～59歳 (n=492)	67.3	54.7	56.3	31.1	27.4	15.7	10.0	12.4	7.7	11.6	4.3	5.5	4.1	2.0	0.6
60～69歳 (n=420)	59.5	52.1	61.7	37.4	32.1	22.4	8.3	17.1	5.5	11.0	7.6	5.2	3.3	2.9	0.2
70～79歳 (n=503)	48.9	60.4	63.4	41.6	30.0	38.6	22.1	13.9	4.2	5.8	10.3	5.8	3.4	1.4	0.6
80歳以上 (n=245)	40.0	58.8	66.5	44.1	23.3	46.1	33.9	14.3	6.9	2.0	18.8	12.2	6.5	3.3	0.4
【経年比較】															
令和7年度 (n=2,511)	59.9	57.5	56.8	36.0	30.2	23.3	14.3	13.0	10.0	9.2	7.6	6.1	4.8	2.2	0.6
令和6年度 (n=2,503)	56.1	56.4	55.1	39.9	30.4	22.1	13.6	14.6	11.1	9.3	8.8	6.3	4.6	2.6	2.8
令和5年度 (n=2,617)	58.0	55.8	57.6	35.7	31.8	22.3	14.0	13.3	10.5	9.4	7.2	5.9	4.5	2.4	2.4

(3) 仙台市が住みにくい理由

(問 11 で 2 または 1 を選択した方)

問 13 「どちらかといえば住みにくい」または「住みにくい」を選択した理由は何ですか。(複数可)

全体では、「家賃や地代など生活にかかる費用が高い」が 48.3%と最も高く、「通学・通勤・買い物など生活が不便」が 45.5%、「楽しく遊べる場所が少ない」が 34.0%と続いている。

性別では、「子どもの教育環境が充実していない」は、男性(36.4%)が女性(22.3%)を 14.1 ポイント上回っている。

経年比較では、「家賃や地代など生活にかかる費用が高い」、「治安が良くない」などが増加傾向にある。

(%)	家賃や地代など生活にかかる費用が高い	通学・通勤・買い物など生活が不便	楽しく遊べる場所が少ない	医療・福祉サービスが充実していない	子どもの教育環境が充実していない	スポーツ・文化施設が充実していない	地域の人間関係が良くない	防災の面で不安である	治安が良くない	生まれ故郷ではないのでよく知らない	自分に合った仕事が見つからない	家族・友人・知人がいない	自然環境に恵まれていない	その他	無回答
全体 (n=209)	48.3	45.5	34.0	30.6	30.1	21.5	19.1	18.2	15.8	14.4	13.9	12.4	6.7	12.4	0.5
【性別】															
男性 (n=107)	52.3	40.2	32.7	25.2	36.4	17.8	16.8	19.6	15.9	10.3	10.3	12.1	8.4	14.0	0.0
女性 (n=94)	42.6	51.1	35.1	34.0	22.3	27.7	22.3	17.0	13.8	19.1	16.0	12.8	5.3	10.6	1.1
【年齢別】															
18～29歳 (n=12)	41.7	41.7	50.0	8.3	33.3	8.3	16.7	16.7	41.7	16.7	25.0	25.0	8.3	8.3	0.0
30～39歳 (n=22)	50.0	27.3	50.0	18.2	50.0	22.7	13.6	13.6	13.6	13.6	9.1	22.7	13.6	18.2	0.0
40～49歳 (n=32)	62.5	43.8	37.5	31.3	53.1	18.8	12.5	31.3	25.0	9.4	21.9	9.4	9.4	18.8	0.0
50～59歳 (n=40)	57.5	52.5	37.5	32.5	27.5	20.0	15.0	17.5	15.0	20.0	15.0	2.5	10.0	10.0	0.0
60～69歳 (n=42)	40.5	45.2	28.6	35.7	26.2	31.0	19.0	16.7	14.3	16.7	11.9	14.3	4.8	14.3	2.4
70～79歳 (n=38)	52.6	44.7	28.9	31.6	15.8	18.4	21.1	13.2	2.6	10.5	10.5	15.8	2.6	13.2	0.0
80歳以上 (n=21)	14.3	57.1	19.0	38.1	14.3	23.8	33.3	19.0	9.5	9.5	9.5	9.5	0.0	0.0	0.0
【経年比較】															
令和 7 年度 (n=209)	48.3	45.5	34.0	30.6	30.1	21.5	19.1	18.2	15.8	14.4	13.9	12.4	6.7	12.4	0.5
令和 6 年度 (n=205)	44.4	51.7	42.9	32.7	25.9	23.4	21.5	19.5	12.7	8.8	18.0	11.2	4.9	13.2	2.4
令和 5 年度 (n=176)	43.8	39.8	33.0	29.5	30.7	15.9	20.5	26.7	12.5	18.2	11.9	10.2	6.3	19.9	2.3

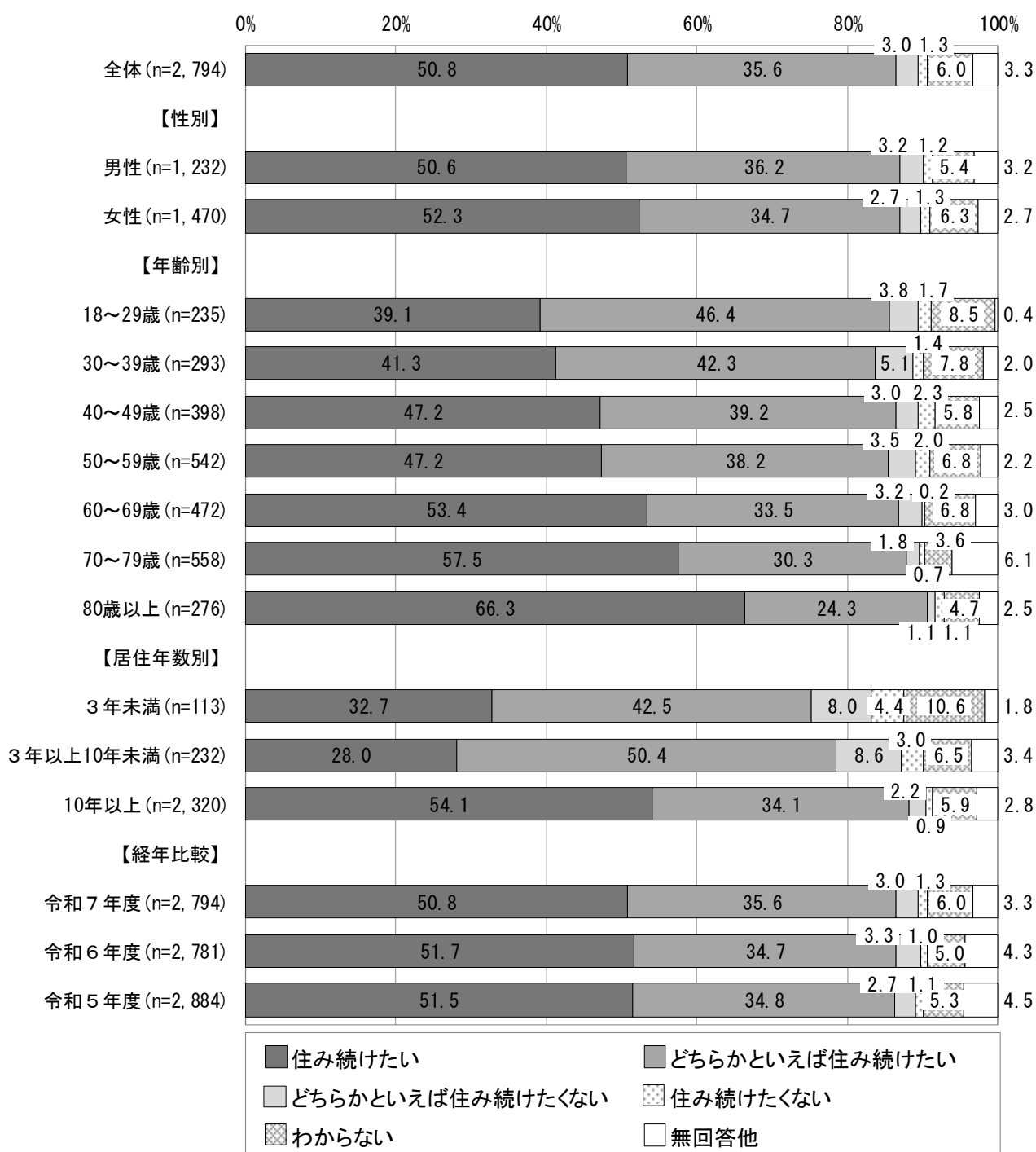
(4) 仙台市への居住意向

問 14 あなたは、これからも仙台市に住み続けたいと思いますか。

全体では、「住み続けたい」が 50.8%と最も高く、「どちらかといえば住み続けたい」が 35.6%、「わからない」が 6.0%と続いている。「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた『住み続けたい（計）』は 86.4%となっている。

年齢別では、年齢が上がるほど「住み続けたい」の割合が高くなる傾向にある。

居住年数別では、居住年数が長くなるほど『住み続けたい（計）』の割合が高くなる傾向にある。

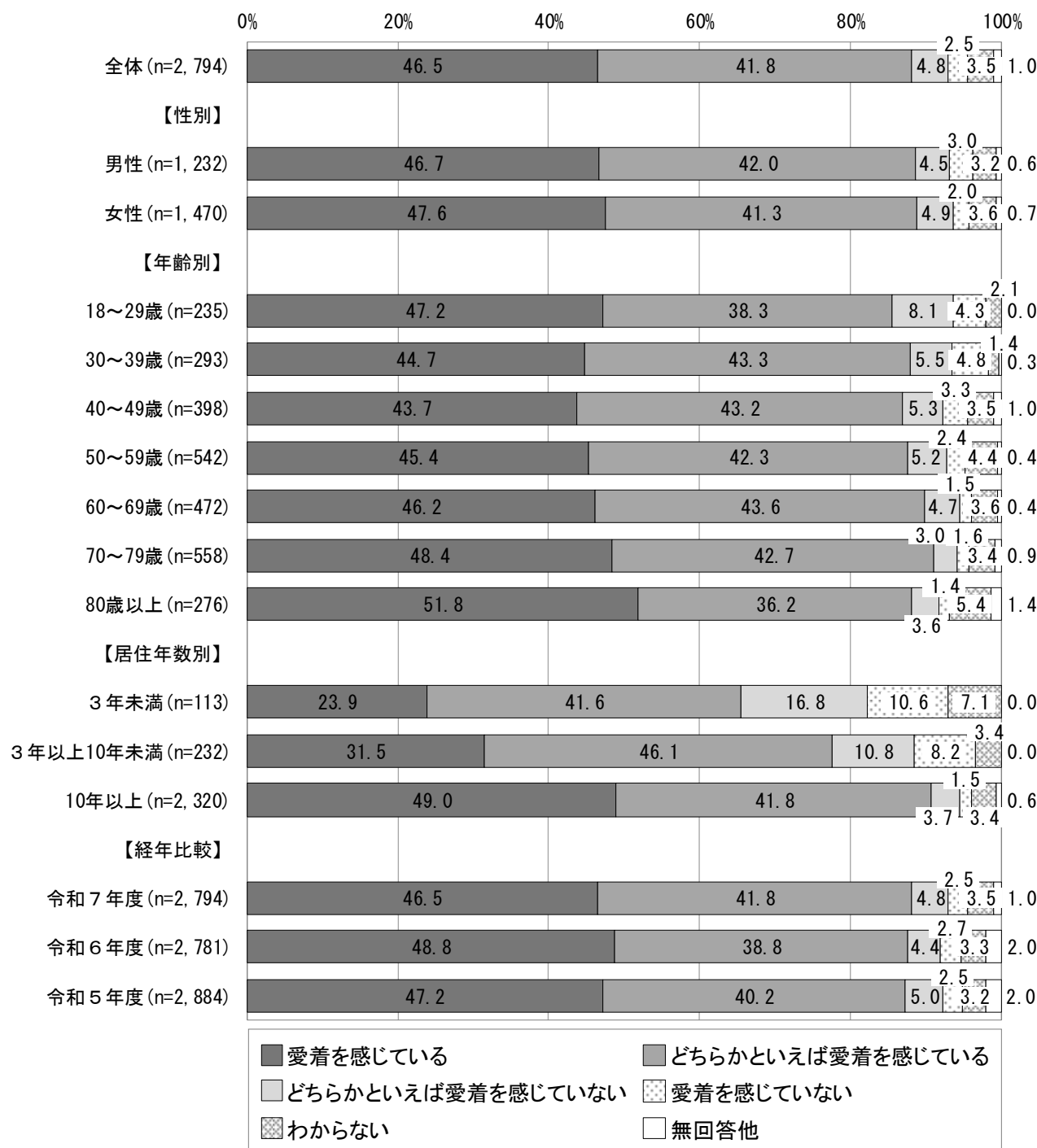


(5) 仙台市への愛着

問 15 あなたは、仙台市に愛着を感じていますか。

全体では、「愛着を感じている」が46.5%と最も高く、「どちらかといえば愛着を感じている」が41.8%、「どちらかといえば愛着を感じていない」が4.8%と続いている。「愛着を感じている」と「どちらかといえば愛着を感じている」を合わせた『愛着を感じている（計）』は88.3%となっている。

居住年数別では、居住年数が長くなるほど「愛着を感じている」の割合が高くなる傾向にある。



5. 外国人住民との関わりなど

(1) 外国人住民との関わりの有無

問 16 あなたは、外国人住民との関わりがありますか（ありましたか）。（複数可）

全体では、「近所や街中で見かけることがある（あった）」が64.8%と最も高く、「仕事や学校で関わりがある（あった）」が23.0%、「付き合いはなく、見かけたこともない」が9.6%と続いている。

年齢別では、18～29歳及び30～39歳で、「近所や街中で見かけることがある（あった）」、「仕事や学校で関わりがある（あった）」が特に高くなっている。

(%)	近所や街中で見かけることがある（あった）	仕事や学校で関わりがある（あった）	付き合いはなく、見かけたこともない	付き合いはなく、挨拶程度の付き合いがある（あった）	趣味や地域活動で交流がある（あった）	無回答	覚えていない	その他
全体 (n=2,794)	64.8	23.0	9.6	8.1	5.4	3.3	2.1	1.5
【性別】								
男性 (n=1,232)	63.1	23.5	10.7	8.6	4.0	2.5	2.3	1.9
女性 (n=1,470)	66.7	22.6	8.6	8.0	6.7	3.0	1.9	1.3
【年齢別】								
18～29歳 (n=235)	69.4	30.6	6.4	6.0	5.1	0.9	5.1	0.0
30～39歳 (n=293)	68.3	32.1	9.2	6.8	4.4	0.0	1.4	1.0
40～49歳 (n=398)	61.8	30.4	7.8	8.3	4.5	0.0	2.3	2.0
50～59歳 (n=542)	67.5	28.2	7.4	5.7	4.4	0.7	1.5	1.5
60～69歳 (n=472)	65.3	24.4	7.6	9.3	7.0	3.0	2.1	0.6
70～79歳 (n=558)	65.9	11.5	12.9	10.0	6.3	4.5	1.6	2.3
80歳以上 (n=276)	56.9	8.3	16.7	10.1	5.8	11.2	2.9	2.9
【居住区別】								
青葉区（支所除く） (n=548)	72.1	24.5	4.7	11.3	7.1	1.6	1.3	1.3
青葉区（支所） (n=206)	62.1	25.2	8.7	8.3	7.3	3.9	1.9	2.4
宮城野区 (n=497)	67.2	21.7	10.9	7.6	5.8	2.4	1.6	1.6
若林区 (n=305)	70.8	19.0	7.5	2.6	3.6	2.6	3.0	1.0
太白区（支所除く） (n=593)	61.2	24.1	11.1	7.1	4.2	3.0	2.9	1.0
太白区（支所） (n=44)	50.0	22.7	18.2	9.1	2.3	2.3	2.3	4.5
泉区 (n=578)	59.9	23.5	12.5	9.7	5.2	3.5	2.4	1.7

(2) 外国人住民が増えることでどのような良いことがあると思うか

問 17 あなたは、外国人住民が増えることでどのような良いことがあると思いますか。(複数可)

全体では、「働き手・担い手不足の解消につながる」が 37.2%と最も高く、「異文化に対する理解が深まる」が 37.0%、「特にない・わからない」が 28.2%と続いている。

性別では、「異文化に対する理解が深まる」は、女性 (41.3%) が男性 (32.8%) を 8.5 ポイント上回っている。

(%)	働き手・担い手不足の解消につながる	異文化に対する理解が深まる	特にない・わからない	外国の文化・言葉を学べる	外国人の友人・知人ができる	地域に賑わいが生まれる	無回答他	その他
全体 (n=2,794)	37.2	37.0	28.2	21.5	15.7	14.7	2.3	1.8
【性別】								
男性 (n=1,232)	40.1	32.8	29.3	17.0	13.7	16.9	1.3	2.7
女性 (n=1,470)	36.1	41.3	26.7	25.1	17.6	13.3	2.2	1.0
【年齢別】								
18～29歳 (n=235)	41.3	37.4	23.4	21.7	20.9	16.6	0.4	0.4
30～39歳 (n=293)	37.5	38.6	29.7	26.6	22.9	15.4	0.0	1.0
40～49歳 (n=398)	33.9	45.2	24.6	30.2	23.6	13.1	0.5	3.5
50～59歳 (n=542)	40.6	39.7	24.2	24.0	15.5	15.1	0.6	2.0
60～69歳 (n=472)	42.8	38.3	26.9	20.6	15.3	14.2	1.1	1.9
70～79歳 (n=558)	34.1	31.2	33.9	15.1	9.7	16.3	3.8	1.1
80歳以上 (n=276)	30.8	29.7	36.2	14.1	6.5	12.0	6.2	1.4
【居住区別】								
青葉区 (支所除く) (n=548)	41.6	38.1	24.1	21.7	17.0	17.0	1.8	2.0
青葉区 (支所) (n=206)	33.5	39.8	26.2	20.9	16.5	15.5	1.9	3.4
宮城野区 (n=497)	39.0	34.0	31.0	20.5	14.5	12.9	1.2	0.6
若林区 (n=305)	40.0	34.1	30.8	17.7	11.5	11.5	1.3	1.3
太白区 (支所除く) (n=593)	37.1	38.3	27.8	21.4	15.3	13.8	2.0	1.9
太白区 (支所) (n=44)	31.8	31.8	43.2	15.9	15.9	11.4	0.0	2.3
泉区 (n=578)	33.0	39.3	28.7	25.6	18.3	17.0	2.2	1.9

(3) 外国人住民が増えることで課題と感じていること

問 18 あなたは、外国人住民が増えることで課題と感じていることはありますか。(複数可)

全体では、「ゴミ出しや騒音など生活ルールへの不安」が 50.8%と最も高く、「文化などの違いへの不安」が 43.2%、「言葉がわからず意思疎通が難しい」が 40.9%と続いている。

年齢別では、年齢が上がるほど「文化などの違いへの不安」を感じている割合が低くなる傾向にある(一部年代を除く)。

(%)	ゴミ出しや騒音など生活ルールへの不安	文化などの違いへの不安	言葉がわからず意思疎通が難しい	災害時などに協力し合えるか不安	具体的な事例はないが不安	特にない・わからない	その他	無回答他
全体 (n=2,794)	50.8	43.2	40.9	20.7	13.9	13.2	6.0	1.9
【性別】								
男性 (n=1,232)	51.5	45.7	38.9	22.2	13.7	13.4	6.2	1.2
女性 (n=1,470)	50.1	41.0	42.7	19.4	14.2	13.4	5.4	1.4
【年齢別】								
18～29歳 (n=235)	59.1	61.3	44.7	23.0	7.7	7.2	7.7	0.9
30～39歳 (n=293)	64.5	61.4	48.1	25.6	10.6	7.8	9.9	0.0
40～49歳 (n=398)	61.8	53.8	46.0	22.9	11.1	8.3	7.5	0.0
50～59歳 (n=542)	56.1	45.2	46.3	18.8	13.3	9.8	6.8	0.6
60～69歳 (n=472)	56.4	45.6	40.5	19.1	14.8	10.6	5.1	0.4
70～79歳 (n=558)	33.8	26.3	33.3	19.2	20.1	22.0	3.9	1.8
80歳以上 (n=276)	31.5	21.4	30.8	21.0	15.2	25.7	2.5	6.9
【居住区別】								
青葉区(支所除く) (n=548)	57.8	48.7	38.0	20.4	12.4	8.9	7.7	0.9
青葉区(支所) (n=206)	50.5	42.7	37.9	21.8	10.2	14.6	6.8	1.9
宮城野区 (n=497)	55.3	42.9	42.3	23.9	13.5	12.7	5.0	0.6
若林区 (n=305)	50.5	43.3	40.7	22.6	14.1	14.8	5.6	1.0
太白区(支所除く) (n=593)	47.2	41.5	42.5	17.4	15.5	14.3	5.7	1.7
太白区(支所) (n=44)	36.4	38.6	47.7	18.2	25.0	11.4	9.1	0.0
泉区 (n=578)	46.4	41.7	43.3	20.9	15.1	15.9	5.4	1.7

(4) 外国人住民とどのような関わりをもっていきたいか

問 19 あなたは、今後、外国人住民とどのような関わりをもっていきたいですか。(複数可)

全体では、「困っていることがあれば手助けしたい」が 32.1%と最も高く、「挨拶や日常会話をしたい」が 25.1%、「外国の文化や言語を学びたい」が 17.0%と続いている。

年齢別では、18 歳～29 歳で、「困っていることがあれば手助けしたい」が特に高くなっている。

(%)	困っていることがあれば手助けしたい	挨拶や日常会話をしたい	外国の文化や言語を学びたい	わからない	具体的なイメージは無いが関わりたい	あまり付き合いたくない	仕事や学業、趣味で関わりたい	地域活動や近隣同士で交流したい	その他	無回答他
全体 (n=2,794)	32.1	25.1	17.0	16.8	16.4	14.5	13.3	12.6	2.2	1.9
【性別】										
男性 (n=1,232)	29.4	22.7	15.7	15.4	18.4	16.1	15.2	14.0	2.1	1.0
女性 (n=1,470)	35.3	28.0	18.2	17.8	15.2	12.7	12.0	12.0	1.9	1.8
【年齢別】										
18～29歳 (n=235)	38.7	28.1	20.0	8.9	10.6	16.6	24.7	10.6	3.0	0.9
30～39歳 (n=293)	33.8	25.3	21.8	14.3	7.8	22.5	17.4	10.6	2.0	0.3
40～49歳 (n=398)	32.2	27.9	25.4	11.1	13.3	16.3	21.9	12.8	2.8	0.5
50～59歳 (n=542)	31.2	24.9	19.7	15.3	16.4	13.8	13.8	12.4	2.2	0.7
60～69歳 (n=472)	34.1	26.9	16.5	16.3	20.1	11.9	14.0	12.1	2.3	0.6
70～79歳 (n=558)	31.9	24.0	10.0	22.6	19.9	12.5	4.7	14.0	1.4	2.0
80歳以上 (n=276)	25.4	19.6	8.0	27.5	22.1	11.2	2.9	15.9	2.2	5.4
【居住区別】										
青葉区（支所除く）(n=548)	34.9	25.2	20.1	14.6	14.2	14.1	15.3	16.2	3.3	1.5
青葉区（支所）(n=206)	33.5	23.3	15.0	18.9	17.5	15.0	9.7	12.1	2.9	1.9
宮城野区 (n=497)	29.8	24.7	15.1	17.7	15.9	17.5	13.3	12.9	1.6	1.0
若林区 (n=305)	32.8	23.0	13.4	15.7	15.4	16.4	13.4	10.2	3.0	1.3
太白区（支所除く）(n=593)	31.9	24.8	16.7	18.9	16.2	12.6	13.7	9.4	2.0	1.5
太白区（支所）(n=44)	25.0	22.7	13.6	27.3	18.2	18.2	9.1	13.6	2.3	0.0
泉区 (n=578)	32.7	28.2	19.4	15.2	19.4	12.8	13.0	14.0	1.2	1.4

(5) 今後どのような取り組みが必要だと思うか

問 20 あなたは、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。(複数可)

全体では、「日本の文化や地域のルールなどを教える場をつくる」が 57.2%と最も高く、「外国人向けの相談窓口をつくる・拡充する」が 45.2%、「地域の行事、イベント等に外国人が参加しやすい環境をつくるなど交流の機会をつくる」が 36.4%と続いている。

性別では、「外国人向けの相談窓口をつくる・拡充する」は、女性 (49.0%) が男性 (41.7%) を 7.3 ポイント上回っている。

(%)	日本の文化や地域のルールなどを教える場をつくる	外国人向けの相談窓口をつくる・拡充する	地域の行事、イベント等に外国人が参加しやすい環境をつくるなど交流の機会をつくる	日本語を学ぶ場や機会を提供する	無回答他	その他
全体 (n=2,794)	57.2	45.2	36.4	28.0	4.8	4.6
【性別】						
男性 (n=1,232)	58.9	41.7	37.1	29.1	3.5	5.0
女性 (n=1,470)	56.1	49.0	36.5	27.6	5.0	3.9
【年齢別】						
18～29歳 (n=235)	55.7	44.7	33.2	29.4	0.9	6.8
30～39歳 (n=293)	61.1	43.3	33.4	28.3	1.0	5.1
40～49歳 (n=398)	63.1	45.5	38.2	33.4	0.8	5.3
50～59歳 (n=542)	62.0	50.2	36.5	27.5	1.7	4.6
60～69歳 (n=472)	61.2	48.7	39.4	29.9	2.5	3.4
70～79歳 (n=558)	52.5	45.9	36.7	27.8	7.3	3.8
80歳以上 (n=276)	42.0	33.7	35.9	19.2	17.0	5.1
【居住区別】						
青葉区（支所除く） (n=548)	60.8	48.5	37.6	30.3	1.8	4.7
青葉区（支所） (n=206)	56.3	42.7	33.5	25.2	6.3	4.9
宮城野区 (n=497)	57.3	45.3	35.0	27.0	3.2	4.4
若林区 (n=305)	57.0	44.6	34.4	28.5	2.6	4.9
太白区（支所除く） (n=593)	55.5	44.7	36.4	28.3	5.4	4.6
太白区（支所） (n=44)	54.5	47.7	36.4	20.5	6.8	6.8
泉区 (n=578)	57.6	45.3	39.6	28.9	5.7	4.3

6. 市政全般に関する意見

市政全般に関するご意見などがございましたら、ご記入ください。（自由記述）

●大分類

項目	件数
1 市政に関する意見	1,476件
2 アンケートに関する意見	53件
3 その他	78件
意見総数(回答者数816名)	1,607件

●中分類(※大分類1「市政に関する意見」を細分化)

中分類	件数
1 杜と水の都プロジェクト(みどりや水辺に親しめる空間づくり)	85件
2 防災環境都市プロジェクト(災害に強く、環境にやさしいまちづくり)	41件
3 心の伴走プロジェクト(あらゆる人が安心して暮らせるまちづくり)	109件
4 地域協働プロジェクト(地域団体・NPO・企業などと協働したまちづくり)	191件
5 笑顔咲く子どもプロジェクト(子育て支援や教育環境の充実)	199件
6 ライフデザインプロジェクト(自分らしい生き方が実現できる環境づくり)	70件
7 TOHOKU未来プロジェクト(経済や観光の魅力)	104件
8 都心創生プロジェクト(人が集う、魅力ある都心づくり)	92件
9 市政運営	25件
10 外国人住民との関わり	71件
11 その他(市政関連)	489件
意見総数	1,476件

Ⅱ. 調査結果

●小分類(※中分類をさらに細分化)

中分類	小分類	件数
1 杜と水の都プロジェクト (みどりや水辺に親しめる空間づくり)	1 勾当台・定禅寺通エリア活性化	15件
	2 水辺の空間づくり	14件
	3 公園や街路樹の整備、緑の保全	43件
	4 その他	13件
2 防災環境都市プロジェクト (災害に強く、環境にやさしいまちづくり)	1 防災・減災対策	24件
	2 環境配慮(脱炭素・資源循環等)	13件
	3 その他	4件
3 心の伴走プロジェクト (あらゆる人が安心して暮らせるまちづくり)	1 多様性の尊重	3件
	2 高齢者福祉・障害者支援	63件
	3 社会的自立支援	13件
	4 いじめや虐待対策	18件
	5 その他	12件
4 地域協働プロジェクト (地域団体・NPO・企業などと協働したまちづくり)	1 地域協働の促進	21件
	2 公共交通	98件
	3 交通渋滞	15件
	4 交通マナー・自転車対策	14件
	5 地域主体のまちづくり	26件
	6 若者の活動支援	14件
	7 その他	3件
5 笑顔咲く子どもプロジェクト (子育て支援や教育環境の充実)	1 子育て環境	151件
	2 地域・学校・家庭における教育環境	27件
	3 不登校・特別支援等の学校教育	13件
	4 その他	8件
6 ライフデザインプロジェクト (自分らしい生き方が実現できる環境づくり)	1 文化芸術活動	30件
	2 自分らしい暮らしの実現	9件
	3 健康づくり・介護予防	18件
	4 その他	13件
7 TOHOKU未来プロジェクト (経済や観光の魅力づくり)	1 起業・中小企業支援	12件
	2 雇用環境	30件
	3 地域産業成長	6件
	4 誘客・観光対策	44件
	5 スポーツ振興	5件
	6 その他	7件
8 都心創生プロジェクト (人が集う、魅力ある都心づくり)	1 都心のビジネス環境向上	56件
	2 巡りたくなる都心の魅力づくり	26件
	3 青葉山周辺の空間づくり	9件
	4 その他	1件
9 市政運営	1 手続きやサービスのデジタル化	14件
	2 行政経営	10件
	3 その他	1件
10 外国人住民との関わり	1 安心・安全な暮らし	20件
	2 文化や生活ルール	36件
	3 その他	15件
11 その他 (市政関連)	1 行政運営全般	144件
	2 窓口サービスや職員	44件
	3 市政広報・情報発信	40件
	4 郊外のまちづくり	26件
	5 公共インフラ整備(道路等)	71件
	6 市民生活全般	74件
	7 税関係	42件
	8 市長に関すること	30件
	9 その他	18件

※意見の件数は、小分類単位で複数回答の取り扱いとしている。

市政に関する意見を＜中分類＞のとおりに、8つのチャレンジプロジェクトごとに見ると、件数は、『5 笑顔咲く子どもプロジェクト（子育て支援や教育環境の充実）』（199 件）が最も多く、『4 地域協働プロジェクト（地域団体・NPO・企業などと協働したまちづくり）』（191 件）、『3 心の伴走プロジェクト（あらゆる人が安心して暮らせるまちづくり）』（109 件）、『7 TOHOKU 未来プロジェクト（経済や観光の魅力づくり）』（104 件）、『8 都心創生プロジェクト（人が集う、魅力ある都心づくり）』（92 件）と続いている。

＜中分類＞それぞれについて、意見の内容を＜小分類＞ごとに見ると、以下のとおりである。

『1 杜と水の都プロジェクト（みどりや水辺に親しめる空間づくり）』については、「公園や街路樹の整備、緑の保全」（43 件）に分類される意見が多く、公園の整備や街路樹の維持管理を希望する意見が寄せられている。

『2 防災環境都市プロジェクト（災害に強く、環境にやさしいまちづくり）』については、「防災・減災対策」（24 件）に分類される意見が多く、災害時の情報発信や避難所の拡充を求める意見が寄せられている。

『3 心の伴走プロジェクト（あらゆる人が安心して暮らせるまちづくり）』については、「高齢者福祉・障害者支援」（63 件）に分類される意見が多く、高齢者の方の住みやすいまちづくりや、障害福祉の充実を望む意見が寄せられている。

『4 地域協働プロジェクト（地域団体・NPO・企業などと協働したまちづくり）』については、「公共交通」（98 件）に分類される意見が多く、公共バスの増便など公共交通の充実を望む意見が寄せられている。

『5 笑顔咲く子どもプロジェクト（子育て支援や教育環境の充実）』については、「子育て環境」（151 件）に分類される意見が多く、子どもが遊べる施設や子育て支援の充実を望む意見が寄せられている。

『6 ライフデザインプロジェクト（自分らしい生き方が実現できる環境づくり）』については、「文化芸術活動」（30 件）に分類される意見が多く、文化施設の増設や、青葉城復元を望む意見が寄せられている。

『7 TOHOKU 未来プロジェクト（経済や観光の魅力づくり）』については、「誘客・観光対策」（44 件）に分類される意見が多く、観光客増加のための魅力ある観光地づくりや、イベントの充実等を求める意見が寄せられている。

『8 都心創生プロジェクト（人が集う、魅力ある都心づくり）』については、「都心のビジネス環境向上」（56 件）に分類される意見が多く、仙台駅周辺の再開発を期待する意見が寄せられている。

また、『9 市政運営』については、「手続きやサービスのデジタル化」（14 件）として、行政のデジタル化を求める意見や、デジタルデバイドへの配慮を求める意見が寄せられている。

『10 外国人住民との関わり』については、「文化や生活ルール」（36 件）に分類される意見が多く、マナーや習慣・宗教等の違いに対する意見が寄せられている。

『11 その他（市政関連）』については、公共インフラ整備、窓口サービスや職員の対応、税関係などに関する意見が寄せられている。

Ⅲ. 資料

調査票

調査票コード	
--------	--



※ このコードは、ひとりの方が複数回答すること
を避けるためのもので、個人を特定するものではあ
りません。

令和 7 年度「仙台市市民意識調査」調査票

◇回答する際のご注意◇

回答は、封筒の宛名のご本人様が、無記名で行ってください。

◇回答方法◇

以下のどちらか1つの方法でご回答ください。回答は1回限りです。

【回答方法1】 WEB（せんだいオンライン申請サービス）	
①回答ページにアクセスする。 ②入力フォームに従い、回答を入力する。 ③入力後、「確認画面へ進む」ボタンを押下し、内容を確認の上、送信する。	
●回答ページへは、ブラウザのURL入力欄に以下のURLを入力いただくか、二次元コードを読み取ることでアクセスいただけます。 【回答ページURL・二次元コード】 https://logoform.jp/form/3PrJ/933730	
●「Q1」の「調査票コード」には、 <u>この調査票左上に記載の4文字の半角英数字を</u> <u>入力</u> してください。 ●調査票の返送は不要です。	
【回答方法2】 郵 送	
①調査票に回答を <u>直接記入</u> する。 ②三つ折りにして、同封の <u>返信用封筒(切手不要)</u> に入れ、投函する。	
●各設問の内容をお読みいただき、あてはまる番号に○をつけてください。 ●「その他」を選択した場合は、〔 〕内に具体的な内容をご記入ください。	

◇回答期限◇

令和 7年 5月 23日（金）までに、WEBでの回答送信、または、調査票の投函をお願いいたします。

まず、「仙台市の施策の評価」と「仙台市の現状」についておたずねします。

問 1 ～ 問 8

仙台市では「仙台市基本計画 2021-2030」において掲げた、8つのチャレンジプロジェクト〔※〕を軸に、様々な施策に取り組んでいます。

各プロジェクトに関連することとして、(1) 仙台市が取り組んでいる施策に対するあなたの評価、(2) あなたが思う仙台市の現状として、あてはまるものをそれぞれ1つ選び、番号に○をつけてください。

※プロジェクトの詳細は、同封の「仙台市基本計画〈概要版〉」3～10ページをご参照ください。

問 1 杜と水の都プロジェクト

(1) 取り組んでいる施策	評価する	どちらかといえば 評価する	どちらかといえば 評価しない	評価しない	わからない
1-① 自然と都市機能が調和した空間を整備し、人々の賑わいや交流を生み出す勾当台・定禅寺通エリアの活性化 (主な事業) 新本庁舎整備、勾当台公園・周辺再整備、西公園再整備	4	3	2	1	0
1-② 東部沿岸地域における、多くの人との協働によるエリアの魅力向上を通じた、海辺に人の流れと賑わいを生み出す取り組み (主な事業) 海浜エリア活性化、東部地域移転跡地の利活用推進、海岸公園整備	4	3	2	1	0
1-③ 多様な主体のつながりを生みながら、みどりを守り、未来に受け継ぐ百年の杜づくり (主な事業) 市民協働によるみどりのまちづくり、市街地のグリーンインフラ推進、杜の都の風土を育む景観形成推進、広瀬川創生・清流保全、青葉山公園整備	4	3	2	1	0
(2) 仙台市の現状	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう 思わない	そう 思わない	わからない
みどりや水辺に親しめる居心地がよい空間が多いまちである。	4	3	2	1	0

問 2 防災環境都市プロジェクト

(1) 取り組んでいる施策	評価する	どちらかといえば 評価する	どちらかといえば 評価しない	評価しない	わからない
2-① 防災や減災に関する発信とともに、日常生活に防災と環境配慮の視点を織り込んだ防災環境都市づくりの推進 (主な事業) 防災環境都市づくり推進、震災メモリアル	4	3	2	1	0
2-② 持続可能性を高め、杜の都の良好な環境を次世代へ継承する、環境にやさしいまちづくり (主な事業) 脱炭素都市づくり、公共施設脱炭素化、ごみ減量・リサイクル推進、環境配慮行動促進、南浦生浄化センター消化ガス発電	4	3	2	1	0
2-③ 地震や大雨、火災などの非常時に備えた消防力の強化や、市民一人ひとりの防災意識向上に向けた取り組み (主な事業) 防災意識醸成・災害対応力強化、防災学習の充実・強化、総合的な浸水対策、流域治水の推進、道路の整備・防災対策、火災のないまちづくり	4	3	2	1	0
(2) 仙台市の現状	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう 思わない	そう 思わない	わからない
災害に強く、環境にやさしいまちである。	4	3	2	1	0

問3 心の伴走プロジェクト

(1) 取り組んでいる施策	評価する	どちらかといえば評価する	どちらかといえば評価しない	評価しない	わからない
3-① 性別、国籍、障害の有無などに関わらない暮らしやすい環境づくり (主な事業) 性的少数者・困難を抱える女性支援、多文化共生推進、障害理解促進、認知症地域支援、生涯学習を通じた共生社会推進	4	3	2	1	0
3-② 困ったときに相談しやすく、地域で孤立せずに支えあいながら暮らすことができる環境づくり (主な事業) ひきこもり者地域支援、自殺対策、障害者相談支援、高齢者生活支援	4	3	2	1	0
3-③ 子どもたちが安全に、安心して育つことができる環境づくり (主な事業) いじめ防止等対策、児童虐待防止、子ども・若者相談支援	4	3	2	1	0
(2) 仙台市の現状	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
一人ひとりが尊重され、安心して暮らすことができるまちである。	4	3	2	1	0

問4 地域協働プロジェクト

(1) 取り組んでいる施策	評価する	どちらかといえば評価する	どちらかといえば評価しない	評価しない	わからない
4-① 地域課題の解消や地域の活力創出に向けた、多様な地域の主体による協働を促進するきっかけや仕組みづくり (主な事業) 地域づくりパートナーサポート、まち再生・まち育て活動支援、クロス・センダイ・ラボによる公民連携推進、泉区役所建替、宮城総合支所庁舎建替、公共交通の利用促進	4	3	2	1	0
4-② 各地域の実情に応じた、地域主体の課題解決や地域の資源を活かした魅力づくりの支援 (主な事業) Fun,Fan,Find 青葉、先端技術等を活用した宮城地区の課題解決、長町・歩いて楽しい街並み形成、秋保地区活性化、泉中央地区活性化、地域交通の運行確保・運行支援	4	3	2	1	0
4-③ 地域の中で将来にわたり活躍できる人材の育成に向けた、学生・若い世代の社会参加やまちづくりの実践などの機会づくり (主な事業) 若者が活躍するまちづくり、みやぎの・まちづくり若手人材育成支援、わかばやし地学連携推進	4	3	2	1	0
(2) 仙台市の現状	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
地域団体・NPO・企業など様々な立場の方々がまちづくりに取り組んでいるまちである。	4	3	2	1	0

問5 笑顔咲く子どもプロジェクト

(1) 取り組んでいる施策	評価する	どちらかといえば評価する	どちらかといえば評価しない	評価しない	わからない
5-① まち全体で 子ども・子育てを応援する、子育てを楽しめる環境づくり (主な事業) 子育て応援の機運醸成、仕事と子育ての両立支援、子どもの遊びの環境充実	4	3	2	1	0
5-② 希望する方が安心して妊娠・出産・子育てができる、 子育てがしやすい環境づくり (主な事業) 妊娠・出産・子育て期にわたる切れ目のない支援、多様なニーズに対応した保育提供体制の充実、放課後児童クラブ環境整備	4	3	2	1	0
5-③ 多様な学びの支援や、地域との連携強化などによる、 豊かな学びと個性に応じた教育の場づくり (主な事業) ICT教育推進、仙台自分づくり教育推進、コミュニティ・スクール推進、不登校児童生徒等支援、特別支援教育推進	4	3	2	1	0
(2) 仙台市の現状	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
子育てがしやすく、子どもたちが健やかに学び育つことができるまちである。	4	3	2	1	0

問6 ライフデザインプロジェクト

(1) 取り組んでいる施策	評価する	どちらかといえば評価する	どちらかといえば評価しない	評価しない	わからない
6-① 文化芸術や歴史などに親しめる、 多彩な体験・学びの機会 がある環境づくり (主な事業) 文化芸術によるまちの魅力づくり、せんだい・アート・ノード・プロジェクト	4	3	2	1	0
6-② 多様な暮らしや生き方を選択し、能力を十分に発揮できる、 自分らしい暮らしの実現 につながる環境づくり (主な事業) ダイバーシティ推進、女性の活躍推進、障害者就労支援、高齢者社会参加・生きがいづくり促進、介護人材確保、住宅政策推進	4	3	2	1	0
6-③ 一人ひとりの状況に応じた、 誰もがいきいきと健康に暮らす ことができる環境づくり (主な事業) 市民健康づくり、介護・フレイル予防推進、アクティブライフスタイル*の推進、救急需要対策・医療提供体制構築	4	3	2	1	0
(2) 仙台市の現状	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
自分らしく、充実して暮らすことができるまちである。	4	3	2	1	0

* アクティブライフスタイル…日常生活の中で意識的・継続的に体を動かすことが習慣化されたライフスタイル

問7 TOHOKU未来プロジェクト

(1) 取り組んでいる施策	評価する	どちらかといえば評価する	どちらかといえば評価しない	評価しない	わからない
7-① 次世代放射光施設ナノテラスや産学官連携の仕組みを活用した、 新産業の創出や新たなビジネスに挑戦 しやすい環境づくり (主な事業) リサーチコンプレックス*1形成推進、起業家・スタートアップ支援、成長産業振興、国家戦略特区*2推進	4	3	2	1	0
7-② 地域経済活性化や若い世代の地元定着促進に向けた、 地域産業の成長 を支える環境づくり (主な事業) 地域中核企業の輩出支援、地元企業における多様な人材確保・定着支援、中小企業の販路開拓支援、地産地消の推進、持続可能な農業推進、仙台市中央卸市場再整備	4	3	2	1	0
7-③ 東北各地と連携し、 仙台・東北に多くの人を呼び込み、滞在する人を増やす 取り組み (主な事業) インバウンド・MICE 推進、東北観光の推進、スポーツツーリズム推進、仙台の観光魅力創出・観光プロモーション、西部地区観光振興	4	3	2	1	0
(2) 仙台市の現状	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
経済や観光の魅力があるまちである。	4	3	2	1	0

- * 1 リサーチコンプレックス…地域に集積する研究機関、企業、大学等が連携し、異分野の知識や技術等を組み合わせることで、研究開発・事業化・人材育成等を一体的に展開し、イノベーション創出に繋げる枠組み
 * 2 国家戦略特区…民間事業者が活動しやすくするために、地域や分野を限定し、大胆な規制・制度の緩和や税制面の優遇を行う規制改革制度

問8 都心創生プロジェクト

(1) 取り組んでいる施策	評価する	どちらかといえば評価する	どちらかといえば評価しない	評価しない	わからない
8-① 各エリアの個性を活かした、 賑わいと活力が行きわたる、回遊性の高い都心 づくり (主な事業) 中心部商店街活性化、まちなかウォークアブル推進、仙台 MaaS*推進、都市交通政策推進	4	3	2	1	0
8-② 市街地再開発の支援や高機能オフィスの整備促進など、 都心機能強化に向けた開発とビジネスの好循環を生み出す 取り組み (主な事業) まちなか拠点整備、まちなか建替促進、企業立地促進	4	3	2	1	0
8-③ 青葉山周辺における 域内外から人を惹きつける魅力ある空間 づくり (主な事業) 青葉山エリアの文化観光推進、音楽ホール・中心部震災メモリアル拠点の複合施設整備、仙台北城跡整備	4	3	2	1	0
(2) 仙台市の現状	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
仙台の都心部は人が集い、働き、楽しむ場所として魅力があるまちである。	4	3	2	1	0

- * MaaS…目的地までのルート検索からチケット購入・利用まで全てをウェブで完結できるサービス

問 9 仙台市が取り組んでいる市政運営の施策に対するあなたの評価として、あてはまるものをそれぞれ1つ選び、番号に○をつけてください。

取り組んでいる施策	評価する	どちらかといえば評価する	どちらかといえば評価しない	評価しない	わからない
9-① デジタル技術の積極的な活用による業務改革や人材育成など、 社会の変化に対応し、挑戦を続ける市役所づくり (主な事業)「Full Digital の市役所」推進、人材育成推進・組織力強化、業務改革推進	4	3	2	1	0
9-② 財源の確保や資産の効率的・効果的な活用、企業局における経営の適正化など、 安定した行政経営基盤の維持 (主な事業) 仙台ふるさと応援寄附の推進、公共施設総合マネジメント、共同浄水場整備、交通事業の経営改善、ガス事業民営化、機能集約型都市づくり	4	3	2	1	0

問 10 問1～問8の(1)及び問9であげた仙台市が取り組んでいる施策のうち、**仙台市が今後特に力を入れていくべきと思うものはありますか。あてはまるものに○(複数可)**をつけてください。

プロジェクト	取り組んでいる施策	あてはまるものに○
杜と水の都プロジェクト	1-① 勾当台・定禅寺通エリアの活性化	
	1-② 海辺に人の流れと賑わいを生み出す取り組み	
	1-③ みどりを守り、未来に受け継ぐ百年の杜づくり	
防災環境都市プロジェクト	2-① 防災環境都市づくりの推進	
	2-② 環境にやさしいまちづくり	
	2-③ 消防力強化や防災意識向上に向けた取り組み	
心の伴走プロジェクト	3-① 一人ひとりに応じた暮らしやすい環境づくり	
	3-② 支えあいながら暮らすことができる環境づくり	
	3-③ 子どもたちが安全に、安心して育つことができる環境づくり	
地域協働プロジェクト	4-① 多様な主体の協働を促進するきっかけや仕組みづくり	
	4-② 地域主体の課題解決や地域の資源を活かした魅力づくり	
	4-③ 学生・若い世代の社会参加やまちづくりの実践の機会づくり	
笑顔咲く子どもプロジェクト	5-① 子育てを楽しめる環境づくり	
	5-② 子育てがしやすい環境づくり	
	5-③ 豊かな学びと個性に応じた教育の場づくり	
ライフデザインプロジェクト	6-① 多彩な体験・学びの機会がある環境づくり	
	6-② 自分らしい暮らしの実現につながる環境づくり	
	6-③ 誰もがいきいきと健康に暮らすことができる環境づくり	
TOHOKU 未来プロジェクト	7-① 新たなビジネスに挑戦しやすい環境づくり	
	7-② 地域産業の成長を支える環境づくり	
	7-③ 仙台・東北に訪れ、滞在する人を増やす取り組み	
都心創生プロジェクト	8-① 賑わいと活力が行きわたる、回遊性の高い都心づくり	
	8-② 都心機能強化に向けた開発とビジネスの好循環を生み出す取り組み	
	8-③ 域内外から人を惹きつける魅力ある空間づくり	
市政運営	9-① 社会の変化に対応し、挑戦を続ける市役所づくり	
	9-② 安定した行政経営基盤の維持	

次に、仙台市の住みやすさなどについておたずねします。

問 11 あなたは、仙台市は住みやすいと思いますか。あてはまるものを 1つ選んで、番号に○をつけてください。

住みやすい	どちらかといえば 住みやすい	どちらかといえば 住みにくい	住みにくい	わからない
4	3	2	1	0
⇒ 問 12 へ		⇒ 問 13 へ		⇒ 問 14 へ

問 12 (問 11 で 4 または 3 を選択した方)

「4 住みやすい」または「3 どちらかといえば住みやすい」を選択した理由は何ですか。あてはまるものを選び、番号に○（複数可）をつけてください。⇒ 問 14 へ

1 家族・友人・知人がいる	2 自然環境に恵まれている
3 通学・通勤・買い物など生活が便利	4 楽しく遊べる場所が多い
5 地域の人間関係が良い	6 治安が良い（安心・安全）
7 医療・福祉サービスが充実している	8 子どもの教育環境が充実している
9 自分に合った仕事がある	10 スポーツ・文化施設が充実している
11 生まれ故郷なのでよく知っている	12 家賃や地代など生活にかかる費用が安い
13 防災の面で安心である	14 その他〔 〕

問 13 (問 11 で 2 または 1 を選択した方)

「2 どちらかといえば住みにくい」または「1 住みにくい」を選択した理由は何ですか。あてはまるものを選び、番号に○（複数可）をつけてください。

1 家族・友人・知人がいない	2 自然環境に恵まれていない
3 通学・通勤・買い物など生活が不便	4 楽しく遊べる場所が少ない
5 地域の人間関係が良くない	6 治安が良くない
7 医療・福祉サービスが充実していない	8 子どもの教育環境が充実していない
9 自分に合った仕事が見つからない	10 スポーツ・文化施設が充実していない
11 生まれ故郷ではないのでよく知らない	12 家賃や地代など生活にかかる費用が高い
13 防災の面で不安である	14 その他〔 〕

問 14 あなたは、これからも仙台市に住み続けたいと思いますか。あてはまるものを 1つ選んで、番号に○をつけてください。

住み続けたい	どちらかといえば 住み続けたい	どちらかといえば 住み続けたくない	住み続けたくない	わからない
4	3	2	1	0

問 15 あなたは、仙台市に愛着を感じていますか。あてはまるものを 1つ選んで、番号に○をつけてください。

愛着を感じている	どちらかといえば 愛着を感じている	どちらかといえば 愛着を感じていない	愛着を感じていない	わからない
4	3	2	1	0

次に、あなたの「外国人住民との関わり」などについておたずねします。

近年、留学や仕事などで仙台市に住む外国人の方が増えています。外国人住民との関わりなどについてお伺いします。

問 16 あなたは、外国人住民との関わりがありますか（ありましたか）。あてはまるものを選び、番号に○（複数可）をつけてください。

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1 趣味や地域活動で交流がある（あった） | 2 仕事や学校で関わりがある（あった） |
| 3 挨拶程度の付き合いがある（あった） | 4 近所や街中で見かけることがある（あった） |
| 5 付き合いはなく、見かけたこともない | 6 覚えていない |
| 7 その他〔 | 〕 |

問 17 あなたは、外国人住民が増えることでどのような良いことがありますか。あてはまるものを選び、番号に○（複数可）をつけてください。

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1 外国の文化・言葉を学べる | 2 外国人の友人・知人ができる |
| 3 異文化に対する理解が深まる | 4 地域に賑わいが生まれる |
| 5 働き手・担い手不足の解消につながる | 6 特にない・わからない |
| 7 その他〔 | 〕 |

問 18 あなたは、外国人住民が増えることで課題と感じていることはありますか。あてはまるものを選び、番号に○（複数可）をつけてください。

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1 言葉がわからず意思疎通が難しい | 2 ゴミ出しや騒音など生活ルールへの不安 |
| 3 文化などの違いへの不安 | 4 災害時などに協力し合えるか不安 |
| 5 具体的な事例はないが不安 | 6 特にない・わからない |
| 7 その他〔 | 〕 |

問 19 あなたは、今後、外国人住民とどのような関わりをもっていきたいですか。あてはまるものを選び、番号に○（複数可）をつけてください。

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1 挨拶や日常会話をしたい | 2 外国の文化や言語を学びたい |
| 3 地域活動や近隣同士で交流したい | 4 仕事や学業、趣味で関わりたい |
| 5 困っていることがあれば手助けしたい | 6 具体的なイメージはないが関わりたい |
| 7 あまり付き合いたくない | 8 わからない |
| 9 その他〔 | 〕 |

問 20 あなたは、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。あてはまるものを選び、番号に○（複数可）をつけてください。

- | | |
|---------------------------|---|
| 1 日本の文化や地域のルールなどを教える場をつくる | 2 地域の行事、イベント等に外国人が参加しやすい環境をつくるなど交流の機会をつくる |
| 3 日本語を学ぶ場や機会を提供する | 4 外国人向けの相談窓口をつくる・拡充する |
| 5 その他〔 | 〕 |

最後に、あなたご自身や世帯の状況についておたずねします。

F 1 ～ F 8

以下の項目について、あなたご自身にあてはまるものを選び、番号に○をつけてください。

F 1 現在お住まいの区（○は1つ）

※回答時点で市外に転出された方は、直近でお住まいだった区をお答えください。

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1 青葉区（宮城総合支所管内＊を除く） | 2 青葉区（宮城総合支所管内＊） |
| 3 宮城野区 | 4 若林区 |
| 5 太白区（秋保総合支所管内＊を除く） | 6 太白区（秋保総合支所管内＊） |
| 7 泉区 | |

＊総合支所の所管区域

宮城総合支所管内	赤坂、愛子中央、愛子東、芋沢、大倉、落合、上愛子、国見ヶ丘、熊ヶ根、栗生、郷六、作並、下愛子、高野原、中山台、中山台西、中山吉成、錦ヶ丘、ニッカ、新川、南吉成、みやぎ台、向田、吉成、吉成台、臨済院
秋保総合支所管内	秋保町湯向、秋保町境野、秋保町長袋、秋保町馬場、秋保町湯元

F 2 性別（○は1つ）

- | | | |
|------|------|---------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 回答しない |
|------|------|---------|

F 3 現在のご年齢（○は1つ）

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1 18～19 歳 | 2 20～29 歳 | 3 30～39 歳 |
| 4 40～49 歳 | 5 50～59 歳 | 6 60～69 歳 |
| 7 70～79 歳 | 8 80 歳以上 | |

F 4 現在のお住まい（○は1つ）

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 持ち家（一戸建て） | 2 持ち家（集合住宅） |
| 3 賃貸住宅（一戸建て） | 4 賃貸住宅（集合住宅） |
| 5 社宅・官舎・寮 | 6 その他〔 〕 |

F 5 ご職業（○は1つ）

※複数の職に従事されている方は、主なものについてお答えください。

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1 経営者、役員 | 2 会社員、公務員などの常勤の従業員 |
| 3 臨時雇用、パート、アルバイト、内職 | 4 自営業者またはその家族従業者 |
| 5 家事専業 | 6 学生 |
| 7 無職 | 8 その他〔 〕 |

F 6 同居の世帯構成（○は1つ）

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1 単身（同居人はいない） | 2 夫・妻 |
| 3 二世帯世帯（あなたの世代と親） | 4 二世帯世帯（あなたの世代と子ども） |
| 5 三世帯世帯（あなたを含めて三世代） | 6 その他〔 〕 |

F7 同居している方の現在の状況（○は複数可）

※以下に該当する場合はお答えください。単身の方はご自身についてご回答ください。

- 1 就学前の子がいる
- 2 小・中学校に通う子がいる
- 3 高校に通う子がいる
- 4 専門学校・大学などの各種学校に通う子がいる／（自身が）通っている
- 5 介護を要する者がいる／（自身が）必要としている
- 6 その他日常生活の支援を要する者がいる

F8 仙台市（合併前の旧市町村を含む。）にお住まいの期間（○は1つ）

※一度市外に転出して、また転入した方は、通算の年数をお答えください。

- | | | | | | |
|---|--------------|---|---------------|---|---------------|
| 1 | 1 年未満 | 2 | 1 年以上 3 年未満 | 3 | 3 年以上 5 年未満 |
| 4 | 5 年以上 10 年未満 | 5 | 10 年以上 20 年未満 | 6 | 20 年以上 30 年未満 |
| 7 | 30 年以上 | | | | |

以上でアンケートは終了です。同封の返信用封筒に入れ、投函してください。
ご協力ありがとうございました。

なお、市政全般に関するご意見などがございましたら、下枠内にご記入ください。

仙台市基本計画〈概要版〉（3～10 ページ抜粋）

チャレンジプロジェクト

チャレンジプロジェクトとは、まちづくりの理念に基づき、目指す都市の姿の実現に向け、仙台の強みや現状を踏まえて重点的に取り組むもので、以下の8つを掲げています。
チャレンジプロジェクトは、私たちが見たい未来を、私たち自身の手でつくる、挑戦の舞台そのものです。

① 杜と水の都プロジェクト

目標 「杜の都」の風土と文化に巡りあえる都市空間をつくる

「杜の都」という言葉に代表される自然と調和した都市空間は仙台の歴史的な財産であり、この魅力をさらに磨くことで、みどりがもたらす様々な効果を実感できる居心地の良い空間を広げていきます。加えて、「杜の都」を形づくる川や海などの水辺に、より親しめる空間をつくることなどを通じて、たくさんの人が集い、交流し、たびたび訪れたいくなるような魅力的な都市空間をつくります。

実施の方向性

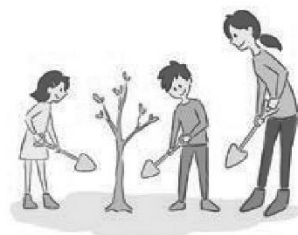
01 「杜の都」の象徴となる都心空間をつくる

市民も来訪者も楽しめる定禅寺通や青葉通などの空間づくり、都市空間を活用した多様なアイデアを実践できる機会の創出、居心地の良い空間デザインや良好な景観形成など



02 みどりを楽しめる生活空間をつくる

周辺環境と調和した魅力ある公園づくり、街路樹のきめ細かな管理やみどりを守り育む活動を通じた美しい景観づくり、みどりを楽しむことができる機会の創出など



03 水辺を楽しめる親水空間をつくる

市民や観光客など誰もが親しみ、楽しめる広瀬川などの親水空間づくり、海岸公園やレクリエーション施設などの海辺の資源の活用やネットワーク化による東部沿岸地域一体の賑わい創出など



- 「杜の都のグリーンインフラ」として、「杜の都」の骨格を成すみどりの持つ多様な機能を示しています。
→ P15-P16 参照
- 「都心まちづくりの方向性」として、魅力的な都心に向けたまちづくりの方向性を示しています。
→ P17-P18 参照

② 防災環境都市プロジェクト

目標 持続可能でしなやかな都市環境をつくる

2015 年、災害リスクの低減に向けた国際的な取組指針である「仙台防災枠組 2015-2030」と、脱炭素を目指す「パリ協定」が採択され、防災・減災の推進と自然環境との調和は世界的な潮流となっています。「杜の都」の豊かな環境を守り、活かしながら、災害リスクの軽減にもつなげる「防災環境都市」を世界に発信するとともに、災害への対応や環境配慮の視点を日常生活に織り込み、持続可能でしなやかな都市環境をつくります。

実施の方向性

01 防災・減災の備えを日常生活に織り込む

自然災害や感染症などあらゆる危機への対応力の向上、防災・減災の取り組みを通じた地域のつながりの深化、東日本大震災の経験と教訓の国内外への発信、防災・減災の視点を取り入れた新たな製品・サービスの創出など



02 環境負荷の低い生活・ビジネススタイルを定着させる

再生可能エネルギーの導入などエネルギーの地産地消、消費エネルギーの削減や廃棄物の発生抑制、プラスチックの3Rと再生可能資源への代替の推進、食品ロスの削減など



03 都市インフラの持続可能性を高める

グリーンインフラの充実を通じた雨水の保水・浸透機能等の向上、グリーンビルディングの導入等による建築物の環境性能の向上、公共交通・自転車等の移動手段や MaaS などの生活の利便性を高めるサービスの利用の拡大、災害時における人や物の安定的な輸送環境づくりなど



チャレンジプロジェクト

③ 心の伴走プロジェクト

目標 多様性を尊重し、あらゆる人が安心して暮らせる地域をつくる

地域では多様な人々が暮らしています。それぞれの立場や状況、ライフスタイル、価値観などは様々であるため、地域全体として多様性を包み込み、共生していくことが必要とされています。人々が互いに多様性を尊重して支えあい、つながる仕組みをつくることで、あらゆる人が孤立せずに、安心して暮らすことができる地域をつくれます。

実施の方向性

01 多様性が尊重される環境をつくる

年齢・性別・国籍・障害の有無等の多様性への理解が広がる機会の創出、相談や交流ができる場など心の拠り所がある環境づくり、ユニバーサルデザインの推進と合理的配慮の推進を両輪とした、暮らしやすさを実感できる生活環境づくりなど



02 孤立しない、つながる仕組みをつくる

地域住民の顔が見える関係づくりやコミュニティの中で支えあえるつながりづくり、ひきこもりや貧困等の支援を必要とする家庭の社会的自立を後押しする環境づくりなど



03 心を支える環境をつくる

いじめや児童虐待等の未然防止や早期発見・早期対応による子どもたちが安心して育つ環境づくり、メンタルヘルスを支える取り組みや人権を守る取り組みを通じた心を支える環境づくりなど



④ 地域協働プロジェクト

目標 多様性を力に変える地域をつくる

地域によって、その成り立ち、魅力、課題などは異なっており、より良い地域づくりを進めるためには、それぞれの状況に応じた協働のあり方を考え、実践していく必要があります。住民と多様な主体が関わりながら、それぞれの知見や強みを活かし、生活に不可欠な移動手段の確保をはじめとした暮らしの改善や地域課題の解決、魅力づくりに向け、多くのチャレンジが生まれる環境をつくります。

実施の方向性

01 多様な協働が生まれる基盤をつくる

公共空間の活用や地域課題の可視化・共有等による興味・関心のある誰もが地域づくりに関わり活動しやすい環境づくり、テクノロジーの活用等による地域課題の解決に効果的・加速的に取り組める環境づくりなど



02 多様な主体の力を地域に活かす

多様な主体のアイデアやノウハウ、ネットワークを活かした、地域の移動手段等の地域課題解決や子育て・教育環境等の暮らしの改善、若者が世代や立場を超えて地域づくりについて考え、実践する機会づくりなど



03 地域の交流を活発化させる

豊かな自然資源や地域特有の生活文化等を活かした地域や多様な主体間の交流が活発化する環境づくり、イベント開催や地域の困りごとの解決に取り組むことができる自由でオープンな交流の場づくりなど



チャレンジプロジェクト

⑤ 笑顔咲く子どもプロジェクト

目 標 子どもたちの未来が広がる環境をつくる

持続可能な未来をつくるためには、安心して子どもを産み育てることができ、子どもたちが健やかに成長できる環境が不可欠です。子どもたちの個性を尊重し、地域で見守りながら、子どもたちがチャレンジできる機会を広げることで、人生を切り開く力を伸ばしていきます。そして、大人も子どもとの関わりを通じて学び、社会がより良い方向に進むための好循環を生み出します。

実施の方向性

01 意欲を引き出し、伸ばす教育環境をつくる

子どもたちの自己肯定感や自己効力感を育み探求意欲・コミュニケーション能力を伸ばす環境づくり、学校・地域・家庭による協働の一層の推進、情報化社会・グローバル化に対応した成長の機会の創出、オンライン・対面での活動を最適に組み合わせた学びの機会の確保と質の向上など



02 個性に合わせた成長の機会をつくる

子どもたちが年齢・性別・国籍・障害の有無等の多様性への理解を深め、異なる立場にある人との対話の機会づくり、不登校の児童生徒や発達に不安を抱えている子どもなど誰もが安心して育つ、個性に合わせた選択肢のある学びの場づくりなど



03 子育てを楽しめる環境をつくる

オンラインや対面など様々な手段で妊娠や子育ての相談ができる環境づくり、家庭における学びの充実、子連れで安心して外に出かけて楽しめる環境づくり、様々な遊びを体験できる機会の充実など



⑥ ライフデザインプロジェクト

目 標 自分らしい生き方が実現できる環境をつくる

人生 100 年と言われる時代、学ぶことや働くことに年齢の制限はありません。自分らしく、充実した暮らしを実現するためにも、その前提となる健康づくりへの意識を高めるとともに、文化芸術や歴史などに親しめる多彩な学びの機会があふれる環境やライフスタイルに合わせた活躍の場をつくり出します。そして、様々な個性が輝き、創造性あふれる豊かな社会をつくり出します。

実施の方向性

01 まちの至る所で学びと実践の機会がある環境をつくる

文化芸術や歴史などに親しみ創造性が育まれる環境づくり、学びや体験をまちづくりの実践の場につなげる仕組みづくり、音楽や芸術などの創作活動がまちの新たな魅力となる環境づくりなど



02 誰もが活躍できる環境をつくる

一人ひとりが希望するキャリアやライフスタイルの実現に向け多様な働き方ができる環境づくり、年齢・性別・国籍・障害の有無等にかかわらず主体的に活躍できる環境づくりなど



03 ライフステージに合わせた健康を支える

スポーツや運動機会の確保・食生活の改善等を通じたライフステージに合わせた健康づくり、テクノロジーの活用等による医療機関へのアクセスが困難な人も安心して医療を受けることができる環境づくりや効果的な介護予防に向けた取り組みなど



チャレンジプロジェクト

⑦ と う ほ く TOHOKU 未来プロジェクト

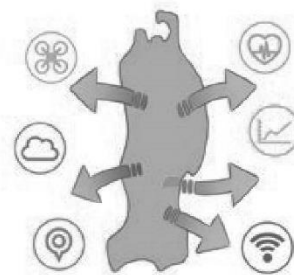
目 標 世界に発信できる東北発のイノベーションを生み出す

人口減少などの課題を抱える東北の現状を、新たなイノベーションを生むチャンスと捉えて、未来を描く必要があります。リスクの分散や働き方の多様化による地方への意識が高まる中、企業や人を惹きつけ、社会的・経済的なインパクトをもたらす、地域特性を活かしたイノベーションの創出を目指します。そして、グローバルな視点とローカルな視点を併せ持つて戦略的にビジネスや誘客を進め、東北の魅力を国内外に広める役割を果たします。

実施の方向性

01 仙台・東北を舞台にイノベーションを生み出す

東北をはじめ国内外の都市との戦略的提携等を通じた魅力的な事業の創出とグローバルなビジネスの推進、ソーシャル・イノベーションを生み出す起業家をはじめとしたあらゆる事業者が挑戦しやすい環境・風土づくりなど



02 仙台・東北の産業の成長を支える

次世代放射光施設の稼働を契機とした研究開発拠点や関連産業の集積による新しい技術が生まれる環境づくり、仙台・東北の農林水産業の活性化や地場の食に関するビジネスへの取り組み等、経済活動の地域内循環の推進など



03 仙台・東北に世界中から人を呼び込む

仙台・東北の豊かな自然・歴史・文化・祭り等の活用や多彩な体験プログラムの創出、戦略的なプロモーションや安心・快適に旅行できる環境づくり、魅力的なオフィス環境や MICE 等の受け入れ環境の整備など



⑧ 都心創生プロジェクト

目標 人が集い、新しいチャレンジが生まれる都心をつくる

仙台の都心は、多くの人々が集まる交流の要所であり、絶えず人を惹きつける、魅力あふれる場所であることが求められます。そのため、都心の開発を推進し、ビジネスや交流の基盤を整備することで、意欲のある方々が集い、新しいチャレンジが生まれる環境を整えます。さらに、多様な主体の連携を通じて、様々なコンテンツをつくることで、回遊性が高く、働く場、楽しむ場として魅力的な都心をつくります。

実施の方向性

01 投資を呼び込むまちをつくる

老朽建築物の建て替えや高水準な機能を備えるオフィスビルの整備推進、都市公園や道路等の公共空間や民間の遊休不動産等の新たな利活用を通じたまちのリノベーションの推進など



02 イノベーションが生まれる都心をつくる

企業・起業家・教育機関等による新たな事業の創造を応援する文化・コミュニティの構築を通じたスタートアップ・エコシステムの育成、産学官金の技術やノウハウを活用したイノベーションの創出など



03 まちの回遊性を向上する

市役所本庁舎の建て替え・勾当台公園の再整備・音楽ホールの整備検討など、多くの人が集い交流が生まれる魅力的な市街地環境づくり、居心地が良く歩いて巡りたくなる空間づくり、テクノロジーの活用による回遊環境の向上や中心部商店街の活性化など



令和7年度「仙台市市民意識調査」 報告書

令和7年8月発行

調査主体: 仙台市 まちづくり政策局 政策企画部 政策企画課

〒980-8671 仙台市青葉区国分町三丁目7番1号

TEL 022-214-1245

調査委託: 株式会社サーベイリサーチセンター 東北事務所